

北海道札幌市 ちょボラエコクラブ
壁新聞のタイトル:for ネイチャー

あいの里ひがし児童会館 ちょボラクラブ さんへ
師範から一言！

天体観測(かんそく)はわたしも大好きで冬の夜空を見上げることがあります。
みなさんの「天体観測(かんそく)」にはお月見だんごやだんご汁(じる)を作ったとかいてあり、思わず「やられた！」と声を出しておどろきました。天体とだんご、この二つをつなげるのは人間しかいません。思いがけない二つのことをつなぎ合わせる、このごろは「コラボする」というようですが、おもしろさは倍になります。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
今までのわりばしリサイクルが138,000本もあって、一日だけでも4,600本になったときいて、もう一度おどろきました。これはもう「ちょボラ」ではなく、堂々(どうどう)とした社会貢献(こうけん)です。わりばしリサイクルをPRするのはすばらしい活動です。自信をもってつづけて下さい。
これらの「ちょっとした」ボランティア・イベントがおわっても来年のテーマを考えておきたいですね。自然観察会などにもたくさんのみなさんの努力がみえるようです。これからもしっかり活動をつづけてください。



北海道釧路市 こどもエコクラブくしろ
壁新聞のタイトル:釧路湿原エコだより2012

こどもエコクラブくしろ さんへ
師範から一言！

最初に左の写真の帯が目に入りました。つづいてすごろくに目が移り(うつり)ます。このすごろくはHPに載(の)せて、みんなが印刷して遊べるようにしてくれるといいですね。すごろくがかべ新聞に載るのは初めてのことでしょうか、スタートとゴールがおなじというところも大変気に入りました。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
かべ新聞としてもまとめ方がとてもうまくできています。文字のバランス、色使いも美しいとおもいます。北海道フラワーソンが4年もつづいているのはすばらしいことで、保護(ほご)者も協力しているのは良い効果(こうか)が期待できます。
さらに、生物多様性(せい)を重視(じゅうし)するため、コナラ、カシワ、ミズナラをどんぐりから育てるプロの苗(なえ)づくりと植樹(しょくじゅ)に取り組んでいるのはおどろきです。絵日記では身近な自然を記録して伝えようとするのは大切な活動です。これからも小さい子どもたちに伝えてください。



北海道石狩市 紅南探検隊
壁新聞のタイトル:石狩自然新聞

紅南探検隊 さんへ
師範から一言！

地元の砂浜を対象に貝，ラン，海ゴミ，自然教室と多彩な活動をたのしそうに続けている姿が生き生きとしています。貝殻はたぶん砂浜でひろいあつめたものを図鑑で絵合わせすることで名まえをしらべたのだと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
貝の生態にもおもしろいものがありますので，生きているときはどんなところにいるか，繁殖はどのようにするのか，ついでに調べておくと，貝を説明するときには役立つとおもいます。
また，珍しいクゲヌマランの保全のために「とらないで，踏まないで」の看板をつけ，市役所もロープをはったとかかれています，自然観察会や展示会などでラン自体はぬすんでいっても長くは育たないことを教えてあげるとぬすまれることがなくなります。



北海道訓子府町 オホーツクエコクラブ
壁新聞のタイトル:わが家のエコ大作戦

オホーツクエコクラブ さんへ
師範から一言！

ここの特長は，先ず被災(ひさい)地を訪問(ほうもん)した報告(ほうこく)が載(の)っています。また，エコチャレンジを夏休みと冬休みの二回実施(じっし)していることです。それとわが家の節水法というコラムが造(つく)っており，節水＝節電とテキストにも記載(きさい)されています。「わが家の節水法」として生活への提案(ていあん)が書かれています，受け入れやすいこととだれでも簡単(かんたん)にできるということがポイントと思いました。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
さらに，感想(かんそう)のところでは，今後も電力不足はつづくので，家族全員で節電を心がけていこうと思うという決意(けつぎ)には，わたしも元気付けられました。
下水処理(しより)場の働きも大切です。節水のためにはこの仕組みについても学んでくださいね。



青森県弘前市 HEP21 エコクラブ
壁新聞のタイトル:ぼくたちとだんぶり池の仲間たち

とても楽しい、読みやすい壁新聞です。みんなで力を合わせてつくった「努力の作品」という感じが伝わってきます。1年間にずいぶんいろいろな活動ができましたね。それを1枚の壁新聞としてまとめる作業は大変だったでしょうね。

「ぼくたちとだんぶり池の仲間たち」は月ごとの活動を年間カレンダーのように並べ、しかもそれぞれの月をみんなで分担して受け持ち、仲間たちと相談しながら全体を1枚の壁新聞にまとめてあります。このやり方は、ほかのクラブのお友だちの参考になると思います。ひとつひとつの記事をみんなで分担して書いている様子は、12月のところを読むとわかります。月ごとに個性がでていて、読んでいておもしろいです。

「だんぶり池」という言葉、はじめ何のことだろうと思いました。でも、壁新聞のなかでこっそり教えてくれていますね。親切でうれしかったです。

壁新聞を読んでいると、皆さんたちの活動は環境だけではなく、とても幅広い分野に及んでいることがわかります。さまざまな視点から環境を考えることはとても重要なことだと思います。皆さんは素晴らしい体験を積んでいるということです。

よい指導者に恵まれ、幅広く環境をとらえる活動を展開できる皆さんにあやかり、ほかのクラブでも皆さんのような活動ができればいいなと思いました。

ところで、「HEP21」はどんな意味ですか。想像ですが、ヒロサキエコプラザ(Hirosaki Eco Plaza)の略でしょうか。でも、21はわかりません。こんど機会があれば教えてください。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
皆さんの活動は先輩たちの活動を受け継ぎ、長く続けていることが壁新聞からわかります。同じ活動を何年も続け、その時間変化を読み解くことで、いろいろなことがわかると思います。例えば岩木川と支流の土淵川の水質調査、年を追うごとにどう変化しているのかなど、まとめてみると新しい発見があると思います。

では、最後に皆さんにクエスチョンです。

支流の土淵川の水質は生活排水の影響で汚れているのに、土淵川が流れ込む本流岩木川の水質は比較的にきれいなのは、どうしてでしょうか？

青森県八戸市 下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

下長中エコクラブさんへ

青森県八戸市立下長中学校エコクラブの皆さん、こんにちは。クラブのメンバーがテーマに分かれてまとめてくれた壁新聞、どれも力作です。さすが中学生の作品、どれも読者のことを考えて読みやすくまとめてあります。どれを先に読もうか迷うくらい、どの壁新聞も魅力的で、内容を欲張らずにきちんと整理してあります。これからもクラブの活動を通し、仲間と協力しながら壁新聞をたくさん発行してください。期待していますよ。

では、それぞれの壁新聞について、感じたことをコメントします(壁新聞道場では「ゴシドウ」と呼びます)。皆さんが中学生ということ意識して、少し辛口の(きびしい)ゴシドウを書きますよ。ゴシドウを読んでめげずに、これからの参考にしてくれるとうれしいです。また、私が疑問に思ったことや知りたいことをクエスチョンしますよ。

①のコオイムシの新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

コオイムシの生態を通して環境のことを考えてくれました。コオイムシを指標生物(環境を測るモノサシになる生物)に選んだことは高く評価できると思います。どうしてコオイムシを選んだのかも書いてくれるとなおよかったと思います。

農家の方々が生きもの(私はこう書くのが好きなので、この文字を使いますね)と共生している様子を「コオイムシ」を通して調べた、努力の壁新聞です。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
農家の方々がコオイムシを含む生きものを守るために、いろいろな工夫をしていることを皆さんは発見しました。素晴らしい発見です。その発見は「自分たちも同じような努力をしよう」という前向きな発想を生みだすきっかけになりました。皆さんにできる努力とは、どんなことでしょうか。それも書いてくれるとさらによかったと思います。

田んぼのなかで繰り広げられる生きものの食物連鎖(食う・食われるの関係)、食物連鎖を調べてみるとさらにいろいろなことがわかると思います。コオイムシはその食物連鎖のどのあたりに位置しているのかな。私はとても興味があります。機会があれば調べて、ぜひ教えてほしいです。



下長中エコクラブ

壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

②の馬淵川の水質についての新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

馬淵川の水質調査について、とても詳しくまとめてくれた壁新聞です。読者が知りたいこと、すなわち、調査方法、調査結果、結果に対する考察を順序よく並べてあるので、読んでいてすっきりと理解できます。
得られた数値を表にまとめてくれてあるので、比較しやすいです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

水質調査の指標としていろいろな数値を選びました。私は元化学の先生だったので、気になるところを指摘しますね。次から直して使うとよいと思います。pH(PHではなくpHと書きます)、COD、DO、NH₄-N(NH₄ではなくNH₄と書きます)、PO₄(PO₄ではなくPO₄と書きます)、どれも水質を調べるうえで大切な数値です。これらの数値が、大きいとどうなのか、小さいとどうなのか、どれくらいだとどうなのか(数値がいくつならどんな生物が住めるのかなど)、読者に対して解説を加えてくれるとよかったですね。

馬淵川の水質を今より悪化させないために、自分たちにできることは何なのかを考えてくれたところも素晴らしいです。ぜひここで考えたことを実践してください。

水の汚れを取りのぞくために使い捨てカイロを使う実験はおもしろいですね。今回は期待するような結果が得られなかったようですが、次回への課題として、ぜひ使い捨てカイロの効果についてまとめてみてほしいです。



下長中エコクラブ

壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

③の馬淵川の水質調査の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

②のグループと同じ馬淵川の水質について調べたのですね。皆さんの壁新聞も調査方法、調査結果、結果に対する考察をきちんと分けて、順序よく並べてあるので、読んでいて理解しやすいです。イラスト入りなので読んでいて楽しいです。

皆さんが冒頭に書いてくれたこと、とても大切なことです。でも、ほとんどの大人はそのことに気付いていないのかもしれない。どうしたら、一人でも多くの人にこのことを伝えることができるでしょうか。私たちは楽しいゲームを通して、水の惑星地球の水について知ってもらおう活動をしています。たくさんある水のなかで、人間が利用可能な淡水はわずか全体の0.8%しかないのだということ。その0.8%が、池、川、湖、地下水、雲、雨、雪、生きものの体のなかなど、私たちの周りで動いていることを分かりやすく解説しています。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

皆さんが馬淵川の水質検査で使ったのはパックテスト、COD、NH₄-N、PO₄など、水の環境調査でよく使われる手法ですね。さて、測定した結果はどうだったのかな。数値で示してくれるともっと理解しやすかったかもしれない。

今回は八戸市を流れる川の神秘的な生きものについても紹介してほしいです。



下長中エコクラブ

壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

④の地球温暖化について新聞を書いたみなさんへ 師範から一言！

地球温暖化問題を取りあげ、中学生の皆さんの視点から壁新聞を通していろいろとコメントしてくれました。とてもよくまとまっていると思います。地球温暖化の原因、地球温暖化の結果予想される被害、地球温暖化防止のために私たちにできることなど、順序よくまとまっています。読んでいて、なるほど、なるほどと理解が進むと思います。

皆さんは今話題の原子力発電所についても書いてくれました。皆さんが書いてくれた通り、原子力発電所は放射線被害だけではなく、原子炉を冷却するために使った海水、そこへ逃がす熱が膨大な量になることを指摘してくれました。「原発反対」を唱える大人たちも知らない事実ですね。皆さんの分析はとても鋭いです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....

地球温暖化を今以上進めないために、私たちの日ごろの心掛けが必要と書いてくれました。さて、大切な地球環境を守るために、日ごろ私たちにできることは何でしょうか、やらなければいけないことは何でしょうか。そのあたりを次回は鋭く突いてほしいと思います。

海水面が上昇する理由、皆さんは極地の氷が融けることが原因であるとして書いてくれました。実は、もうひとつ大きな原因があります。地球温暖化と海水面の上昇、さて、もうひとつの大きな原因とは何でしょうか？



下長中エコクラブ

壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

⑤の水質調査と水質改善の方法について新聞を書いたみなさんへ 師範から一言！

女性チームらしい、かわいらしい壁新聞ですね。イラストも素敵です。早く中味を読みたいという気持ちにさせてくれます。でも、読んでいくうちに「おっ、中味は濃いな！」と感じてきます。

皆さんは水の環境調べについて壁新聞でまとめてくれました。水環境調査のための6つの基準、そのなかに指標生物(環境を測るモノサシになる生物)について書いてくれているのを読んで、とてもうれしく思いました。水の水環境調査で指標生物にまで触れてくれることは少ないからです。

使い捨てカイロを使った水質浄化の実験、その効果を示すとても素晴らしい結果がでましたね。

壁新聞の最後、ほかのクラブの友だち宛てのメッセージを書いてくれました。これを読んだほかのクラブのお友だち、「頑張ろう！」という気持ちになったと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....

さて、皆さんが住んでいる八戸市、そこを流れる馬淵川の水質はどうでしょうか。せっかくDO、pH、BODなどを説明してくれているので、これらの測定結果についても知りたかったです。そして測定結果をみたときの皆さんの評価も知りたかったです。

指標生物を基準として馬淵川の環境を調べた結果については、詳しく壁新聞で紹介してくれています。上流(源流付近?)、中流、下流と川下へ向かうにしたがって、そこに住んでいる生きものも変化している様子が伝わってきます。実際に皆さんが調べた結果どんな生きものをみつけることができたのか、そこまで壁新聞に書いてくれるのもっとよかったと思います。次号に期待していますよ。



下長中エコクラブ

壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

⑥の風の流れ方について新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

皆さんは壁新聞に素晴らしいテーマを選んでくれましたね。読んでいて感動しました。今までにたくさんの壁新聞を読む機会がありましたけれど、「風」をテーマにしたものはおそらく初めてだと思います。残暑が厳しいなかでも、皆さんの壁新聞を読んでいるだけで涼しさを感じてきます。

皆さんの壁新聞を読んで、閉じている窓を開放してくれる家庭が増えるといいですね。私たちが子どもの頃の家は、隙間風といって、扉を閉めていてもどこからともなく風が入ってきたものです(夏に暖房、冬に冷房などとふざけたものです)。そんな私の子ども時代のことを思い出させてくれた壁新聞でした。次号を楽しみに待っていますよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
風の流れを知るのに、湿度を指標にして測定したアイディアはとてもユニークだと思います。その場所の室温にせず、湿度を採用したのはどういうわけですか。それを知りたかったです。

温度差があると風が起こる実験、これもユニークです。打ち水はその効果をねらった昔の人々の知恵ですね。

京都町屋の坪庭について、テレビで放映しているのを観る機会がありました。坪庭は、周囲の部屋の風通しを考えた、素晴らしいアイディアなのですね。それに採光についても考えてあるそうです。坪庭に打ち水をすれば、眺めているだけでも涼しさを感じるといいます。それに比べて最近の建物は気密性が高まり、部屋の空気が入れ替わることが少なくなりました。



下長中エコクラブ

壁新聞のタイトル:コオイムシと環境の関連性

⑦の紙の利用法や減量について新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

壁新聞のテーマで「紙」を選んでくれましたね。目にしない日はないくらい、私たちの周りには紙があふれています。それくらい私たちの生活に密着している紙です。その紙をどうすれば環境に優しい行動が取れるのか、考えてくれたところがとても気に入りました。その着眼点が素晴らしいです。

皆さんの壁新聞は、着眼点がよいことに加え、紙の再利用があまり進まない原因を突き止め、どうすれば再利用率を高めることができるかを考え、実践したところがよかったです。

皆さんが壁新聞の最後に書いてくれたコメント、壁新聞のテーマ探しをしているほかのクラブのお友だちの大きなヒントになりますね。次号に期待していますよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
「余り紙」が使われない理由を考え、どうすればより多くの「余り紙」を使ってもらえるか、「余り紙」を使いやすいようにきちんとそろえておく、それだけの動作で再利用率が高まることを示してくれました。説明のイラスト(イメージ図)もとてもわかりやすいです。きちんとそろえた結果、再利用率はどう変化したのか、それも知りたかったです。次号ではそれにも触れてください。
八戸市では資源紙はどのようにしていますか。私が住む東京23区内は、新聞紙、雑誌、段ボールなど、それぞれを分別して排出し、再資源化へまわすように努力をしています。



青森県十和田市 緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
壁新聞のタイトル:グリーンキッズ・エコ

グリーン・キッズのサポーターさんへ
いつも子どもたちへのご指導ありがとうございます。お疲れさまです。
このたびはこどもエコクラブ壁新聞道場へチャレンジしてくださり、ありがとうございました。子どもたちの保育園での日常の生活が手に取るようにわかり、楽しく読ませていただきました。お小さいお子さんたちが対象ですので、「壁新聞道場のゴシドウ」を先生向けのコメント風にかかせていただきます。子どもたちがわかる言葉に置き換えて、皆さんへ伝えてあげてください。よろしくお願いいたします。
先生のお子さんたちが私の意図をくみ取ってくれるとうれしいです。
グリーン・キッズ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！



保育園の皆さん、壁新聞を書いてくれてありがとう。絵がたくさんあって、読んでいて楽しくなりました。壁新聞の周囲も美しく飾ってくれましたね。
皆さんたちがいっしょけんめい書いてくれた自分たちの姿、遊具がたくさんある公園で楽しそうに遊んでいる姿がよくわかります。でも、公園をみると、そこにはいろいろなゴミが落ちているのですね。
皆さんは公園へお散歩や遠足で行ったとき、遊ぶ前にゴミ拾いをやるのですね。とてもいいことです。子どもの皆さんがいっしょけんめいゴミを拾っている姿をみて、きっとゴミを捨てた人たちも恥ずかしいなと思っているでしょう。これからはゴミを捨てなくなりますよ。
みんなの公園がきれいになると気持ちがいいですね。これからもがんばって続けてくださいね。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
リサイクルの紙芝居をみたのですか。リサイクルできるものを書いてある不思議な形のマーク、いくつくらいわかるようになりましたか。
お家でこれらのマークをみつけたら、お家の方に「これはリサイクルできるのですよ」と教えてあげてくださいね。みんなで協力してリサイクルすれば、大きな力になりますね。これからもぜひ環境に優しい活動を続けてください。応援していますよ。

緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
壁新聞のタイトル:グリーンキッズ・エコ

グリーン・キッズ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

保育園の皆さん、こんにちは。素敵な壁新聞を書いてくれて、ありがとう。すてきな写真や周囲を飾っている絵が、楽しい保育園の生活を伝えてくれます。
空容器など、不用品を使った遊びを先生が考えてくださったのですね。素晴らしいアイデアです。不要品でも無駄にしない工夫、しかもそれで遊んで、さらに不用品の分別について学ぶ教材として活かすことができるのですね。
皆さん、保育園で先生といっしょにやったエコ活動、こんどはお家の方とお家でやってみませんか。そうすれば、皆さんのお家もエコ活動の仲間入り。一人でも多くの人がエコ活動に協力することで、皆さんの十和田市は今以上に住みやすいところになりますね。これからもがんばってエコ活動を続けてください。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
保育園の先生がいっしょけんめい皆さんにもできる、皆さんにもわかるエコ活動について考えてくださいました。
壁新聞に書いてくれたのはウッドデッキで育てたグリーンカーテンの話と使ったあとの空容器などでいろいろ作ったお話ですね。
グリーンカーテンは気持ちよかったですか。葉っぱの間から吹いてくる風は気持ちいいですね。グリーンカーテンに適した植物を考えてくれました。「おかわかめ」が一番というのには驚きました。たしかに成長が早くてすぐに軒下まで届きます。それだけではなく、「おかわかめ」は葉っぱに栄養があり、食べるとおいしいそうですよ。皆さんは育てた「おかわかめ」を食べましたか。まだだったら、こんど試してみてください。

岩手県奥州市 みずさわエコキッズ
壁新聞のタイトル:①エコキッズお知らせ掲示板②エコエコ新聞③思い出新聞

年間を通じていろいろな活動に取り組んでいるのですね。たくさんの体験活動ができていいなあと思いました。収穫したカボチャ、とってもおもしろいね。大きなカボチャをかかえた写真で楽しく活動している様子が伝わってきます。このカボチャは収穫の体験だけだったのでしょうか。今後は育てることも体験できるといいですね。収穫の楽しみがもっと大きいものになると思います。

みなさんの地域では、エコクラブの交流会があるのですね。いいですねえ。交流会はそれぞれの地域で活動するエコクラブ仲間に会える絶好のチャンスです。エコクラブの活動は、つつい自分たちだけの活動になりがちですが、こういった交流会が行われることで、ふだん会うことのできないクラブの仲間と会うことができ、情報交換もたくさんできて楽しかったらうなと、と想像しています。

「休けい台」をみんなで作ったんだね。きれいなけしきに見える休けい台、すてきですね。写真から、ちゃんと手袋をして熱心に作業をしている様子がわかります。四コママンガの「休けい台作り」みたいにならずに、みんなで協力して作ったんだよね。いいな。これからここがみんなの「とっておきの場所」になっていくといいですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

カレーを作りながらどんな話をしたかな？エコキッズたちだから、ゴミを出さない調理の工夫もできたかな。ただ集まって泊りするだけじゃもったいない！エコキッズならではの工夫のある交流会になるといいですね。

感想に「学んだことを生活にいかしたい」「家でも生かしたい」と書かれています。どんなことを学んだのでしょうか。どんなことがわかったのでしょうか。それをどのような場面でどんなふうにかかしていこうと思ったでしょう。もう少し具体的に書いてみましょう。そうすることで自分たちの活動をふりかえることができ、次にやりたいことがうかんでくると思います。壁新聞にもそのことを書けば、みなさんのがんばりがもっと伝わる新聞になっていくと思います。

てはよくわかりましたが、その活動をしたことでみなさんがどう感じたのかわかりませんでした。

次回は、やってみてどうだったのか、うまくできたことやむずかしかったこと、がんばったことやその結果。取り組んだ活動からわかったことなど感想をぜひ聞かせてください。エコクラブの活動をしたことでみんながどんなふうに変わってきたのか、成長したのか知りたいです。

みずさわエコキッズ
壁新聞のタイトル:①エコキッズお知らせ掲示板②エコエコ新聞③思い出新聞

みずさわエコキッズ③の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

昔の人は米作りは「八十八の手まかけて」といいました。米という漢字を分解すると八十八になるからと聞きますが、実際に米作りは田おこしから始まって、毎日の水の管理や草取りなど、たくさんの手間がかかって本当にたいへんです。田植えのための田づくりから田植え、そして稲刈りとはいざかけ(いなかかけとかはざかけとも言うようです)と、手作業でやる体験ができるってとってもいいですね。4枚の写真から熱心に取り組んでいる様子がわかりました。4コママンガのように、どろんこになりながらがんばったんあるうなということが伝わってきました。天日かんそう(はざにかけて干す方法)でかんそうさせたお米は本当においしいです。みんな食べたかな。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....
田んぼの活動と山登りについてまとめてくれています。実際の取り組みについ



岩手県奥州市 古道下・要害こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:川遊びと生き物観察

「川遊びと生き物観察」というタイトル通り、それぞれの活動のようすがイラストと写真でわかりやすくはっきりと書かれていますね。イラストうまいですね。説明がなくても何をしているのかちゃんとわかり、みていてとても楽しい気分になりました。胆沢川は川遊びができるんですね。
今は入って遊べる川が少なくなっています。みんなで楽しめる川があるなんてほんとうにうらやましいです。胆沢川をきれいな川のまま残していくために、ごみをひろったり清掃活動をしたりしているのでしょうか。今ある自然や環境を守るための活動をしていたら、ぜひそのことも壁新聞で報告してくださいね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
感想に「さまざまな生き物を知ることができた」とありますが、どんな生き物が見つかったのでしょうか。イラストだけでなく、実際に見つけた生き物たちのことを具体的に書いてあるといいと思います。どんな生き物がどのくらいいたのか、できれば、何年か続けていって、生き物たちの変化を記録していけるともっといいと思いますよ。ただ体験するだけでなく、すこ〜し科学の目をもって取り組めるといいですね。
そんな報告を待っています。



岩手県雫石町 わーくてんばー
壁新聞のタイトル:わーくてんばー新聞

わあ！エコまるがいるねえ。ということは、H24 年度は全国フェスティバルの会場に来てくれたんだね。はるばる遠くからありがとう。全国のたくさんのメンバーに会ってどうだったかな？それぞれの地域でそれぞれにみんながんばっていることがわかったと思います。そして、わーくてんばーのみんなもがんばっていますね。この壁新聞を読むといろんなことがわかりました。どこに行って何をしてきたのか。その結果どうだったのか、とてもわかりやすく書かれていますね。「水せい生物」調べではカジカがいてきれいな川だとわかったことや「川の水調査」では、きれいだと思っていた川が実はそんなにきれいじゃないことがわかって、それがどうしてなのか考えて、次に行った時どうしたいのか行動まで考えてくれています。みんなが何を考えどう行動してきたのかよくわかるすばらしい報告です。みんなの壁新聞にちょこっと顔をだしている「〇〇っち」たちもなかなかいいけてますよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....
みなさんの取り組んでいる水生生物調査や川の水調査、ごみひろいは今後も続けていく予定でしょうか。できれば、きちんと記録して残していけるといいと思います。
水生生物調査ではどんな生物がどのくらいいたのか、川の水調査では(パケットテストをしているのでしょうか)その数値を、ごみひろいではどんなごみがどのくらいあったのか、そういったことを数値で残していけると今以上に科学的になって、自分たち以外の人たちに伝える時にもより説得力がでできます。もちろん、その数字から自分たちがこれからやっていくべきことも見えてくると思います。ぜひ記録しながら続けていってください。



宮城県仙台市 こちら！南小エコころ研究所 2012

壁新聞のタイトル:未来の地球を救おう

こちら！南小エコころ研究所 2012 のみなさんへ

たくさんのメンバーでひとつのことに取り組むチームワークが何と言っても素晴らしいと思います。また、エコにつながる心＝エコころ、という言葉もとても素敵な言葉です。これからも、先生やクラスの仲間と協力して、エコ活動に励んでくれることを期待しています。

①の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

地球温暖化の防止こそ地球の未来にとって一番大切なことかもしれませんね。

②の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

イワナやサンショウウオの棲むきれいな川をみんなでいつまでも守っていきましょう。

③の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

活動を通して気づいた仙台の町の素晴らしさ。ぜひ、これからも守り続けてくださいね。

④の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

川をきれいにするためにゴミを捨てないことが大切です。落ちているゴミは拾ってゴミ箱に。バケツ稲もがんばってください。

⑤の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

タイトルに「あっ」と驚きました。いろいろな経験を通して、いろいろなことが学べましたね。これからもエコ活動、続けてください。

⑥の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

日本のドジョウが実は貴重な生物だと調べてわかりましたね。気づかないうちに今までいた生物がいなくなってしまうことのないように、これからもこのような活動を続けてください。



こちら！南小エコころ研究所 2012

壁新聞のタイトル:未来の地球を救おう

⑦の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

ギンナにはメスしかいない、これも調査の結果わかったことですね。調べるといろいろなことがわかります。この1年で学んだ「エコころ」を大切にしてください。

⑧の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

絶滅が心配されるオオタカのような鳥もすめる七郷堀の自然はとても大切なものですね。これからも皆さんの力で守っていきましょう。

⑨の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

250種類もの植物がある泉ヶ岳はとても自然が豊かなところですね。仙台の自然がいつまでも守られるように、これからも活動を頑張って下さい。

⑩の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

コットンプロジェクトはすばらしい活動です。エコころにつながる活動、これからもがんばってください。

⑪の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

ムラサキシキブはとてもきれいな花ですね。川の水があまりきれいでなくて残念でしたね。きれいにするためには？ みなさんで考えてみてください。

⑫の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

新聞のタイトルがひとつのメッセージになっていてとても素敵です。自分たちでできることから、活動を続けていきましょう。

⑬の新聞を書いたみなさんへ

師範から一言！

活動を通して、いろいろなことがわかったと思います。これからもエコにつながる活動を続けてください。



秋田県秋田市 あきた緑の少年団
壁新聞のタイトル:リサイクルで地球も人も豊か！

秋田イオンチアーズクラブの皆さんが作った壁新聞は、ゾウさん米、やきもの、ペットボトルキャップの行方という3つのテーマを表現する「リサイクルで地球も人も豊か！」を表題にして、まとまりのある立派な新聞になっています。皆さんが1年間にやったことは、春、夏、秋、冬の活動を含めて、たくさんあったようですが、テーマをしばって壁新聞にまとめたことがまず、一番目に素晴らしいことです。

二番目に素晴らしいことは、ぐるっと循環するできごとを、一つ一つていねいに書いていて、さらに数字に換算するなどして、それぞれどんな意味があるか？を考え、みんなに分かるように説明していることです。

やきもの作りも楽しい体験で、全国のお友だちも経験しているでしょう。でも、秋田イオンチアーズクラブの皆さんは、稲わらを燃やして作った灰釉を利用してやきもの作りをしたのが、とってもいい所に眼を付けて、貴重な体験をしたようですね！私もジャガイモを植えるときに切り口に灰の代わりに石灰を付けます。残念ながらわらを燃やすようなチャンスがないので、灰と同じ効果のある石灰を使っています。灰は肥料にしたり、灰釉にしたり、石灰の代わりになったりとすぐれものですね！エコクッキングで自分たちの育てた野菜などを食べておいしかったと言う話は良く聞きますが、皆さんはお皿などを自分たちで作って、それで食事をしたら、やっぱりおいしかったとのこと。このような体験は全国のお友だちは、なかなかできないと思います。うらやましいです！！商品についている環境ラベルマークは、分別することもだいじですよ、とも言っています。

皆さんが訴えたいだいじなことは、循環の輪を作り、ごみを減らしましょう、資源をだいじにしましょう、使える物はとことん使いましょう、などではありませんか？と言うことで循環の輪を作って地球も人も豊かになりましょう！なのですね。



あきた緑の少年団
壁新聞のタイトル:リサイクルで地球も人も豊か！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

大森山動物園のゾウさんが、どのくらいえさを食べるかは、知っている人もいるかもしれないが、えさ代がどのくらいになるか？うんちをどれくらいするのか？たい肥がどれくらい作れるか？そしてお米がどれくらい作れるか？などは知っている人はほとんどいないでしょう。1年間で100トンものたい肥が出来るとはビックリですね。面白い調査と体験をしましたね！このたい肥でお米を作ったようですが、ゾウさんのえさになるリンゴやニンジンも作ったのではないですか？

ペットボトルの行方は、良く知られているかも知れませんが、キャップだけの行方を細かく、ていねいに、良く調べましたね！ワクチンの話は良く出てきますが、皆さんはそれ以外の新素材エコプラッシュの製造と行方を調べてくれました。こんなに役に立つと分かると皆さんをはじめとして、このようなことを知ったお友だちも積極的にキャップ集めをしたいと思います。ぜひ、他の人たちにも教えると良いと思います。

スチール缶とアルミ缶のリサイクルも調べたのですね。アルミ缶の回収率が高いのは知っていますね。アルミを鉱物原料のボーキサイトから作るのに必要なエネルギーを100とすると、アルミ缶を回収してアルミを作る場合には、エネルギーがたったの3でいいのです。だから、アルミ缶を回収するのは、とってもメリットのあることです。

バナナは草である。サンゴは動物でも、植物でもある。どうしてそうなのかも説明してくれると全国のお友だちも、アーそうか！！と納得してくれますよ！バナナやリンゴ、みかんなどは果物であり、バナナも木になっているように見えるのに、木ではない。草である。エー、どうして？草と木のちがいは何だろう？バナナの木のみきのような所を横に切ってみる。何かほかの木のみきを、同じように横に切ってみる。切り口は何か違うかな？サンゴは植物でも、動物でもあることは、サンゴの絵を描いて、植物の藻が共生していることが描いてあると分かりやすいですね。

壁新聞の最初にリデュース、リユース、リサイクルの3Rというのがありますよ！と書いてあります。そして環境ラベルマーク(ほとんどがリサイクルマークです)をいろいろと集めて壁新聞に貼ってくれました。とても良いアイデアです。

ところで、3Rのリサイクルとこの壁新聞のリサイクルは同じと考えているのですか？世の中でリサイクルと言っているものには、リユースやリデュースもふくまれていることを知っておいてください。

もう一つ、分からなかったことがあります。リサイクルのポイントとして、プルタブだけを集めるのはやめましょう！と言っています。でも学校で集めているものにプルタブがあります。このむじゅんはどういうことなのだろうか？チョット皆さんの説明が不足していたのかな？

とっても立派な、素晴らしい壁新聞をありがとう。来年の皆さんの壁新聞は、どんな新聞か？、今から楽しみに待っていますよ。

秋田県秋田市 ひろおもてエコクラブ
壁新聞のタイトル:ひろおもてエコクラブ1年間の活動。

ひろおもてエコクラブは小学1年生、2年生、3年生、4年生、5年生、6年生の全部の学年がいるクラブですね。

一年間にかつどうしたこと、たいけんしたことの中で、いちばんたのしかったことや心にのこったことをまとめてかべしんぶんにつくりました。みんなが一人一人がきじをかいてくれて、よいしんぶんになっていますよ。

やはり、いちばんたのしかったことは、どうぶつ園に行き、ぞうやライオン、フラミンゴ、カメを見たことだったようです。どうぶつ園はこどもだけでなく、大人の人にもすきなところですね。さる山でできるがどんなことをしているかを見ていると一日中たのしめますね。

は虫いも見たのですね。わたしは、きょう、近くのゆうほ道へ行って、鳥の声をきいたり、花をさがしたりしていたら、目の前に1メートルより長いへびを見つけました。ずーと見ていたら、にげないでそばまできました。びっくりしました。みんなはへびはこわくないですか？私のこどもがみなさんとおなじ1年生のときに、へびをつかまえて、学校にもっていったら、先生がびっくりして、にげて行ったそうです。

ホテルのかんさつでは、なかなか見つけれなかった人と何びきも見つけた人がいたようです。ホテルのかんさつでは、かいちゅうでんとうでホテルをてらしてはいけないうのです。くらい所に行くのでどうしてもかいちゅうでんとうを使いたくなるのですが、ホテルに光をあてるとホテルがとってもこまるので、光をあててはいけません。卒業式で5年生はほたるのひかりを歌うと思います。昔はホテルの光や雪の明かりでべんきょうしたようです。何びきもホテルを集めると字が読めるくらい明るくなるようです。

プラザクリプトンでは、アマガエルを見つけましたね。長谷部さんが、カエルの絵をたくさん書いてくれました。いっぴき、いっぴきていねいに書いてくれました。おもしろいなー。新しいツリーハウスに登って、高い所から見ると自然が、そして木がくわしく見えて感動したようです。東京には、東京タワーやスカイツリーがあって、てんぼう台まで登って、高い所からまちのけしきがよく見えます。人は高い所からまちや自然を見るのが、好きなようです。



ひろおもてエコクラブ
壁新聞のタイトル:ひろおもてエコクラブ1年間の活動。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

みずべのかんさつでは、きれいな川にすむ虫や魚がたくさんいたようです。にべつの川はとてもきれいな川のように。やまめという魚は、とてもきれいな川に、アユもきれいな川にいます。少しよごれていても生きられる魚はこい。みなさんはこんかい、川にどんな虫がいるか、どんな魚がいるかで、川のきれいさがわかることを知りましたね。かんきょうしょうが水の中にいるいきもので川や池のきれいさ、きたなさがわかりますよというパンフレットをだしました。べんきょうして、つぎのしぜんかんさつのときにたしかめるとよいと思います。(川の生きものを調べよう 環境省、国土交通省 編集)

クリーンアップでは、町のごみ拾いをやったのですね。どんなごみが多かったですか？

たぶん、たばこのポイ捨てのごみが多かったと思います。だれが捨てたのかな？とうぜん、みなさんではないですね。おとなの人です。どうしたら、おとなの人にたばこのポイ捨てを止めさせることができるでしょうか？みなさんで考えて、くふうしてみ、良いアイデアがあったら、教えてください。

中学生になるとひろおもてエコクラブには、入れないのですか？6年生は最後のエコクラブ活動になるようです。たぶん、6年生の皆さんは、1年生や2年生などの下級生のめんどろを見てきたのだと思います。ごろうさまでした。中学生になってもエコクラブで経験したこと、勉強したこと、体験したことをわすれないうで、自分なりのやりかたでむりをしないでエコ活動を続けていくとよいと思います。

壁新聞にもっと絵をかくなどして、こども達の感動なり、楽しかったことなどを表現する工夫をすると、楽しい壁新聞になるのではないのでしょうか？

来年の壁新聞を楽しみにしています。

福島県郡山市 海老根エコクラブ
壁新聞のタイトル: 自然を守るために

10名のエコクラブメンバーで、学校全体の活動を率先して進めていること、また全体的にどのようなことが出来たのか、新聞の最初のコラムで書いてあるのでよく分かります。その後、それぞれの活動について細かく説明してあるので、さらに海老根エコクラブの活動について深く知ることができますね。とりわけ、ポイ捨て禁止看板作成と、海老根伝統手漉き和紙の記事が目を引きました。看板を作る作業の中で、みんなでよく話し合って時間をかけて看板を作った様子がよく分かります。また、和紙づくりは、地元の伝統や、地元の自然と私たちの暮らしが繋がっていることを体験を持って知る良い機会ですね。とりわけ、卒業証書を手作り和紙でもらうことで、一生の宝になること間違いなしですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
アレチウリという植物を通じて外来植物のこと、在来植物のことを知る、というのは環境を考える上で大切な切り口です。在来種と外来種の違いを観察しているのも面白く、その比較の項目に「役に立つか」比べているのはとてもユニークですね。こんな風に小学生ならではの目線でぜひいろいろな環境について探求して行って下さい。
ただ、どうしてアレチウリが日本で繁殖するようになったのか、除草することで解決できる問題なのか、もう少し掘り下げて勉強して欲しかったなあと思います。



福島県郡山市 片平小学校エコクラブ
壁新聞のタイトル: エコキャップ活動

片平小学校エコクラブ①の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

「リサイクル」や「エコキャップ集め」をテーマに大変見やすく説明できたと思います。一つの学校で154万個のエコキャップが集まり、1929人分のポリオワクチンに変わる、というのは活動の成果が見えて分かりやすいですね。
エコキャップで世界の子どもが救われること、このこと自体は悪いことではないのですが、「片山小学校」に関係している人たちが154万本のペットボトル飲料が飲まれたことについてはみんなで話あったりしましたか？ リサイクルすることは大切ですが、ごみを買わない、ということについてもみんなで考えてくれるととっても良かったのになあ、と感じます。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
皆さんのお家では、急須でお茶を飲んだりしていますか？ 私が住む京都ではお茶の生産も盛んなので、地元の子どもエコクラブのメンバーと一緒に、お茶摘み、お茶作り、そして急須でお茶を楽しむ、という活動をしています。茶葉からお茶を飲むこと、いろいろな容器に入っているお茶を飲むことで、どのくらいごみの量が違うのか、を調べてみるのもいいかも。リサイクルからリデュースにテーマを移して、これからも活動を進めて下さいね。



片平小学校エコクラブ 壁新聞のタイトル:エコキャップ活動

片平小学校エコクラブ②の新聞を書してくれたみんなへ
師範から一言！

地球温暖化が起きている原因やその影響について、イラストをうまく使って伝えようとしています。青い「ふきだし」で解説している部分は、「なんて書いてあるんだろう？」と興味を引かせます。とりわけ、「日本は、四季のうつり変わりが楽しめる国でなくなってしまうかもしれません」、という解説は私たち日本人の心に響きます。四季がない日本って想像できますか？最後に、私たちに何ができるか、が「一人一人が地球のことを考える」だけで終わっているのが残念だなあ。一人一人が実際どんな活動ができるのか、もしくはもうしているのか、そんな情報も書いてあれば、なお、いいと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....
せっかく地球温暖化問題について調べたのだから、もう少し自分の住む日本、もしくは福島県や郡山市の状況(影響)なんかを調べてみるのはどうだろう？みなさんのおじいさん、おばあさんの頃と現在では、どんな違いがあるのだろうか？氷が張ったかどうかなど冬の寒さについて調べたり、夏の暑さがどんな風が変わってきているのか、本当に日本は四季が無くなって来ているのかなど調べたりしたらどうだろう。そして、地域のことを調べる時に、ぜひ地域の人からいろいろ聞き取りをするとおもしろいよ。そして、自分の足で調べたことをもっと教えて欲しいなあ。



片平小学校エコクラブ 壁新聞のタイトル:エコキャップ活動

片平小学校エコクラブ③の新聞を書してくれたみんなへ
師範から一言！

「エコキャップ集め」活動について詳しく伝える新聞ですね。エコキャップアートで大きな「笑顔」の作品を作ったとのこと、私たちの生活から出てくる「捨てるもの」を活用してアートとして情報発信するのはとても大切なことです。ただ、片山小エコクラブ①のコメントにも書いたのですが、片山小学校でたくさんのエコキャップが集まったということ、それだけたくさんのペットボトル飲料が飲まれたことになります。リサイクルすることは大切ですが、ごみを買わない(リデュース)、ということについて、どんなことができるか、そこもしっかり調べて欲しいなあと思いました。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
エコキャップ運動って、日本でどの位の人に関わっているのかなあ？ また、集めたキャップがどんな形で、どこの国の人たちのワクチンに変わったのか分かるのかなあ？ 日本全体でどのくらいペットボトルの飲み物が買われているんだろう？ 100本飲んだら100本リサイクルされているのかなあ？ この新聞を読んでいるうちにいっぱい疑問がでてきちゃった。ぜひ、次の新聞では、そんな情報も調べてぜひ教えて下さいね。



福島県郡山市 湖南エコクラブ
壁新聞のタイトル: 湖南エコクラブ新聞

いろいろな活動を行っていること、どんなメンバーが活動しているのかなど新聞を読んでみるとよく分かります。水質調査は、猪苗代湖の浜辺、沼、川と同じ水辺でも生態系の違う水辺を調べたんですね。この調査を通じて、水質だけでなく、他のこともたくさん学んだに違いありません。

湖南エコクラブの一番いいところは、みんなの活動を学校の中だけでなく、学校の外の人にもちゃんと伝えているところですね。学校内での発表のために作った展示物、コナンツリーとはり絵、大きさにびっくりです。作るのに時間がかかったでしょうね。真ん中のキャップで「4」を表したのは何の意味があるのかな？ 4年生でつくったのかな？ 私には分からなかったのが残念。

湖南エコクラブは、小学生と中学生という年れいが違ったメンバーと一緒に活動しているようですから、それぞれ刺激合せて活動をもっと充実させて下さいね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
今回は「猪苗代湖」だけをテーマにしてみてもいいかな？ 猪苗代湖の特徴など調べたこと、そして調べて分かったことから、みんながどう感じたのか、これからどんな活動をしていきたいのか、地域の人とどう一緒に活動しているのか、地域の方は湖南エコクラブのことをどう思っているのか、など新聞にまとめてくれると、みんなにとって「猪苗代湖」とはどういうところなのか、読んでいる人に詳しく伝わるとと思います。



茨城県水戸市 しんそう世界だいすきクラブ
壁新聞のタイトル: みんな大切な地球のなかま

しんそう世界だいすきクラブ さんへ
師範から一言！

はじめに昨年(さくねん)の優秀(ゆうしゅう)賞(しょう)おめでとう。ことしはそのしんぶんきじも壁新聞(かべしんぶん)になりました。

一番上にこのクラブの目的と活動(かつどう)内容(りよう)が書いてあります。とくに「体験(たいけん)をとおして地域の自然を学び、理解(りかい)を深める(ふかめる)」ということばには、わたしたちがみのがしてしまうことが多い、体験による理解(りかい)という大きなテーマを取り上げ(とりあげ)ていることがこのクラブの活動にも現れ(あらわれ)ています。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
市民センターや保和苑の活動でも体験学習におもきがおかれ、どの子どももとても楽しい表情をしています。とてもたのしそうに見えますよ。

地球(ちきゅう)上にあるものが食物(しょくもつ)連鎖(れんさ)や海ゴミをとおして鳥も虫も草も木も仲間(なかま)であることを教えてくれています。



茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:特定外来種をにがさないで

千波湖のさかなをつかまえて写真をつかって名前を調べる(しらべる)のはとても大事(だいじ)なことですね。ついでに外来種(がいらいしゅ), 在来種(ざいらいしゅ)という言葉をおぼえてつかってみましょう。

さかなのたまご, ちぎょ, せいぎょが少なくなってきたのは, 特定(とくてい)外来種(しゅ)が食べてしまうからだというのにはおどろかされますね。

また, 壁新聞(かべしんぶん)の構成(こうせい)が科学を考えると同じとおりにできていて, 考え方の整理(せいり)ができます。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
壁新聞のタイトルが「特定外来種をにがさないで」で, 工夫(くふう)がみられました。赤い丸と青い丸で外来種を分けてあらわすことで, はじめての人にも理解(りかい)しやすい工夫(くふう)がよみとれました。



逆川こどもエコクラブ②の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

研究(けんきゅう)の動機(どうき)を最初(さいしょ)にかいていますが, おもしろそうだったからというの, とても大切なことで, おもしろければ少しのむずかしさものりこえることができます。それにしてもアメリカナマズ, オオクチバスの特定外来種(とくていがいらいしゅ)をみつけたのはすばらしいおてがらす。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
コイに餌(えさ)をあたえることによって水質(すいしつ)がわるくなることにつながることを知ったのはすばらしいめのつけどころですよ。外来種(がいらいしゅ)だけでなく, 今まで千波湖(せんぱこ)にいたコイでも水質(すいしつ)がわるくなることもあるんですね。これは思いがけない発見(はっけん)となりましたね。



逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ③の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

地味な活動(かつどう)になりがちな水質(すいしつ)調査(ちょうさ)を, 結果(けっか)がわかるようにまとめたのはとてもすばらしいことです。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
感想(かんそう)のところでは, 水(みづ)の中の養分(ようぶん)が多すぎてアオコが大量(たいりょう)発生(はっせい)したりゆを, CODのパックテストの結果(けっか)から判断(はんだん)していますが, 米汁(じ)や油(あぶら)などをそのままながさないようにすることもたいせつなたいさくと思いました。このようなことが起こらないように下水処理(げすいしり)場(ば)があるのですが, その仕組み(しくみ)についてもべんきょうをしてみるといいとおもいます。



逆川こどもエコクラブ④の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

身近(みぢか)な千波湖(せんぱこ)の森(もり)の生き物を調べ(しらべ)てみるとりくみですが, 思いがけない生き物の発見(はっけん)がありましたね。コオロギとゴキブリをまちがえたりはしないと思いますが, にているのでこんな心配(しんぱい)をしているとわかりました。おもしろい思いつきですね。

また, とてもすばしいオニヤンマをよくつかまえることができましたね。よく観察(かんさつ)したら元(もと)いた場所(ばしょ)へ返ししましょう。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
さらにカエル(かえる)の色(いろ)が周囲(しゅうい)の環境(かんきょう)によってかわることも発見(はっけん)してゆかいだなと感想(かんそう)をかいています。どうしていろをかえることができるのか, 図書館(としょかん)などでしらべてみるといいですね。いつまでもきれいな千波湖(せんぱこ)にしておきたいですね。



逆川こどもエコクラブ 壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ⑤の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

千波湖と青年の森広場と2箇所(かしよ)で昆虫(こんちゅう)を調査(ちょうさ)し、トンボの仲間(なかま)をまとめてくれました。千波湖では6種(しゅ)、青年の森では1種(しゅ)がみつきり、わたしもたくさんいることにおどろきました。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ばしよにより飛んでいるトンボの種類(しゅるい)が違う(ちがう)ことにもきがついていますね。トンボは、自分の好きな環境(かんぎょう)をえらんで生活(せいかつ)しています。その方が餌(えさ)をとりやすかったり、卵(たまご)をうんだりするのに都合(ごうご)がいいからです。これはチョウやカブトムシでもおなじことです。これがわかればすぐに昆虫(こんちゅう)をみつけられるようになりますよ。図鑑(ずかん)などをつかって一つ一つの昆虫(こんちゅう)の性質(せいしやう)をしっておくことがポイントです。めざせ、昆虫博士(こんちゅうはくし)！

逆川こどもエコクラブ⑥の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

ホタルが減っ(へっ)たのは、人間(にんげん)が手入れ(いへ)をしなくなったせい(せい)だと考え(をがく)、池(いけ)のくさかり、川(がわ)のそうじ、えさ(えさ)となる石(いし)をおいたり、天敵(てんてき)のザリガニ(ざりがに)をつかまえたりしています。皆さんがホタルレンジャーとしてとても大事(だいじ)な活動(かっどう)を(か)つづけてくれたのはすばらしいことで、わたしもうれしくなりました。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

また、ホタルの生息数(せいそくすう)をグラフ(がふ)であらわして、ホタルをふやすためには環境(かんぎょう)保全(ほぜん)(ぼぜん)がとても大切(たいせつ)で、天敵(てんてき)のザリガニ(ざりがに)をつかまえるのは楽しいのでがんばることができまうと書いてあり、思わず笑(わら)ってしまいました。でも楽しんでザリガニ(ざりがに)釣(つ)りができれば、ながつづきますね。これからがんばってみましよう。



逆川こどもエコクラブ 壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ⑦の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

壁新聞(かべしんぶん)をみて、中央(ちゅうおう)にある「ホタルの一生(いっせい)」の絵(え)はとてもよくできています。これはいろいろなところ(ところ)でつかえますよ。もう一つはいつホタル(ほとり)がとんでくるか、毎年(まいねん)のホタルの発見数(はっけんすう)をグラフ(がふ)であらわし、それほど減っ(へっ)ていないことを見つけてくれましたね。このデータ(でた)は大切な結果(けっか)ですよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ホタルレンジャーとしてザリガニ(ざりがに)をとったり、水中(すいず)のそうじをしたり、水路(すいろ)のくさかりをしてすみやすくしていますね。さらにホタルのえさ(えさ)となっているカワニナ(かわにな)のかんさつもしていますね。これらの活動(かっどう)はとても大切(たいせつ)なかつどうです。つづけてくださいね。

とくによちゅうが光(ひ)ることも写真(しやうしん)で確認(かくにん)していますね。これからホタルのすみやすい場所(ばしよ)を確保(かくほ)してください。



逆川こどもエコクラブ⑧の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

目的(もくどく)、調べ方(しらべかた)、結果(けっか)、感想(かんさう)の順(じゆん)に科学的(てき)な方法(はうほう)で壁新聞(かべしんぶん)が作(つく)られていて、とてもわかりやすいと思いました。

とくに下半分(かみはん)にはアオコ(あおこ)と外来種(しゅ)の二つ(ふたつ)の問題(もんだい)をまとめていて、感想(かんさう)にも外来種(しゅ)のことが書(か)かれています。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

アオコ(あおこ)が多く発生(はっせい)して悪臭(あくさう)をだすが、同時に酸素(さんそ)をだして自分で食(く)べてしまつて、今度は魚(うし)が死ぬ(しぬ)ことになることに気づ(き)いてのには感心(かんしん)しました。このために水(みづ)をきれいにする取組(くみ)みが必要(ひつやう)なんです。これから水(みづ)のことをけんきゅうしてみましよう。



逆川こどもエコクラブ

壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ⑨の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

いろいろな昆虫をつかまえてしらべ、地球(ちきゅう)温暖化が茨城県におよんでいることをとりあげると言う、手の込んだ(こん)だ観察をしています。

水戸周辺(しゅうへん)での調査では、もともと秋に来ていたウスバキトンボが夏に羽化(うか)してやってきたり、夏にはナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモンなどが見つかって地温(ちおん)の上昇(じょうしょう)がみられるという発見は優れ(すぐれ)ています。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

結論で温暖化による環境(かんきょう)の変化に適応(てきおう)できた種(しゅ)が県内にもやってきているので、いままでの生態系に影響(えいきょう)をあたえることが心配されるという指摘(してき)にはわたしもおどろかされました。これからいろいろな昆虫(こんちゅう)から地球温暖化をけんきゅうして下さい。



逆川こどもエコクラブ⑩の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

セミのうかにしぼってとてもくわしくまとめてくれました。大作です。なかなかかんさつできるチャンスがないのでうかのふしぎがわかるようにまとめてくれたのはすばらしいと思います。かんさつしていたときのおどろきがつたわってくるようです。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

わずか30分ぐらいで大きなへんかが見られますが、目をはなさずにかんさつし、ねばりづよく写真をとってつづけたしせいは科学のきほんとして大切なことです。いろいろなことを教えてくれるおもしろいかんさつつかかと思いました。



逆川こどもエコクラブ

壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ⑪の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

虫に興味があったので、千波湖周辺の虫をしらべたのがきっかけと書いていますが、身近ないきものにきょうみをもつことはとてもたいせつなことで、そこから生息している理由や地域にどのくらいいるのか、地球温暖化をかんがえることがはじまります。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

今回は今まで見たことのある虫以外の虫をつかまえて説明してくれました。さらにウスバキトンボが千波湖で早い時期から観察されるのは地球温暖化と関係していると思うと自分の考えを説明しているのは大切です。



逆川こどもエコクラブ⑫の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

ホタル再生(さいせい)池であぜ道つくりのてつだいをすることで、ホタルだけでなく、まわりの小さいきものにとって、みずべを整え(ととのえ)ていくことが大切だと気づいたことはすばらしいことです。

また、アメリカザリガニがホタルのようちゅうをたべてしまうことや、ホタルには二種類(しゅるい)あることなど、よく学んでいますね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

川の石にはいろいろな色があることなど、ホタルレンジャーになってくれる小さな子どもたちにも気づいたことを教えてあげてください。さらにホタルレンジャーの活動(かつどう)をがんばるという決意(けつい)を聞いて、わたしももかんどうをもらいました。



壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

師範から一言！

[illegible]

師範から一言！

いろいろな結果からアオコがふえる前に流れていけば大量発生を防ぐ(ふせぐ)ことができると考えたことも科学の手法の一つです。

壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

師範から一言！

[illegible]

師範から一言！

This collage features a variety of elements: handwritten text in different colors (pink, blue, green), small photographs of people and objects, a drawing of a person, and various geometric shapes and patterns. The overall theme is a collection of 'small things' or 'small moments'.

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

チョウ、トンボ以外のカナヘビ、オニツバタ、ショウリヨウバツタなども見つけていますね。千波湖のまわりにもたくさんの虫がいるので、おどろいていますが、わたしもおどろきました。この発見をいろんな人たちにはなしてみしょう。

逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ⑰の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

虫好きはわたしもおなじですが、みづかな場所で虫がすくなくなったので、どこへいくと虫が多いか、しらべてみようとしたのは大事な思いつきです。

学習会ではトンボとチョウをつかまえて名まえをしらべたりしていますが、池や沼、森、湿地(しっち)など水や空気がきれいなところに虫が多いことを観察でみつけていますね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

観察は科学の基本です。虫を見る人は虫の見える目をしています。虫のえさになっている植物やたべかす、ふんなども生き物のいたしるしです。

これらの観察もするととっても簡単に虫にあうことができるようになりますよ。ぜひ、試して見て下さい。



逆川こどもエコクラブ⑱の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

虫好きはわたしもおなじですが、子どもたちが虫網(むしあみ)を持って虫取りをしているすがたはとても楽しそうですね。

一番めにつきやすいトンボとチョウをつかまえたようですが、ナガサキアゲハだけはきちんと平成22年に水戸で初めて(はじめて)発見されたことをかきこんでいますが、このようなメモはとても大切で、習慣(しゅうかん)付ける(つける)といいですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

その他の虫では、普通(ふつう)に見られる虫以外(いがい)に、ヨコヅナサシガメのように外来種(しゅ)の虫がいますので、どこからやってきたのか先生に聞いてみよう。ずいぶん遠くからきたことがわかんと思いますよ。



逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル: 特定外来種をにがさないで

逆川こどもエコクラブ⑲の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

サケがのぼり、ホタルの飛ぶ(とぶ)逆川でいろいろな調査(ちょうさ)や保全(ほぜん)活動をしていますね。

一列目は川虫で水質(すいしつ)がわかるという図ですね。二列目はサケが逆川の上ようになった歴史(れきし)が書かれています。下水道の整備(せいび)が大変(たいへん)効果(こうか)があるんですね。

三列目はホタル発生地の保全(ほぜん)活動を写真入で説明してくれました。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....

感想では「自然(しぜん)が自分できれいな環境をつくり、たくさんの生き物がいるようになればいい」という願いを書いて、これからも保全(ほぜん)活動に取り組みたいと決意をのべています。わたしも同じ意見です。がんばってくださいね。



茨城県水戸市 こどもエコクラブ大塚池探検隊
壁新聞のタイトル:こどもエコクラブ大塚池探検隊

こどもエコクラブ大塚池探検隊 さんへ
師範から一言！

大塚池での4つの活動をたのしく見せてもらいました。とくに池の周り(まわり)の長さをはかってみるプログラムでは、自分の歩幅を使ってしらべる面白さがありました。いろいろな長さを体の部分、歩幅、腕(うで)を広げた長さ、指を広げた長さなどをものさしがわりにしてはかってみるのは大切な体験です。歩幅の大きな子、小さな子を同時にあるかせてはかることもできますよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
また、水質調査では8地点も調査するのは大変(たいへん)な労力(ろうりょく)だと思います。今までのデータを比較(ひかく)してみたことはありますか？年間の変化(へんか)や結果(けっか)を知らせることに挑戦(ちょうせん)してみませんか。もちろん水温や気温をはかっているとおもいますので、現場で温度を体感することもためしてみてください。



茨城県大子町 八溝自然たんけんたい
壁新聞のタイトル:サシバのすめる里山づくり

八溝自然たんけんたい さんへ
師範から一言！

とてもすてきなタイトルですね。自然(しぜん)にめぐまれているところでたくさんの活動報告と活動予定におどろくとともにうれしくなっていました。
人とのかわりを深めるために食育(食育) (米づくり、野菜(やさい)づくり)も広めていこうとしていることには、わたしも大いに賛成(さんせい)です。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
川、里山、田んぼの生き物をしらべて、たくさんいることが発見ですね。
これらの生き物に変化(へんか)があるかどうか、わすれずにチェックをしましょう。手書きの「里山だより」はとてもいいにできていますね。活動予定で、形を変えた童話や発表をするのは重要(じゅうよう)だと思います。



栃木県宇都宮市 チームミネ
壁新聞のタイトル:ボクらの活動

これはまたたくさんの活動を行いましたね。実際に活動することによって、はじめてわかることも多かったことと思います。これからもいろいろな場所で、いろいろなエコ活動をつづけていってくださいね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
これだけの活動、せっかくですので、どんな様子だったか、一言でも全国のおともだちに紹介してくれるとさらによかったです。次回はレポートつきの新聞を期待しています。



栃木県足利市 葉鹿エコクラブ
壁新聞のタイトル:葉鹿エコクラブ

15 年間もエコ活動をつづけていることにまずは敬意を表します。こういう活動ははじめることも大変ですが、続けていくことはとても大変なことだと思います。活動内容もとてもたくさんあり、どれも環境を良くしていくうえで大切なものばかりです。彦谷川が今後もきれいでありつづけるように、エコクラブの活動も長くつづくことを祈っています。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
この内容だと新聞は 2 枚でもよかったのではないかと思います。1 枚には収まりきらない内容があると感じました。



栃木県足利市 毛野南小エコクラブ
壁新聞のタイトル:毛野南小エコクラブ

たくさんの活動をされているようですが、中でも地球温暖化がさげられる中、樹木の二酸化炭素吸収量について調べたのはおもしろい活動ですね。実際にやってみると、いかに樹木が大切な働きをしているかがわかったことでしょう。その他の活動もそうですが、いろいろやってみて、そして気づくこと、これがエコクラブの活動のいいところですね。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
★.....★.....★.....★.....

せっかくの「みんなの感想」ですが、ちょっと字が小さくなってしまいましたね。もっと大きくとりあげてもよかったかもしれません。みんなが活動して気づいた事、これが大事なのです。



栃木県栃木市 イオンとちぎチアーズクラブ
壁新聞のタイトル:チアエコ活動掲示板

新聞の下に1年の活動の流れが書かれていますので、何をしたかが一目でよくわかりました。1年を通していろいろな活動をしましたね。ひとつのことだけでなく、たくさん活動することでわかることもあると思います。これからも活動をまとめた新聞、待っています。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
これだけの活動を1枚というのはむずかしかったですかね。枚数をふやして、それぞれの活動をもっと大きく取り上げてもよかったかもしれません。



壁新聞のタイトル:活動ファイル2012年

写真がたくさん使われているので、ふんいきがよくわかりますね。「ふれあう」活動と「つくる」活動が1年を通して行われています。それぞれでいろいろ勉強になることがあったでしょう。そして何よりとても楽しかったのではないかと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
★.....★.....★.....★.....

こういう活動は、楽しみながら、勉強することが大切ですよね。

来年も楽しい新聞が届くのを待っています。



壁新聞のタイトル:「絆」

自然は大切なものですが、時として人間にとってはとても怖いものでもあります。大震災の被害にあって苦しんでいる人々もまだまだ多いですね。こうして、時がたっても支援のための活動を続けていくことはとても大切なことです。たつまきや異常気象のような地域をおそう災害もあります。

とおきのゴジドウ★.....★.....★.....★.....
 このようなことを新聞で全国のおともだちに伝えていくことも
 また大切なことです。とてもいい活動だと思います。今後も
 ひき続き活動を行い、そして、その内容を、新聞によって
 全国のおともだちに向けて発信していつてくれることを期待
 しています。



栃木県大田原市 森の小人
壁新聞のタイトル: 楽しく学んだエコ活動2012

まず目についたのが「とてもきれいな新聞」だということです。ところどころにある絵がとてもよいアクセントになっています。年間を通してさまざまな活動も行われていますね。東北の被災地もいかれたようですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
★.....★.....★.....★.....

いろいろ感じたこと、考えたこと、があったと思います。その気持ちを次の活動に生かしてもらえたらと思います。森に感謝するという、この気持ちが大切ですよ。これからこの気持ちを忘れずにがんばってください。



栃木県大田原市 ガールズ
壁新聞のタイトル: 地球まもり隊

とてもデザインにすぐれた新聞です。葉の形や葉脈の感じなど、とても細かいところにも気を配った出来ですね。さて、活動の方の話ですが、年々野鳥が減っているとのこと。これは困ったことですよね。でも、このように気づくことによって、はじめてどうすればよいか考えるきっかけとなります。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....
★.....

今後も活動を通して、環境をよくするための「きっかけ」を見つけてみてください。

今年は全国フェスティバルにいらしてのですね。来年もぜひお越しください。お会いできることを楽しみにしています。



栃木県那須塩原市 黒磯ゆたかクラブ
壁新聞のタイトル: 栃木新聞

黒磯ゆたかクラブ①を書いたみなさんへ
師範から一言！

黒磯ゆたかクラブのみなさんは、自然を大切に、地球を守る活動を栃木新聞として、わかりやすくまとめでくれました。

初めての活動は、那珂川周辺でのごみ拾いでしたね。ごみは少なかったようですが、それでもベンチや階段などには、那珂川に、たぶん遊びに来た人が捨てたような、たばこのすいがらやあきかん、びんなどがみつかりました。街の中でどんなごみが多く、捨てられているかを調べると、あっとうきにたばこのすいがらが多いです。たばこを吸い終わった時に、無意識に捨てるようですね。たばこのすいがらを入れる持ち歩きできる専用のいれものもあるので、たばこを吸う人は、持ち歩いて、その中に捨ててほしいですね。水生生物を調べましたね。みなさんも先生に教えてもらって、わかったかと思います。水の中に生きている生き物で、水のきれいさがわかります。

これからどうするか？那珂川を大切に、生き物たちがすみやすい環境にしようとなんさんは考えたのですね。とてもすばらしいことです。生き物たちがすみやすい環境とは、私たち人間がすみやすい環境ということでもあります。いろんな種類の生き物がいる。たくさん生き物がいることが大切です。

来年は、今年の勉強の成果を出して、また、すばらしい壁新聞を送ってください。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

水のきれいさ、きたなさは、とてもきれい、きれい、少しよごれている、とてもきたない の4つに分けることができます。

代表的な生き物のサワガニ、コオニヤンマ、アメリカザリガニはどんな所に住んでいるのかな？サワガニは、とてもきれいな所に、コオニヤンマはきれいな所に、アメリカザリガニはよごれに強くて、とてもきたない水の所に住んでいますね。

那珂川はアユつりがさかんですね。アユはどのくらいの水のきれいさ、きたなさに住んでいるか、調べてみると良いと思います。

今回は、川に行って勉強したのですか？あるいは、教室の中で勉強したのですか？川に行った時に水生生物をさがして、水のきれいさを実感すると良いと思います。ただし、川に行くときは、大人の人といっしょに行くようにしてください。足をすべらせて川に落ちることもあります。あるいは、とつぜん、水の量がふえることもあります。川ってけっこう、あぶない所ですから。

レッドデータについても勉強したのですね。ぜつめつしそうな生き物がたくさんいることがわかりましたね。環境省は、日本全体でのデータを紹介しています。都道府県でもそのちいきごとに、ぜつめつしそうな生き物をとうろくして、みんなでごしょうとしています。みなさんは、栃木県のぜつめつしそうな生き物は何か？を調べて自然観察や生き物しらべをすると良いと思います。



黒磯ゆたかクラブ②を書いたみなさんへ
師範から一言！

黒磯ゆたかクラブのみなさん、こんにちは！みなさんは、那珂川のごみ拾いをしてキレイにしました。那珂川を知るために水生生物の観察をして、水のきれいさを実感しました。レッドデータブックも勉強しました。この3つのことを壁新聞にまとめました。とてもわかりやすく、写真もたくさんあるので、みなさんが真剣に活動しているのが良くわかる壁新聞になっています。

那珂川の生物観察もやりました。どんな生き物が、どのくらいいましたか？ヤマメとサケはいたのですね。それ以外にどんな魚や生き物がいたのだろうか？水の中にいる生き物で川のきれいさがわかりますよね。水のきれいさは、4段階に分けています。ヤマメなどがいる川は、とてもきれい、アユやコオニヤンマがいる川はきれいな川、そして少しきたない川、とてもきたない川の4つに分けています。みなさんが行ったところは、きれいな水の那珂川だったようですね。川からとってきた生き物は、観察が終わったら、また川ににがしていると思います。

5年生のみなさんがごみ拾いをやっている、街の人たちもいっしょにそうじをしてくれると思います。街の人たちが、「ありがとう」「キレイになったね」とか「えらいね」と声もかけてくれると思います。そんなかんしゃのことがあると、ますます元気になって、いっしょうけんめいにそうじをしたくなるよね。

これからも、みなさんは活動を続けて、那珂川をきれいに、那珂川のことをもっとよく知るようにすると良いと思います。那珂川にすむ生き物は、魚や虫だけでなく、花や植物もありますよ。楽しみながら、生き物発見のビンゴゲームをやるのもいいと思います。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

みんなでごみ拾いをしました。どんな種類のごみがありましたか？ごみの量は、どのくらいあったのかな？どんな所にごみが多かったのかな？みんなの活動で那珂川がキレイになって、良かったですね。

ごみがそこ、ここにある川になんか、行きたくないよね。キレイになると誰がよろこぶだろうか？遊びに来たお友だちがよろこぶよね。川に住んでいる生き物や周辺に住んでいる生き物もよろこぶよね。良いことがいっぱいあるってわかりましたか？

これからどうするか？市のみんなが那珂川をそうじします。市のみんなといっしょにそうじをします。1年間で何回くらいそうじをしたら良いだろうか？春、夏、秋、冬の4回かな？

レッドデータブックも勉強しました。国が指定しているぜつめつのおそれがある生き物があります。みなさんがインターネットで調べたように、栃木県としてぜつめつのおそれがある生き物もわかります。みなさんの足元の栃木県のデータを調べて、生物観察や自然観察をする時に、ぜつめつのおそれのある生き物を発見する活動もやると、いいかも！

来年は、どんな活動をして、どんな成果が出て、壁新聞に書いてくれるか、楽しみにしています。

黒磯ゆたかクラブ③を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

黒磯ゆたかクラブ③は、斉藤さんをリーダーとして、6人のメンバーで地球にいいことをしようとしているクラブですね。今回は、那珂川の清掃活動、那珂川の水のきれいさを指標生物観察で調べる、レッドデータブックから那珂川のぜつめつのおそれのある生き物を知る、と言う3つのことをまとめて、那珂川新聞という壁新聞にしたのですね。新聞のタイトルのように、那珂川に的をしばって活動をまとめたので、とてもすばらしい新聞が出来上がりましたね。

那珂川周辺の清掃では、垣根にたくさんのごみがあったようですね。なぜ、垣根にごみが多かったのだろうか？街の中でごみ拾いをすると、一番多いごみは、たばこのすいがらです。次に多いのは、かんやびん、ボトル類です。たばこのすいがらは、どこにあるかと言うと、どうろのはじに多いです。捨てる人も火事にはしたくないので、水がながれる、あるいは水が集まる道ばたに見つかります。びんやかんなどは、垣根、植えこみに多く見つかります。どうしてだと思います。もし、自分がびんやかんを捨てるとしたら、どういう所に捨てるかを考えてみてください。な～るほど！とわかるでしょう。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

水のきれいさ、きたなさがわかる生き物のことを指標生物といいますね。那珂川の水生生物を観察したら、那珂川の水はきれいだとわかったようです。生き物と水のきれいさ、きたなさを分類してくれました。ところで、那珂川にはどんな水生生物がいたのですか？何匹くらい見つけたのですか？そのようなデータを壁新聞の中に書くと、二つ目の感想、結論である「那珂川の水は、きれいな水だ」と言うことが、ほかのお友だちにもわかってもらえると思います。

レッドデータブックを勉強して、自分たちの足元である那珂川には、ぜつめつのおそれがある生き物は何か？と言うことで記事にしたのは、大変良いことだと思います。魚類で調べると那珂川にいるのは、12種類の魚だったようです。それでは、なぜ、12種類の魚が、ぜつめつのおそれのある状態になったのか？メンバーで話し合い、その原因を考えて見ることも大切なことです。川が環境が変わったのだろうか？これらの魚をえさとする別の生き物がふえたからだろうか？などなどをみなさんで考えてみることをお勧めします。原因が予想出来たら、現地を調べてかくにんすることが大切です。

那珂川の生き物にとっていい環境とは、私たち、みなさんたちにもいい環境ということです。なぜ、生き物をだいじにしなければいけないのか？その理由は上に書いたように、私たち人間にもいい環境になるからです。

今度、活動する時には、ごみの種類と数あるいは水生生物の種類と数などのデータをしっかり取って、壁新聞に書くと良いと思います。



黒磯ゆたかクラブ④を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

大田原さんを班長とする黒磯ゆたかクラブのみなさん、生き物新聞の壁新聞を作って、送ってくれてありがとう。黒磯ゆたかクラブのメンバーがいくつかの班にわかれて、活動としては、那珂川の清掃、那珂川の水生生物の調査、レッドデータブックの勉強の3つをしました。活動の結果をどうまとめるか、で各班がそれぞれとくちょうを出して、わかりやすい新聞にしました。すばらしい新聞です。アースレンジャーは「かんきょう」と「生き物」を大切にします。ということでアースレンジャーであるみなさんは、那珂川を活動の場として、「かんきょう」として那珂川の清掃をして、那珂川を大切にしました。水生生物を調べ、レッドデータブックを勉強して、「生き物」を大切にすることを学びました。那珂川の清掃では、たばこのポイ捨てが多いことに気がつきましたね。どんな所に多いか？草の下やじやりの所でした。たばこを吸うことをやめてほしいが、なかなか出来そうもない。そうであれば、たばこのすいがら入れを、たばこを吸う人は持ってほしいですね。ポイ捨てしないで、すいがら入れに捨ててほしいですね。街の中のポイ捨てで一番多いのは、同じでたばこの吸いがらです。全国、どこも同じようですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

那珂川の水生生物を調べました。けんび鏡で観察したら、ミジンコ、ゾウリ虫、アオミドロなどの小さい生き物も見つけましたね。ミジンコやゾウリ虫を小さな魚が食べて、その小さな魚をちょっと大きい魚が食べる、その魚を鳥がたべる、その鳥をタカなどの大きい鳥が食べる、というように食べる、食べられるの関係で自然の中では、生き物がバランスを取っています。ですから、どんな生き物も生きていることが大切です。こんな生き物はいなくても良いと言うことはありません。今、世界では、日本では、栃木県もそうかも知れない、そのような関係がくずれて、バランスが悪くなっています。

そんなことで絶滅しそうな生き物、魚はどうかを調べましたね。那珂川でもたくさんの生き物が絶滅しそうになっていることがわかりました。タナゴだとか、ドジョウ、メダカなどがいなくなったら、どうなると思いますか？考えて見よう。えさとなるこのような生き物が少なくなり、いなくなったら、鳥も生きていけなくなります。えさがほうふなどこちがうところへ、鳥は飛んで行ってしまいます。黒磯に、那珂川に鳥がいなくなったらさみしいよね。

これからどうするか？みなさんができる川や生き物を大切にすると、何をすることですか？みんなで話し合っ、具体的に実行できることを、実行するようにすると良いと思います。来年の壁新聞には、実行したことを報告してくれるとうれしいです。壁新聞を待っていますよ。



黒磯ゆたかクラブ⑤を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

黒磯ゆたかクラブのアースレンジャーの鈴木さん、相良さん、相馬さん、佐川さん、洪井さん、こんにちは。みなさんがやったエコ活動を自然新聞としてまとめた壁新聞を送ってくれてありがとう。

栃木県から茨城県へ流れる那珂川で行ったいろいろな活動を紹介してくれました。

那珂川のレッドデータに関係する生き物も紹介してくれました。オイカワ、メダカはぜつめつのおそれがある魚ですね。サケやアメリカザリガニもぜつめつのおそれのある生き物ですか？アメリカザリガニは、外来種であって、本来は日本に、那珂川には、いない生き物ですよ。明治時代に日本に来て、今では日本中に広がった生き物です。外来種であるので、いなくなるようにしたい生き物になっていると思います。でも、もしかしたら、みなさんはザリガニつりでアメリカザリガニをつって、楽しんでいませんか？

また、壁新聞を送ってください。こんどはどんな活動をしているかなー？たのしみです。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

エコ掃除は、楽しかったですか？楽しいと言うより、たばこのすいがらが多くてビックリしたのではありませんか？びんとか、かんもありましたか？ごみの種類と数を調べて、グラフにすると、那珂川のごみのようすが一目でわかりますよ。この掃除活動で、みなさんはどんなことを考えましたか？なんでたばこのごみが多いのだろうか？ごみのポイ捨てをなくすには、どうしたらよいだろうか？などなど考えましたか？みんなで話し合いましたか？

水生生物と水のきれいさ、きたなさを、一目でわかるようにまとめてくれました。生物の写真をはりつけてくれたので、よくわかります。ありがとう。このような水生生物が、みなさんが調べた那珂川にいたのですか？全部同じ場所にいたとなると、那珂川の水は、きれいなんでしょうか？きたないのんでしょうか？わかりません。黒磯ゆたかクラブ-⑤のみなさん、教えてくださいませんか？那珂川はアユつりでも有名ですね。アユはどのくらいきれいな水にいるのんでしょうか？

まとめに自然を守っていきたい、とみなさんが考えていること、やろうとすることが書いてあります。そうです！いいことです。自然をこわさないようにしましょう。どうして自然を守ることがだいじなのか？もう一度、みなさんと話し合ってみると良いと思います。

黒磯ゆたかクラブ ⑥と⑧の新聞を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

アースレンジャーとしての活動はたいへんだけれどやりがいのあることだと思います。ゴミが多い川というのは見ているだけでも気持ちのいいものではありません。皆さんがこうしてゴミを拾ってくれることにより、きれいな川が守られていくのです。川にゴミを捨てる人がいなくなしてほしいですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

これからもきれいな那珂川を守るための活動、そして活動報告の新聞を待っています。



壁新聞のタイトル:

黒磯ゆたかクラブ⑦を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

黒磯ゆたかクラブ⑦の山田班長さん、澤村副班長さんたち5人が作った、アースレンジャー新聞をたのしく見ましたよ。エコまるくんみたいなかわいい人形の絵がありました。生き物の絵もいっぱい書いてくれました。山田班長さん以下、メンバーの目的は、那珂川を知ること、生き物を大切にする、そして自分たちでやれることを提案することの3つがあります。

那珂川を知ることの一つは、清掃をして、那珂川が今、どうなっているか？を知ることです。那珂川にいる生き物を知ることも那珂川のきれいさ、きたなさを知ることになります。

那珂川にいる生き物を知って、レッドデータブックでぜつめつのおそれのある生き物がいるかどうかを知ること、生き物をどうやって守るかが、生き物を大切にするにつながりますね。

那珂川の清掃では、ごみふくろを2つ分のごみを集めたのですね。ごみふくろ2つ分は、黒磯ゆたかクラブ⑦のみなさん、5人で集めたごみですか？あるいは、ほかの班の人の分もいっしょにした量だろうか？ごみの種類としては、たばこのすいがらが一番、多かったではありませんか？みなさんがよごしたごみではないのに、みんなががんばってごみを拾ったようですね。えらいな～。

水の中にどんな生き物がいるかで、水のきれいさ、きたなさがわかります。教室(体育館？)で生き物を調べています。これは那珂川から取ってきた水ですか？生き物の絵がきれいにかいてありますが、これらの生き物が那珂川にいるのですね。アメリカザリガニはよごれに強い生き物です。ですから、街中のどぶ川みたいなきたない水の中でも生きています。サワガニやヤマメはとてもきれいな水にしか生きられませんので、みなさんが調べた所の那珂川の水は、たいへんきれいだったと思います。

また、壁新聞を送ってください。みなさんの成長が見られる新聞になっているでしょう。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

水のきたなさ、きれいさははかるパックテストでも調べたのですね。結果はどうでしたか？

きれいという結果が出たのでしょうか。パックテストのしやくは、とてもびんかんであります。ゆびでチューブを押して水の中に入れ、ゆびをゆるめると水が入り、きれいさははかることができます。その時にちゅういすることは、水の中にチューブを入れたままで、チューブを押さないことですね。くすりが出でしまいます。もう一点、ちゅういすることは、ゆびの先が水の中に入らないようにすることですね。ゆびさきが入ると、水の判定は“よごれてます”になってしまいます。しやくがとてもびんかんなので、ちゅういしましょう。

私たち5年生のアースレンジャーは、那珂川的环境、地球の環境を一生懸命に守ります！と力強くせんげんしてくれました。たのもしいな！ぜひ、自分たちの身の回りからエコを進めて、那珂川の環境を守るようにしてください。期待していますよ！

那珂川の環境を、地球の環境を守ることで、私たちにはどういう良いことがあるのか、メンバーで話し合ってくれるとうれしいです。



壁新聞のタイトル:

黒磯ゆたかクラブ⑨を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

黒磯ゆたかクラブ⑨のみなさんは、今年からアースレンジャーになって、川原のせいそうと水生生物と水のよごれとのかんけいを調べ、そして那珂川のぜつめつのおそれのある生き物を調べて、那珂川新聞にまとめてくれましたね。新聞はよくできていますよ。

川原をせいそうしたら、大きいものが多いかな、と思ったら、意外と小さい物が多かったようですね。大きい物って、みなさんは何をよそうしていましたか？ガラスも落ちていたようで、けがはありませんでしたか？あぶないよね。みなさんが見つけてくれて、ありがとう。川には入れなくて、残念でしたね。でも、川に入る時は、すべらないか？きゆうに川が深くなっているところはないか？川の中にきけんな物はないか？川の水がきゆうにふえることはないだろうか？などじゅうぶんに気をつけないとあぶないですよ。

少しきたない水に生きている生き物は？きれいな水に生きている生き物はなにか？を調べて、生き物の写真をつけてまとめてくれたので、とってもわかりやすくなっています。

まとめでは、みなさんが自然を守っていきたい、と力つよくせんげんしてくれました。たのもしいなー！どんなことをやって、自然を守ったかを、次の那珂川新聞に書いてくれるとうれしいです。首をながーくして待ってます。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

那珂川で見つけた生き物はなんでしたか？生き物がわかると那珂川の水のきれいさ、きたなさがわかると思います。

それぞれの県でもレッドデータブックをつくって、ぜつめつしそうな水生生物は何かをきめています。那珂川の生き物のうち、ぜつめつのおそれのある生き物を調べましたね。ヤツメウナギ科の4しゅるいとコイ科の5しゅるいがぜつめつのおそれがあることが、わかりましたね。

今回、みなさんのかつどうでは、那珂川にすんでいる水生生物は見なかったのだろうか？レッドデータブックに書いてあるヤツメウナギ科とコイ科の水生生物を見なかったのだろうか？みなさんのグループは、ごみひろいは、那珂川まで行ってじっさいにごみをひろったのですが、水生生物調べとレッドデータブックの調べは、本を読んでまとめたものですか？那珂川にいる生き物を見たり、さわったりしてみることもだいじです。この次の那珂川新聞には、見たり、さわったりしたかんそうも書いてくれると、良いですよ。



黒磯ゆたかクラブ⑩を書いてくれたみなさんへ

師範から一言！――

黒磯ゆたかクラブ⑩の荒井さん、大田さん、大沢さん、伊藤さん、磯さんの5人のアースレンジャーが、那珂川のそうじ、那珂川にすんでいる生き物そして那珂川のレッドデータブックの生き物を調べて、これからどうしたら良いかをまとめて那珂川新聞として書いてくれました。よくできていますよ。

これからどうするのか？アースレンジャーのみなさんは、川をきれいにすることと、生き物がすみやすいようにすることを心がけたいと力つよくせんげんしてくれました。もっとほかの人にもしてもらいたいので、身近なものでせつめいしてくれました。せんたくなどに使うせんざいをへらしましょう。せんざいを少し流すと、もとのようなきれいな水にするのに、とってもたくさんのお水でうすめるのがひつようです、とわかりやすく説明してくれました。

水をきれいにすることで、生き物の魚が住みよくなるんですね。みなさんが川をよごさない、きれいにすることでできることは、なんだろうか？せんざいを使う量を少しでもへらすことは、みなさんも、学校のお友だちもできることですね。良い所に目をつけましたね。

次の那珂川新聞では、みなさん、アースレンジャーのかつやくの記事がいくつ書いてあるか、楽しみます。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

那珂川のそうじをしていると、サワガニや魚が観察できるようですね。そこでみなさんはサワガニや魚のしゅるいで、川のきれいさ、きたなさがわかると勉強したのですね。勉強した結果、きれいな水に住む生き物は、サワガニです。すこしきたくない水には・・・、きたない水には・・・、たいへんきたくない水には・・・ということで生き物の写真やスケッチで、わかりやすくまとめてくれました。でも、じゅんばんを変えらるともっと分かりやすくなりますよ。きれいな水、すこしきたくない水、きたない水、とってもきたくない水のじゅんばんにするのがよいと思います。それとアメリカザリガニの写真は、とってもきたくない水にはってありますが、手で書いたスケッチ画は、きたない水ときれいな水の真ん中にあります。アメリカザリガニはとってもきたくない水に住んでいると思います。スケッチ画がとてもじょうずに書けているけど、はりまちがえたのかな？

那珂川に住んでいる魚で、絶滅の危機に追いつめられている魚の3つをじょうずに書いてくれましたね。メダカ、ヤマメ、サケですね。ヤマメがレッドデータブックに書いてあるとしたら、溪流釣りで釣りあげたら、持ち帰らないで、川にはなしてやるのがひつようです。ヤマメとサケの説明文がとちゅうで切れています。ヤマメは人気が高い、サケはそ上するころには、赤くなるかな？

栃木県壬生町 わくわくクラブ

壁新聞のタイトル:はじめてのエコしんぶん

わくわくクラブのみなさんがつくったかべしんぶんは、とってもすばらしいとかんじました。なにがすばらしいかというと、おうちのひとといっしょになってエコかつどうをしているところです。もう一つすばらしいのは、まんなかになきゅうがあって、ハートの中にみなさんのかつやくがきれいにしやしんでかざられていることです。

「あさがおでリースづくり」は、おともだちがいつているように、なつははなをたのしみ、ふゆはリースづくりをたのしむ、1ねんで2かいもたのしむことができるのですね。クリスマスのリースでもいいし、おしょうがつのかざりでもよいですね。

「ずこう ならべてひろげて」は、みなさんはペットボトルのふたをたくさんならべてこうさくをしました。ピラミッドができました。タワーができました。しんちょうにつくらないとたくはつみあげられないでしょう。たぶん、むちゅうになってつみあげたとおもいます。じかんがすぎるのをわすれてこうさくをしたのではないのでしょうか？

あきのフェスティバルでまつぼっくりツリーをつくったのですね。みんなのつくったまつぼっくりツリーがしやしんになっていました。とってもきれいにできていましたよ。

まつぼっくりは、はれている日はひらいているけれど、あめの日はとじてしまうようですが、だいじょうぶでしたか？

はじめてエコしんぶん。これからはしんぶんをおくってください。たのしみにしています。(次からは、はじめて ということばがぬけるのかな？)



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

おや子エコかつどうでは、みなさんがたのしそうにしているそばで、おうちの人がいっしょけんめい、そしてうれしそうにつくっているのが、とてもほのぼのとしてすばらしいです。お手つだいエコ日記もみなさんのエコかつどうを、やさしくみまもるおうちの人のかたがとてすばらしいとおもいます。こどものやることに関心をもって親がいっしょになって活動することが一番だいじだと私は思っています。それをみなさん、おうちの人がやっていることはたいへんすばらしいことです。ぜひ、つづけてください。お手つだいエコ日記は、こどもの目線でエコを体験して、エコとは何かを考えたのがとても良かったと思います。さらにおうちの人、ありがとうの気持ちでコメントを書いているのは、さらにすばらしいと思いました。このようなエコ日記は、ぜひ、続けていただけると、こどもたちのエコ活動がさらに広がると思います。

栃木県壬生町 なかよしエコクラブ
壁新聞のタイトル:森の恵み 見つけたよ

普通気が付かないで見過ごしてしまう部分を取り上げた活動です。森にはさまざまな食材があること、気を使った遊具づくり、間伐した木を用いたものづくり、葉と牛乳パックからつくる紙、など森のめぐみをふんだんに使った活動ですね。森は人々にいろいろなものを与えてくれます。そんな森に感謝の気持ちをもてるように、実際の活動を通して、学んでいるのはとてもよいことだと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
★.....★.....★.....★.....

森にはまだまだいろいろな恵みがあると思います。もっともっと全国のお友達に紹介してあげてください。



栃木県壬生町 きらりクラブ
壁新聞のタイトル:空気のごれと水のごれ

空気も、水も、私たちが生きていくうえでとても大切なものです。でも、その大切なものが今よごれてしまっているんですね。これは悲しいことであり、困ったことでもあります。もとはといえば人間がよごしてしまったのですから、きれいにするにも人間の力が必要ですよね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
活動を通して、1人1人の努力が大切と気づいたようですね。この気づき、これが大切なのです。これからも気づいたことを全国に向けて発信してってください。それを見た人たちも、きっと水や空気をきれいにするための努力に協力してくれることだと思います。



栃木県壬生町 キラキラクラブ

壁新聞のタイトル:校庭や北っ子の森の植物を調べよう

キラキラクラブのみなさんが作ったかべ新聞は、校庭や北っ子の森の植物について調べようということで、企画書から始まって、現地での活動、先生へのお礼の手紙まで、しっかりとまとめたすばらしい新聞です。

みなさんは、たぶん、虫や動物にはきょうみがある人が多いと思います。でも今回の活動で植物のすばらしさ、だいじさがとても良くわかったのではないのでしょうか？外部の先生がきて、ていねいに、そして親切にわかりやすく説明してくれたようですね。きしょう植物は、なかなか見つからない、わからない植物かも知れませんが、今回の調査でよくわかったと思います。種をまいて、大きく育てたのですね。種をまくのでも、いろいろと注意することがあることもわかって、良かったと思います。

天神沼のひみつを調べたのですね。ここでは植物だけでなく、動物も調べたようですね。今回は見つけることができなかったようですが、ブラックバスは外来種ですので、ふえてほしくない魚ですね。ザリガニもたくさんいたようですが、外来種のアメリカザリガニではなかったのですか？明治時代に食用として日本に入ってきたのが、自然の中でふえてしまい、もともと日本にいたザリガニが少なくなってしまうました。

今回の調査では、みなさんの3人の人が沼に落ちてしまったようですね。先生も落ちたようですが、無事だったので良かったと思います。でも、あぶなかった！こんど、また調べ学習をする時は、十分に注意し、あぶないところにはぜったいに行かないようにして下さい。今回の活動では、ふだんはあまり気がつかないかもしれない、植物についていろいろなことがわかって良かったと思います。地球上に植物がなければ、動物も生きてはいけません。植物のだいじさ、大切さがわかったと思います。この次のかべ新聞は、どんなことにちょうせんするのだろうか？楽しみに待っています。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

森と水辺の周りの植物をくらべよう の学習では、企画書に書いてある草のせいしつ、色、形、香りなどにちがいがあろうと予想をした点がとてもすばらしいと思いました。調査やじっけんなどをする場合には、はじめに自分たちが知りたいことについて、予想をすることがとてもだいじです。予想をしておく、そのような見方で植物なり、じっけんをよく見ることになります。ぼんやりと見ていると見すごしてしまうことも、最初に予想をしておくで見すごすことはありません。

食中植物を育ててかんさつすることもおもしろい体験ですね。学習発表会でも発表したようで、すばらしいですよ。実際に虫などを植物がつかまえたのですか？結果がどうなったか書いてなくてざんねんでした。

栃木県壬生町 にこにこクラブ

壁新聞のタイトル:おてつだいエコ新聞

にこにこクラブのみなさん、とてもすばらしいおてつだいエコ新聞をおくってくれてありがとう。おてつだいエコ日記を1まい、1まい、ぜんぶよみました。みなさんがいっしょうけんめい、がんばって、そしてくふうしたエコがありました。

にこにこクラブの素晴らしいところは、小さいこども達のレベルに合わせて、無理のない、しかもこども達が楽しくやれることを選んで、実施していることです。

もう一つの素晴らしいところは、おうちの人、こども達のエコ活動をほめて、こども達に感謝をし、エコ活動を継続するように、一緒になって活動していることです。親が一緒になって活動することが、こどもにとってはとてもうれしいことであります。と言うことで親が深く関与していることが素晴らしいことであります。

みんなのエコおてつだいは、つかいおわった新聞紙、牛にゆうパックやお風呂やプールのお水、あきびん、あるいはきられなくなったようふく、ジャガイモのかわなどをりょうして、まどやかがみをきれいにしたり、くつをきれいにしたり、お花の水にしたりと、いろいろとくふうしましたね。

もう一つのエコおてつだいは、スキマモップやほうきをつかってでんきそうじきをつかわなくても、きれいにできるよ！よしずをつかうとへやのおんどが下がって、エアコンをつかわなくてもいいよ！という電気のせつやくです。

もう一つのエコおてつだいは、ペットボトル、かんのぶんべつとペットボトルをつぶして、小さくすることです。

みんなのエコおてつだいに、おうちの人、がとってもよろこんでいました。みんなが、こんなエコおてつだいができることに、おうちの人、がビックリしていましたね。こうするととってもいいよ！とおうちの人、がおしえてくれることもありましたね。これからはおうちの人、をビックリさせるようなおてつだいをすると、いいと思います。じゃがいものかわでお風呂ばのか、がみのくもりがとれるのは、私もビックリです。ためしてみたいと思います。良いほうほうをおしえてくれてありがとう。

木のみをつかって、しゃれたしゃんたてやかべかけなどを

つくりましたね。一人ひとり、じぶんだけのさくひんができて

良かったですね。どんなしゃんを、どんなじぶんのえを、あ

るいは、なにをかざるのか？たのしみですね。

にこにこクラブ

壁新聞のタイトル:おてつだいエコ新聞

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
さつまいものつるできれいなリースができましたね。おいもはたべて、つるはリースにへんしんしました。クリスマスのリースもいいし、おしょうがつのかざりにしてもいいですね。おいもの葉っぱは、なにかじょうずなつかいかたをみんなでかんがえ、くふうしてみるのもおもしろいですね。おもしろいくふうが見つかったら、おしえてください。
まつぼっくりツリーもキレイにできていますね。ちょっとしたくふうで、こんなきれいなものができるのは、みんなもビックリしたでしょう。クリスマスのもみの木に、まつぼっくりツリーをぶらさげると、ちょっとかわった、おもしろいクリスマスツリーになりそうですね。
いろいろなことをくみあわせると、ほかにはない、にこにこクラブだけのユニークなさくひんができそうですね。
らいねんは、どんなエコ日記がでてるのか、どんなさくひんがでてるのか、とってもたのしみにまっています。



栃木県壬生町 すまいるクラブ

壁新聞のタイトル:なるほど ザ エネルギー

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
すまいるクラブのみなさん、とてもきちょうな体けんをしましたね。そしてむずかしい調さもして、りっぱにまとめましたね。小学校3年生だって!?ビックリしました。そしてウーンとうなるくらい、かんしんしました。3年生って、アンケートをつくったり、きかくしょをつくったり、パソコンをつかって、調べたりもできるんだ!おどろきました。
発電体けんでは、電気をつくることのむずかしさがわかりましたね。たくさん電気をつくることのたいへんさもわかりましたね。
みなさんがつくった、すみ電池にしても、金ぞくタワシ電池にしても、くだもの電池でも少しの電気しか出せなかったのは、一つ一つが小さいからです。すみ電池やくだもの電池をたくさんつなげれば、もっと大きな電気をつくることはできます。
3年生のみなさん、一人ひとりの力は小さいですが、たくさんの3年生があつまってじどうしゃをひっぱるとごくのとおなじです。でも、電気をつくるのはたいへんなのだということを、体けんしたことは、とてもだいじなことです。だから、すこしでもせつ電しなければいけないとかんじましたね。
しょうエネ・せつ電調さをして、日本は電気をたくさん使っている国であることがわかりました。むかしとくらべて今は、電気をたくさん使っていることもわかりました。
おじいさん、おばあさんがみなさんとおなじこどものころは、電気を使うものは、でんとう(ランプ)とラジオくらいしかありませんでした。1975年くらいになるとテレビやせんたくき、れいぞうこがふえてきて、電気のしょうりょうもふえてきました。さいきんは、みなさんのおうちの中を見ると、エアコンやテレビもなんだいもあり、パソコンもある、そうじきもある、電子レンジもある、ということで電気せいひんがいっぱいあるのがわかると思います。だから電気を使うりょうがとてもふえました。夏にはあついついにエアコンをたくさん使うので、お昼の時間にはとくに電気をたくさん使います。

すまいるクラブ 壁新聞のタイトル:なるほど ザ エネルギー

うちのの人からも、みなさんがいっしょうけんめいにしょうエネ・せつ電をひろめようとしていることに「すばらしいですよ!」、「ありがとう!」、「おしえてくれてかんしゃします!」など、うれしいことばがたくさんかえってきましたね。うちの人もみなさんが3年生でも、こんなことができるたびびっくりしていましたね。

みなさんは、らいねんは4年生ですね。4年生になったら、どんなエコかつどうをするのですか?かべしんぶんにとまとめて、またほうこくをしてください。たのしみにまっています。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....

アンケートのけっかでは、みなさんのクラスのおうちでは、せつ電をいっしょうけんめいやっていることもわかりました。

どんなせつ電をしているか?いちばん多かったのが、電気をこまめにけす、です。そのほかにはコンセントをぬく、エアコンをつかわない、おふろははやめにはいる、れいぞうこを開けたらすぐしめる、おなじへやですごすなど、みなさんでもできることがたくさんあったようですね。

だれか、ほかの人がやるだろうではなく、じぶんたちでできることは、うちのの人にいわれなくてもやるようにした方がよいと思います。それと、ほかのおうちのやりかたで、じぶんのおうちでもやれることもたくさんあったでしょう。気がつかないやりかたもあったでしょうから、こんなこともせつ電ですよ、とみんなのおうちのせつ電をかきだして、おたがいに知り合うのもよいと思います。アンケートのけっかを、さらにゆうこうにすることができますよ。



群馬県前橋市 前橋市児童文化センター 環境冒険隊 壁新聞のタイトル:空気のごれを調べよう

前橋市児童文化センター環境冒険隊①の新聞を書いたみんなへ
師範から一言! —————

活動のテーマが明確で、かべ新聞もそのテーマに沿って丁寧にまとめられていると思います。空気の汚れは、身近なテーマですが、誰にでも関係することなので、興味をもって調べてみることはよい経験でしたね。かべ新聞は、調査方法・結果・考察・まとめ、と分けて書かれていて、とてもわかりやすいです。また、項目ごとに紙の色を変えているのも、よい工夫だと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

空気の汚れは、調べるときの雨や風にも影響されます。天候なども調査しているようなので、その結果もかべ新聞に書くとよいと思いました。まとめで皆さんが書いているように、できるだけ車を使わないことや植物を大切にすることを、これからも取り組んでいってほしいと思います。



前橋市児童文化センター環境冒険隊②の新聞を書いたみんなへ
師範から一言! —————

空気の汚れのかべ新聞と同様に、テーマと内容がわかりやすいです。16年間のデータがあるのは貴重ですね。皆さんが先輩たちから引き継いでがんばっていることがよくわかります。後輩の皆さんにも伝えていけるとよいですね。わかったこと・まとめの部分が特にしっかり書かれていて良いと思います。皆さんがこの活動に一生懸命取り組んでいるから、このように伝えたいことがはっきりわかる、よい文章が書けていると思いますよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

16年間で利根川の周りにはどのように変化したのか、例えば人口の変化なども調べてみると、川の汚れとの関係で新しい発見があるかもしれませんね。



群馬県高崎市 高崎北小エコクラブ 地球防衛隊
壁新聞のタイトル:年間活動

高崎北小エコクラブ 地球防衛隊 さんへ
師範から一言！

2枚で一つのかべ新聞になっていますね。タイトルが「連携活動」となっていますが、どんな連携活動なのか、書いてもらえるとうれしかったと思います。キャンプや水質調査、日食の観察など、色々な分野の活動をしていて、楽しそうですね。エコ新聞もどれも丁寧に書かれていると思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
それぞれのかべ新聞に、まとめが書いてありますが、ここが一番重要なところなので、もう少し大きく書いてみてはと思います。皆さんが活動を通して学んだこと、感じたこと、これから取り組もうと思ったことを、一人ひとりがカードのようなものを書いて貼ってみたりすると、皆さんのメッセージがよく伝わると思います。



群馬県太田市 スター☆クラブ
壁新聞のタイトル:スター新聞

スター☆クラブ さんへ
師範から一言！

活動をしているときもかべ新聞を作っているときも、みんなで仲良く楽しくしている様子が伝わって、ほほえましいなあと感じます。きちんと活動の内容、感想が書かれている、しっかりしたかべ新聞でよいと思います。Eco リンピックは特に楽しそうです。色々工夫して楽しく活動できたのではと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
エコクッキングで、「ほんとにエコなのか？」と書いてありますが、これは大事な視点だと思います。あえて、かべ新聞に書いてあるところが、素直な感想だなと思って感心しました。ここから、どういった工夫をすればエコな流しうめになるか、皆さんで考えてみると今回の体験が活きるのではと思います。



群馬県沼田市 しらさわエコキッズクラブ

壁新聞のタイトル:しらさわの未来・すばらしい尾瀬の自然！

しらさわエコキッズクラブ①の新聞を書してくれたみんなへ

師範から一言！

尾瀬のことについて、詳しく書いてありますね。私は行ったことがないので、知らないことがたくさん書かれていて、勉強になりました。それに、読んでぜひ行ってみたいと思いました。名所マップで、富士山が見えると書かれているのに驚きました。また、「※梅干しの種の記事」も驚きました。梅干しの種は植物だから、捨ててもいいと思う人がいるのかもしれないですね。イラストや漫画などがあって、楽しく読めるかべ新聞になるように工夫されていると思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

皆さんが尾瀬のどんなところが好きか、自慢に思っているか、一人ずつオスমেを書いてみても面白いと思います。名所マップもあるので、皆さんが思うオスメスポットを書いてみてもいいと思います。

※「※梅干しの種の記事」、梅干の種に含まれる塩分で、植物にダメージを与えてしまいます。種ぐらいではなく、持ち込んだものはしっかり持って帰りましょう！

しらさわエコキッズクラブ②の新聞を書してくれたみんなへ

師範から一言！

年間を通して、色々な活動を行っていますね。定期的に活動するのは、なかなか大変だと思いますが、皆さんが楽しく活動している様子が伝わります。カンバン作りなどは、試行錯誤している様子が伝わってきます。文化祭では、見に来てくれた人に資料を配ったのですね。環境活動を、他の人にも取り組んでもらうことはなかなか大変ですが、とても重要なことです。皆さんの熱意がきっと伝わったと思いますよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

かべ新聞のタイトルが「みらいのしらさわ」となっていますが、これは中心の絵について、ということなのかな？皆さんの毎日の活動が、未来のしらさわを良くする、ということだと思うのですが、その辺がわかりやすいように、タイトルなどを工夫するといいいかなと思います。



埼玉県三芳町 竹の子エコクラブ

壁新聞のタイトル:竹の子エコ新聞2012

竹の子エコクラブ さんへ

師範から一言！

この1年も昨年に引き続きこぶしの里の活動や柳瀬川での生き物調べにツリーイング、そしてエコステ見学ができたり、さいたまこどもエコクラブフェスティバルに参加したりと、たくさんの活動ができました。環境にやさしいモデル駅は環境にはいりよされた本当に素晴らしい駅ですね。今はこんな駅があるのだとおどろきました。

エコクッキングでは、いつも家で食べているカレーとくらべてたくさんの「エコ」の入ったカレーができました。家で作るのに雑木林の小枝を使って作ることにはできないけど、エコクラブではとても良い体験ができたと思います。

こどもフェスティバルでは、みなさんの活動をたくさんの人たちに紹介することができてとてもよかったと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

柳瀬川の生き物調べについて、すこしていねいに観察してみるといいかな、と思います。ただそこにいた、ということだけでなく、見つけた生き物をいねいに観察してスケッチしてみましょ。目はどこにあり、どんな形をしているかな？足は何本でどこにあるかな？じっくり観察してみてください。エコクッキングの買い物の時エコバックを持っていくことや、使ったお皿を不要になった紙などでふいてから洗うなどはいつでもできそうです。家庭に帰ってもできるといいですね。



埼玉県宮代町 MIYASHIRO エコ☆スターズ
壁新聞のタイトル:MIYASHIROエコ☆スターズ

MIYASHIRO エコ☆スターズ さんへ
師範から一言！

おお！さすが高校生！そう思わせてくれる内容が随所に。細かく見ていくと、地産地消レシピには、作り方だけでなく、その作り方の参考にした HP の紹介がされている。新聞を読む人にとっては、こういう情報があるとうれしいし、さっそく作ってみよう、という気持ちになれます。

みなさんの活動がすごいのは地域への発信力、地域巻き込み力。ほんとに感心させられます。ゴミ拾いひとつとっても、自分たちだけで拾うのではなく、ゴミニケーションさん(地域の大人の方々かな?)と一緒に活動していることや、その活動を通じて、地域の方々と交流ができ地域にしっかり入り込んで活動ができていますね。

また、ウッドモーニングの活動もすばらしいです。このネーミングも素敵で、その名にふさわしく、眠っている廃材を目覚めさせ生かしている。地域の大工さんとも交流できている。その作品がちゃんと家庭で使われている。本当に素晴らしい活動になっていると思います。GOOD！！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

高学年のみなさんなので、もう一歩進んだ取り組みを期待したいです。

例えば、ゴミ拾いをしたらどの地域にどのくらい、何が多くポイ捨てされていたのか数字で記録していく。梨農家の方々が心配している気候について、この地域の気温の変化はどうか、温暖化の影響などはどうか、などについても調べ学習をしてみるといった取り組みもしてみてもはどうでしょう。やりっぱなしにならないように、データを残す、ということも大切な活動です。後に続くみんなのためにも何かを残せる活動にも取り組んでみてください。期待しています。

千葉県市川市 かいさん ず
壁新聞のタイトル:毎日がエコ活動！人も生き物も地球もみんな仲良し

かいさんず さんへ
師範から一言！

真ん中に大きく「毎日がエコ活動」と書かれていますが、これこそが環境をまもる上で大切な心構えですね。イベントなどのある日だけでなく、毎日少しずつでも続けていくこと、これが重要です。そういう点で「省エネを考えて暮らす」こと、とてもいい考えだと思います。

かいさんず農園での活動や地域や学校のエコ活動にも積極的に参加しているようです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....

どんな様子だったかもきちんと書かれていますが、スペースの関係で写真がはれなかったようですね。せっかくの活動ですから、枚数が増えてもいいので、写真を添えてみるとさらに読む人がわかりやすい新聞になると思います。



千葉県市川市 岩岡エコ隊
壁新聞のタイトル:エコ新聞

岩岡エコ隊 さんへ
師範から一言！

市内のいろいろな生きものや自然にふれあえたようです。自分のすんでいる町にはどんな生きものがどんなふうに暮らしているかを知ることは、環境を守っていくうえでいちばん基本となることです。来年もいろいろな生きものとふれあってくださいね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
ちょっと残念なのは、やっぱりゴーヤがかれてしまったことです。来年はうまくいくことを祈っています。緑のカーテンの記事でうまった新聞、まっています。



千葉県市川市 のはら くらぶ
壁新聞のタイトル:のはらくらぶ新聞

のはらくらぶ さんへ
師範から一言！

家の近くにある農園ですか？ 近所にこのように自然がたくさんあるのはうらやましいかぎりです。虫も植物もよく特徴をとらえて書かれています。自然のものを見るはじめての一步はものをよく見ることです。よく観察しないと、細かいところまではわからないものです。この絵を見ると、よく見えていることがわかります。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
せっかく紹介してくれたので、ぜひ行ってみたいという人のために、その農園の行き方をくわしくのせるとよかったかもしれません。今度は駅から農園までの地図も加えてくれるとよりよくなると思います。



千葉県市川市 エコレンジャー
壁新聞のタイトル:市川エコ新聞

エコレンジャー&まっつー さんへ
師範から一言！

まず感じたことは、とても印象に残る新聞だということです。
絵や写真がとても効果的に使われていますね。どなたのデ
ザインですか？ しげんかいしゅうをして、ものを大切にする
こと、とてもいいことです。ぜひつづけてくださいね。パパの
ビール缶も集めてくださいね。でも、けんこうのために飲み
過ぎにはご注意ください。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
つぎは、畑でできたさくもつのはなしの新聞をまっています。
もちろん、今やっている活動もつづけてくださいね。次はどこ
まで広がるか楽しみにまっています。



千葉県習志野市 谷津干潟ジュニアレンジャー
壁新聞のタイトル:谷津干潟だyo!全員集合！
～未来へつなごう谷津干潟～

谷津干潟ジュニアレンジャー さんへ
師範から一言！

タイトルがなつかしい。今の子どもたちは知っているのか
な？ さてラムサール条約の登録湿地として有名な谷津干
潟ですが、その干潟を守るために、いろいろなお友達が活
躍しているんですね。
海と海はつながっているのですから、他の湿地との交流も
おもしろいですね。それもふくめて、ぜひ 2013 年の目標が
うまくいくことを祈っています。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
せっかくの湿地もゴミは頭のいたい問題のようですね。タバ
コやペットボトル、人々がちょっと気をつければふせげるは
ずなのに残念ですね。湿地を守るためのジュニアレンジャ
ーの活動、期待しています。



東京都新宿区 こどもエコ広場新宿 壁新聞のタイトル:こどもエコ広場新宿新聞

1年間にずいぶんいろいろな活動ができましたね。それを1枚の壁新聞としてまとめる作業は大変だったでしょう。皆さんは環境学習情報センターの先生方に見守られて、しっかりと1年間のスケジュールを立てていただき、いろいろは活動ができてうらやましいです。壁新聞が絵日記(写真日記?)風になっていて、一人ひとりが自分の印象に残ったことをまとめてくれてあるので、読んでいる人に活動の情景が伝わってきます。読んでみると、皆さんの活動の姿が目には浮かんできますよ。壁新聞全体をみると、いろいろな色を工夫しながら使っているので、美しく、とてもわかりやすいです。

9月のミニ遠足のことを書いてくれたお友だちがたくさんいます。皆さんにとって、一番強く印象に残ったのですね。ダイキンソリューションプラザが一番の人気スポットなのかな。機会があるときにダイキンソリューションプラザについてもう少し説明してくれると、ほかのクラブのお友だちの役に立つかもしれないですね。御岳に行った遠足も印象に残ったのですね。ほかにもエコバッグづくりやザリガニ釣りについて書いてくれたお友だちがいます。1年間の楽しい活動を通して環境のことをいろいろ学ぶことができたでしょう。次の壁新聞が楽しみです。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....
壁新聞をつくるとき、みんなで場所を取り合いしながらべたべた貼ったのかな。そんなようすを想像しながら皆さんの壁新聞をみています。こういうやり方もいいですね。

こんどは先生方に助けていただきながら、1年間の計画を自分たちで立ててみるというですね。次号に期待していますよ！



東京都世田谷区 松原・羽根木こどもエコクラブ 壁新聞のタイトル:エコクラ通信

皆さんが書いてくれた壁新聞、とても読みやすいです。どうしてかな？と全体を見回してみると、見出しの文字が大きくて、何が書いてあるのか、テーマがとてもはっきりわかるところだと気がつきました。配色も環境関係の壁新聞にふさわしいですね。

壁新聞を通して伝えてくれたことは、全国フェスティバルに参加したこと、公園で定点観測をしたことですね。ほかにも地域の大人の方々といっしょに地域の花壇の手入れをしたり。幅広い活動のようすが壁新聞を通して読む人へ伝わってきます。

定点観測って、わかりますか。同じ場所へちがう季節に何回も通い、そのときどきで気がついたことを比べてみると、自然の変化がとてもよく観える、そんな観察方法です。たくさんの自然が残されている東大駒場キャンパスの一二郎池や近くの駒場野公園を定点に決めて、何回も通いながら季節ごとの発見をまとめてみると、とてもおもしろい作品ができると思います。ぜひこれからも続けてください。

こどもエコクラブメンバー募集は毎年行っているのですか。先生方が作ってくださった？ワープロで作ったチラシもいいけれど、皆さんたちの手作りのチラシもすてきです。皆さんたちの「仲間を集めたい」という気持ちが伝わってきて、きっとこのチラシをみたお友だちは仲間に加わってくれると思いますよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....
皆さんたちのエコクラブは中学生から小学生まで、年齢や学年を超えた交流ができるところがうらやましいです。これからもなかよく活動を続けてほしいと思います。そして新しい仲間が増えて、活動の輪が大きく広がるといいなと思います。次号の壁新聞を楽しみに待っていますよ！



東京都北区 赤羽北児童館
壁新聞のタイトル:リサイクル新聞

かわいらしい かべしんぶん ですね。よんでいると たのしくなります。にじの かわを まんなかにいれて、もじが かいてある あかや きいろの しまのような かたちは、そらの くものかな、かわの しまのかな。みなさんが ちからをあわせて、いっしょうけんめい かべしんぶんをつくってくれた ということが、よんでいる わたくしに つたわってきます。

たのしいイラストもあって、かべしんぶん ぜんたいで まとまっていると おもいます。いつも じどうかんで たのしいかつどうを しているのですね。しどうをしてくださる じどうかんの せんせいがたも いいかたばかりですね。トイレットペーパーの しんや ぎゅうにゅうの パックで いろいろなことが できるんですね。

こいのぼりも できちゃうのですね。どうやって つくるのか、つくりかたの せつめいを かいてくれると ほかの おともだちの ヒントになりますね。みなさんの かべしんぶんから いろいろなことを おそわりました。かべしんぶん に しかけがあるのですね。だれが かんがえたの かな。おもしろいです。ダンボールで つくった さかなつりや ぎゅうにゅうパックの ボウリングで たのしそうに あそんでいる おともだちのすがたは とてもいいです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....
これからも せんせいがたの ごしどうをうけて、たのしい かつどうをつづけてください。そして どんなことを やったのか、かべしんぶんをと おして わたくしたちへ つたえてください。たのしみに まっています。



神奈川県横浜市 港南台自然観察クラブ・クロロ
壁新聞のタイトル:団地の生き物探し ことし一番...2012

港南台自然観察クラブ・クロロ さんへ
師範から一言！

タイトルは「ことし一番...2012」です。たくさんの中からとびきりの写真をだしています。一番感動したのは、ホタルを見に行ったことではなく、ホタルを守る紙しばいを作った、たくさんの人たちにホタルの観察マナーをお願いしたことです。

普通(ふつう)、このようなマナーはホタルを管理している人がやるのですが、ここでは生き物さがしをしている子どもたちが紙しばいをつくり、上演(じょうえん)したというのですからおどろきです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....
くずの花のにおいを鼻を使って確(たし)かめています。五感を使って自然理解(りかい)を深めることは、人から教えてもらうよりもわかりやすく、忘(わす)れにくい体験となっておぼえることができます。手に乗せたクモも同じ、体験による学習はとても効果(こうか)がありますよ。



神奈川県横浜市 のじま自然観察探見隊
壁新聞のタイトル:たんけんたい かつどう新聞

のじま自然観察探見隊 さんへ
師範から一言！

横浜市に残された自然砂浜(すなはま)「野島海岸」を舞台(ぶたい)に自然観察を続けている都会の団体(だんたい)ですが、写真をもとても楽しそうです。学校では体験できない「魚をさばく」やスキーキャンプなど冒険(ぼうけん)的でとてもおどろきました。
この「こどもエコクラブ」は年中自然の中で活動をしているすばらしい団体だということがわかりました。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
また、秋にはムササビを観察に足柄(あしがら)に出かけています。海辺の学校では3日間もシュノーケルやJAMSTECや八景島の見学など他ではできないようなぜいたくな活動をしていて、羨(うらや)ましいとわたしもおもいました。



神奈川県藤沢市 大鋸児童館こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:大鋸児童館こどもエコクラブの活動

大鋸児童館こどもエコクラブ さんへ 師範から一言！

かべ新聞の上段には今年一年の活動がまとめてあります。とくに※ドングリプロジェクトの観察などが多いように感じましたが、苗を育てているので観察の回数が多いのですね。次は身近な水環境で、川よりも公園の池の方が水がきれいだったそうです。緑のカーテンではゴーヤで日陰を作ったが、さらに日陰のニーズがあり、これからゴウヤが緑のカーテンとして利用されることになります。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
かべ新聞ではゴーヤのところで、「まずかった」という評価が記載されていますので、次回は食育でも取り上げて、ゴーヤチャンプルやてんぷらなど試食するなど工夫をして、みんながゴーヤを認められるようにしてみましょう。



神奈川県厚木市 美しき地球号 依知南環境守り隊
壁新聞のタイトル:環境守る新聞

美しき地球号依知南環境守り隊 さんへ
師範から一言！

わたしは厚木(あつぎ)にすんでいるので、この地図をみたときに川や田んぼをすぐに理解(りかい)できました。
川の生き物調査(ちようさ)では、20種類の生き物を観察していますが、わかりましたか？また、水質(すいしつ)調査で気温や水温のほかにもにおいやけのあるなし、水の色など観察してわかる項目(こうもく)も記録していますが、これは大切なことです。いつでも外観の観察を忘(わす)れられないようにしたいものです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
この地図上に枝豆(えだまめ)のたねまきや田植えと稲刈(いねか)りという農作業の様子が書き込(こ)まれています。身近な周辺で何が起きているのか、何をしているのか、こんな情報(じようほう)も盛(も)り込んでおくと、環境(かんきよう)を守る新聞になってきましたね。
その上でこの新聞はどんなところで役に立つか、どうすれば伝わるか、みんなで考えてみましょう。



神奈川県大和市 引地川水とみどりの会こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:引地川水とみどりの会 活動の1年

引地川水とみどりの会こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

地元ではかなり汚れ(よごれ)た川という印象ももたれている引地川でがんばって川掃除(そうじ)をしているみんなは、元気ですか！
何より100回記念をお祝いします。データをみると川掃除のランキングが載(の)っていますが、大物ではトイレの便器、バイク、テレビ、数の多さではたばこ、おかし(おかし)の袋(ふくろ)、あき缶(かん)とあっておどろかされます。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
こんなに大変な仕事をしているのに、年に2回はビーチクリーン活動にも参加しているというのですっかり感心しました。
さらには地元のFM局で報告(ほうこく)もしているということで、もっと感動しました。これからも元気で活動を続けてください。



石川県金沢市 タイムマシクラブ
壁新聞のタイトル:ふれる・さぐる・つくることもエコタイム

タイムマシクラブ さんへ

師範から一言！

すごい！大作の壁新聞ですね。このかべ新聞を何人のお友だちで書いたのかな。9人？環境おもしろ実験シリーズ①～④は、いろいろな記事のなかでもとくに楽しく読ませてもらいました。クイズもあって、楽しく学べて、楽しく体験できますね。体験したお友だちの感想が書いてあり、そのときのようすが目にうかんできます。お友だちが描いたイラスト、感じがよく表現されていていいです。

8月の活動(夏エコキャンプなのかな?)は日記風に月日と何をやったかがくわしく書いてあり、日記から皆さんたちがいろいろなエコ活動や体験をしていることが伝わってきます。自然とふれあいながらいろいろなことを体験した冬雪山合宿も楽しそうですね。皆さんが住んでいる地方は雪が多いのですか。冬には楽しいスノーチュービングでいろいろ実験ができるのですね。いきおいをつけたり、のる人数をふやしたり、皆さんの工夫で体験して学んだことは楽しい思い出としていつまでも心に残りますね。

あたたかな部屋の中で間伐材を使った木工にも挑戦したのですね。木のホルダーをつくったり、木をけずってエンピツを作ったのですか。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

とにかくすごいです。じっくりとひとつずつの記事を読ませてもらいました。それぞれの記事に内容を説明する写真が添えられていて、やったお友だちの感想も書いてある、読みやすく、わかりやすいです。

1年間にほんとうにいろいろなことができました。指導してくださった大人の方々に感謝ですね。

クラブをとおして1年間活動したことについて、クラブのお友だち全員が感想を書いてくれています。まとめとして大切なことだと思えます。

全体を通して、これからクラブの活動をどのように進めたらよいかさがしている他のクラブのお友だちの参考になる、いろいろなことを学びとることができるかべ新聞であると思います。

このすばらしいクラブ活動、これからも続けてくださいね。応援しています。



石川県津幡町 あがたクリーンクラブ
壁新聞のタイトル:グリーン・クリーンクラブ

あがたクリーンクラブ さんへ

師範から一言！

みちかなところでいろいろなエコ活動ができましたね。それらをみんなで力を合わせてかべ新聞にまとめてくれました。皆さんのどりよくはすばらしいです。

かべ新聞はたくさんさんの写真と、なによりすばらしいのは、皆さんがスケッチしてくれたイラストがたくさんあることです。皆さんがいろいろな体験をするなかで、しっかりと観察し、それを記録しているようすがわかります。読者(このかべ新聞を読む人たち)にちよくせつ記事の内容をつたえることができるいいアイデアだと思います。

いろいろなやさいをタネからそだて、タネ、なえ、葉っぱのかたち、はな、みがるどころ、しゅうかくなど、くわしく観察してスケッチしてあります。記録用紙は先生が作ってくださったのですか。このように、ひとつのテーマで観察や体験をつづける活動は、ほかのクラブのお友だちの参考になると思います。

ほかにも、津幡町のゴミについて調べ、しげんゴミのそのごをついせきして、リサイクルについて勉強できました。「ゴミの変しん！」って、おもしろい言葉ですね。ゴミが変しんする場所が「エコラ」ですね。「エコラ」がやっていることを見学すると、ふだんの生活でだしているゴミへの気持ちも変わってくるでしょう。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

学校のゴミも調べたのですね。学校ぜんたいでゴミ箱が53個も！給食室のゴミはほかの教室のものとなかみがちがうし、量も多かったでしょう。ゴミ箱を調べるだけでもいろいろなことがわかりますね。エコについて考えるヒントがたくさんありますね。

エコ活動としてゴミをへらす工夫についてみんなで考えてくれました。

ゴミについて皆さんが調べたこと、気がついたこと、考えたことそして感じたことをぜひお家の方をはじめ、まわりの大人の方々へつたえてほしいと思います。

グリーン・クリーン大作戦の輪(わ)をもっともっと大きくできるようにがんばってください。きたいしていますよ！

福井県あわら市 吉崎赤手ガニ環境調査隊
壁新聞のタイトル: 守ろう！ぼくらの北潟湖

活動の内容、かべ新聞のまとめ方のどちらも力が入っていて、素晴らしいなと思いました。みなさんのかべ新聞からは、「どうしてこの活動をしようと思ったのか」ということがよくわかりますし、それに合った活動内容、かべ新聞のまとめ方にしっかりなっていて、他のクラブもぜひ参考にしてほしいな、と思います。また、アンケートや水質調査の結果も、皆さんなりに結果をまとめて、考えたり、思ったりしたことを書いてあるので、読む人にもよく伝わると思いますよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
少しだけ、「わかったこと」の部分が長いかな、とも思うので「わかったこと」は箇条書きにして、皆さんの考えや伝えたい部分を文章にしてもいいかなと思いました。皆さんのかべ新聞を読んで、地域の人が北潟湖を守っていきたいと思ってくれることを期待しています。



山梨県甲府市 和泉エコクラブ
壁新聞のタイトル: 春夏秋冬エコライフ

和泉エコクラブさんへ
師範から一言！

わお！カラフル！みなさんの元気に活動するようすが伝わってきます。見ているわたしたちも元気になれるような元気がつたわる楽しい壁新聞が出来上がりました。今年は、高学年のメンバーさんががんばってくれたのでしょうか、伝えたいことは大きな文字でわかりやすく書かれていて、とても見やすくなっています。いいですね。雲のかんさつは、みんなそれぞれに役わりをきめてとりくんでいます。みんなで協力して活動しているところがとってもいいです。雲の種類もわかってきたようですね。雲のかんさつの担当ではない日も、空を見上げて雲を見てしまったのではないのでしょうか。知ることできょうみがわき、好きになっていくんですね。夏だけでなく、ほかの季節の雲もかんさつして、1年間をとおしてのまとめができるといいですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
低学年のメンバーも楽しめて、ムリなくできることからとりくんでいるところがとてもいいと思います。活動には手作りおやつや、おやつ作りのための道具作りなどたくさんの工夫があります。ふだんの生活を「エコの目」で見直しながらこれからも続けていってください。



長野県安曇野市 あずみのエコキッズ2
壁新聞のタイトル: 自然大好き新聞 NO1.NO2

あずみのエコキッズ 2 の①の新聞を書してくれたみんなへ
師範から一言！
ぱっと目を引く色使いで、近づいて読みたくなる壁新聞に仕上がっていますね。昨年同様に緑と水色を中心に、自然が大好きなんだという感じがよくでていいなと思いました。
自然観察をするときに「五感を使って観察しよう！」と言われますが、みなさんの活動では、五感がしっかりとつかわれていることがわかります。たとえば、光城山に登った時のこと。1 回目に登った時の足の感触はふわふわで 2 回目はさくさくしていたことや、ササに囲まれたコースを歩いた時ササ特有のにおいを感じていること。秋の鳥居川で、冬かと思うような寒さを感じたことなど。この感覚、ほんとにだいいじなのでこれからも忘れないでくださいね。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
みなさんはいろんな活動にほんとうに楽しく取り組んでいることがよくわかりました。そんないろんな体験をしながらも一歩進めて、深く研究するテーマがあってもいいかな、と思います。たとえば、光城山に登りながら、同じ花でも頂上に近いほどまだつぼみの状態であることに気付くことができます。そんなことから、花の咲く時期と場所の関連について具体的に調べてみたり、毎年同じ調査を続けながら、咲いている場所の変化や、咲く時期のちがいなど、調べてみるのもいいかな、と思います。新しいことへのちようせんに期待しています。



あずみのエコキッズ 2 の②の新聞を書してくれたみんなへ
師範から一言！
クラブのみなさんが動いている(活動している)写真がたくさんあって、楽しそうに取り組んでいるようすがよくわかる壁新聞になっていいですね。なんといっても、竹まきパンのめけい、最高ですね。本物によく似ていておいしそう。わたしも竹まきパンは大好きです。外で食べる手作りのものって本当においしいですね。
大豆植えでは、大豆を植えることを体験したのでしょうか。植える作業をしながら大豆のことや大豆の成長には気候がたいへん関係あることもわかったようす。よかった。写真には大豆入りキーマカレーと大豆サラダがありますが、これらはみなさんで作ったのでしょうか。大豆は畑の肉とも言われてとても栄養価が高いです。みんなでおいしくいただくね。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
エコクラブの活動ではがき作りに取り組んだことが書かれていました。ペットボトルにビー玉といっしょに材料を入れてふることで、パルプを細かくとかすんですね。がんばってペットボトルをふっているようすが目にうかびます。葉っぱや、花をすきこんだことできれいなハガキができたことでしょう。サイズを変えて名刺をつくっても楽しいかも。交流会などでこうかんしながら紙すきの紹介もできると楽しいね。



静岡県静岡市 清水イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル: 軽くて！強い！段ボール！

イオンチアーズクラブ 清水店 その①を書してくれたみんなへ
師範から一言！
皆さんが調べたり、見学に行って知ったことが丁寧にまとめられていると思います。意識を高く持って、活動を行っていたので、わかりやすくまとまったかべ新聞になっていると思いますよ。
段ボールの波を示すフルートというのは初めて知りました。確かに色々な厚さ・堅さの段ボールがありますね。日本でも明治時代にはあったそうで、なかなか歴史があるのだなと思いました。古紙回収の注意点を書いてあるのは、とてもいいと思います。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....
★.....
段ボールの「生産量と回収量のちがい」を見ると、80%ほどは回収されていることになりすね。他の資源物、例えばアルミ缶やペットボトルなどと比べてみるのもいいかなと思います。また、「軽くて強い」段ボールですが、「便利な点・不便な点」と比べてみてもいいですね。
皆さんが知ったことだけでなく、そこから他の人にどんなことをしてもらいたいのか書いてあれば、かべ新聞を読んだ人もすぐに「やってみよう」と思ってくれるはずです。



清水イオンチアーズクラブ

壁新聞のタイトル: 軽くて! 強い! 段ボール!

イオンチアーズクラブ 清水店 その②を書いてくれたみんなへ

師範から一言! —————

「みんなの声」で切った木で遊具(アスレチック)や鉛筆を作りたいとありますが、実現できるとてもいいですね。自分たちの身近な道具に、間伐した木が使われることになれば、大変な活動も、がんばって取り組みますね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

最初にこの活動の背景、なぜこのような活動をしたのかが書いてあるのはとてもよいと思います。ぜひもう少し丁寧に書いてもらえるともっと良いですね。

森をよみがえらせることと、皆さんが行った間伐という活動は、どのように関係していますか? 間伐をするとどんな効果があるが、読んでいる人がわかるように少し説明があると、皆さんの活動の重要性がよく理解できると思います。



イオンチアーズクラブ 清水店 その③を書いてくれたみんなへ

師範から一言! —————

お茶やみかんといった静岡らしい食べ物に関する活動があって、楽しそうです。

私も静岡に住んでいますが、知らない食べ方が書いてあって面白いです。茶がらにポン酢をかけてみるのは、今度やってみようと思います。茶がらの再利用で、生ごみを減らすことにもつながりますね。焼きみかんもおいしいそうです。

静岡の自然の恵みを、皆さんがとても気に入っている様子がよく伝わるかべ新聞だなと思います。これからは静岡の素敵なところがどんどん見つかると思いますよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

清沢じゅくの活動は、棚田を守る活動と同じものでしょうか? 離れたところに書いてあるので、別の田んぼのことなのかな? とも思いました。一年間の活動表など、わかりやすく書かれているので、同じ活動であれば、近い場所に書いてもいいかなと思いました。



静岡県三島市 三島市環境探偵団

壁新聞のタイトル: 環境探偵団壁新聞

三島市環境探偵団 1班のみんなへ

師範から一言! —————

皆さんは天気の良い日は毎日のように富士山を見ていると思いますが、登ってみると色々発見したことがあったようですね。電動自転車の体験では、電気を作ることの大変さがよくわかったようですね。これから家で電気を使うときにはどんなことに気を付けたらよいか、ぜひ皆さんで考えて、このかべ新聞にも書いてみるといいと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

地域でのいろいろな活動をまとめたかべ新聞のようですね。活動それぞれにはタイトルがついていますが、ぜひ全体のかべ新聞タイトルがほしいですね。「一年間の活動」といった簡単なものでもよいと思いますし、みんなでかべ新聞を書いたあとに相談してつけるのもよいと思います。



三島市環境探偵団 2班のみんなへ

師範から一言! —————

フジアザミの根っこが茎の10倍あるというのは、確かにおどろきです。長さが10倍ということだと思うのですが、とにかく厳しい環境でがんばって生きているのですね。富士山に登る人が最近多くて、気軽な山だと考えられがちですが、そういう過酷(かこく)な土地であることを多くの人に知ってもらえたらいいなと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

色々な活動をしていると思いますが、一つひとつの活動をまとまりのある形にして書いてみてはどう思います。例えば、活動ごとにタイトルをつけたり、枠でくくってみると、もっと見やすくなると思います。かべ新聞の下の方には、活動の内容や感想がしっかり書かれているので、ここをもっとアピールできると思います。



三島市環境探偵団 壁新聞のタイトル:環境探偵団壁新聞

三島市環境探偵団 3班のみんなへ
師範から一言！

エコ施設の見学記事は、新しく知ったこと、感想、風車を作る理由などがよく書かれていて、とてもいい内容になっていますね。長所と短所が書かれているのは、特に良い視点だと思います。環境活動に限らず、世の中には長所ばかりというものはありません。両方の視点を知ることとはとても大切なことですので、これからもそうゆう視点をもってほしいと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

富士山での活動については、皆さんが発見したことがわかりやすく書かれていると思いますが、「活動内容」というより「発見したこと」のようなタイトルの方がわかりやすいと思います。また、何月何日に、何人くらいで、何時間くらいかけて登った、といった情報がないので、そこをまず書いてもらって、「発見したこと」を書くのと良くわかると思います。

三島市環境探偵団 4班のみんなへ
師範から一言！

水生生物の写真で、生き物にセリフが書かれていて、読んで笑ってしまいました。皆さんは活動している時だけでなく、かべ新聞を作っている時にも、仲良く楽しく過ごすことができるのだと思います。私も三島市には観光で行ったことがあります、街中に水辺がたくさんあったり、楽寿園や三嶋大社の森があったりと自然が身近にある素敵なおとこだなと思いました。ぜひこれからも三島市の環境をみんなで大切にしてほしいと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

かべ新聞のタイトル通り、楽しく活動できた様子が伝わってきます。それぞれの活動にタイトルがあって、しっかりとした文章で書かれているのでとてもわかりやすいです。また、写真がたくさん貼ってありますが、丁寧に説明文が書かれていて、読む人に親切ですね



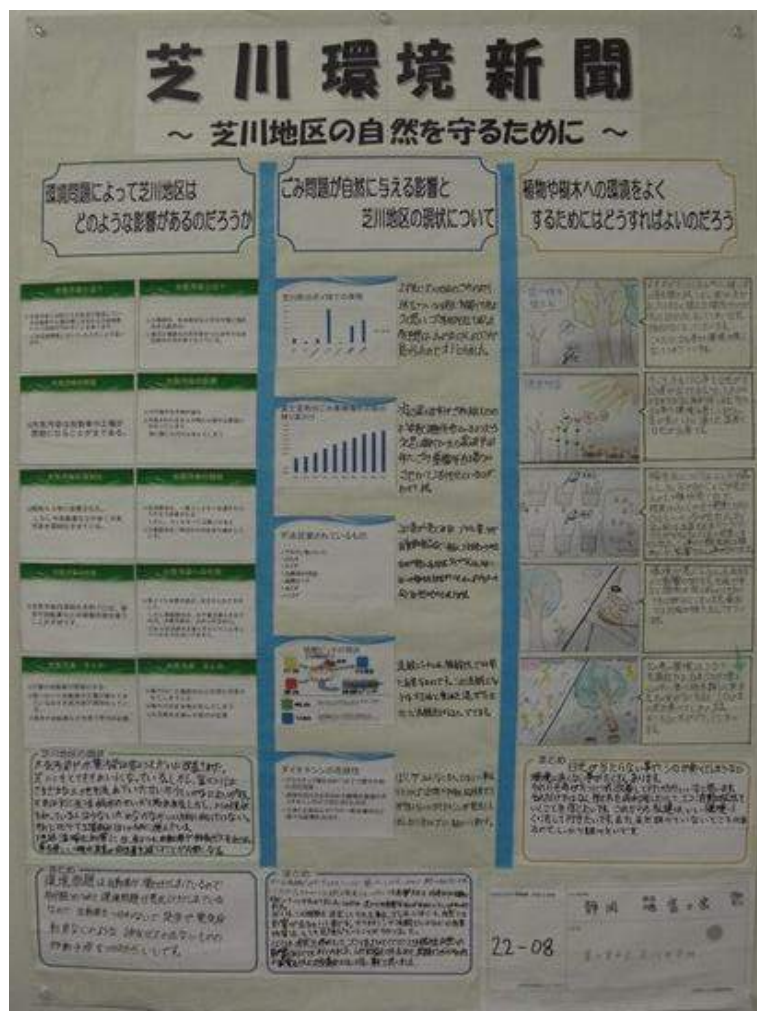
静岡県富士宮市 富士宮市立芝川中学校 壁新聞のタイトル:芝川環境新聞

富士宮市立芝川中学校 さんへ
師範から一言！

パワーポイントでまとめたことや、グラフ、イラストなど色々な工夫で見やすい壁新聞になっていると思います。調べたことを文章でまとめるのはなかなか大変だと思いますが、しっかりまとまっていますね。ごみ問題の記事では、ごみの実態や集積場所について、現状を調べてデータ載せています。記事の導入としてとてもわかりやすいと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

他の2つのテーマでも、このように現状で調査したことを載せて、導入としてみるとよいと思います。例えば川の汚れをパックテストなどで調べてみたり、市役所などで取ったデータがないか調べてみるとよいと思います。また、3つのテーマも、最後に自分がこれから取り組みたいことを、具体的に書くといいですね。読んだ人にも「やってみよう」と思えることを提案してあると、さらにまとまりのあるかべ新聞になると思います。



静岡県富士市 青葉台児童クラブ
壁新聞のタイトル:エコしに行こう！

青葉台児童クラブ さんへ
師範から一言！

みんなの似顔絵が貼ってあって、楽しいかべ新聞になっていますね。工場見学をしたときに、学んだことが小さい新聞になっていますが、ていねいに書かれていると思います。細かい情報までしっかり書かれていて、読んで勉強になりました。皆さんは見学のときに、しっかりと会社の人の話を聞けていたんだろうと思います。フロンガスは、エアコンなどをリサイクルをする時に気は気を付けないですね。また、フウセンカズラを使って緑のカーテンも作ったようですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
折り紙やヒモをつかった立体的なものが目を引きますが、少し説明がほしいですね。フウセンカズラのが、下に小さく書いてあるのですが、もっと大きく書いてもいいと思います。



静岡県富士市 ふじかわっこ！エコ遊び塾
壁新聞のタイトル:富士川っ子新聞

富士川っ子エコクラブ ①の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

それぞれの活動について、がんばって文章を書いているのがよく伝わります。活動したこと、新しくしたこと、感想がしっかり書かれていると思います。どの活動も皆さんにとって、思い出深いものだったのでしょうか。菜の花 Pasta やじゃがいも、落花生とどれもおいしいような食べ物が出てきて、楽しそうです。私も黒落花生は知りませんでした。ぜひ食べてみたいです。富士山へ行った話では、登山の大変そうな様子がよく伝わる文章だと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
最後に、全体のまとめがあるといいなと思います。高学年の子たちに代表で書いてもらうなどいいと思うので、一年を通して感じたこと、来年やってみたいことなどがあると良いと思います。



富士川っ子エコクラブ ②の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

活動 10 周年というのは素晴らしいです。また、メンバーだった子が今はサポーターとして活動されているというのも素晴らしいですね。ぜひこれから子どもたち、サポーターさん力を合わせて活動を続けてもらいたいと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
①のかべ新聞同様、皆さん頑張って活動報告を書いていますね。素直な感想が書かれていて、良いと思います。活動した日や場所も、書いてあるといいですね。

「エコクラブの活動になくてはならないもの」を絵で表現したのは面白いアイデアだなと思います。あまり説明は書かない方がいいのかもしれませんが、少しコメントがあるといいですね。絵をめくると説明が書いてあるような、クイズ形式にしても面白いと思います。



静岡県富士市 ガールスカウト静岡県第 75 団
壁新聞のタイトル:日本の緑と世界の緑を増やそう、ピースプロジェクト

ガールスカウト静岡県第 75 団 さんへ
師範から一言！

地域での活動でありながら、世界のことも考えた視点の活動ですね。地域の他の団体と協力して活動しているのもよいと思います。活動を自分のクラブだけでなく、他の人に広げていくことも大切なことです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
「小さな親切運動」は、響きの良い言葉ですが、もう少し具体的に活動の内容が知りたいなと思います。また、活動を通して大変だったこと、新しく知ったこと、楽しかったことなど、皆さんがどんなことを思ったか、簡単に書いてまとめてあるといいと思います。



静岡県富士市 吉小わんぱくエコクラブ
壁新聞のタイトル:よごさない、むだにしない「吉原グリーンエコ作戦」

吉小わんぱくエコクラブ さんへ
師範から一言！

いくつかの活動がありますが、どれもていねいにまとめられていると思います。表やグラフも効果的に使われていて、わかりやすいです。エコチャレンジは、みんなでがんばりましたね。
環境の活動は多くの方が少しずつ取り組むことも大切なので、家の人に協力を呼びかけたのはとても良かったと思います。ヒマワリの茎をトイレトペーパーに変えてくれるというのは珍しい取り組みですね。さすが紙の町・富士市ならではの活動ですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
生ごみを肥料にする活動でも、温度を調べたり、分解の早さの違いを調べたりして、よく観察してるなあと感じました。1年間の活動で学んだことを忘れずに、これからも家や学校で取り組みを続けてほしいと思います。



愛知県半田市 半田こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:エコ活動新聞

半田こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

半田こどもエコクラブの皆さん、かべ新聞をありがとう。皆さんの日ごろの活動が写真やイラストを入れた記事で書いてあり、かべ新聞全体がとても美しく、にぎやかにみえます。半田市は海が近いから、いろいろ海を活用した体験ができてうらやましいです。

カヌーで無人島へ渡り、まきがいを食べたり大きなカニを泳いで追いかけた体験、いそ遊びでアメフラシをはじめてみたという体験、干がたの生きもの調べてトビハゼなどをくわしく観察した体験、どれもすばらしい体験ですね。

ほかにも七草がゆや野草のてんぷらを食べたらおいしかった話、みかんがりでみかんがたくさんとれて楽しかった話、皆さんよりも先に鳥がみかんを食べてしまい食べたあとがあるみかんをみた話、かんぱつ体験で受け口の切り方で木がちがう方へたおれる話、たけのこ狩りをして、たけのこごはんにして食べたらおいしかった話、化石ほりて地ばんがゆるんでいたの掘った化石を配ってもらった話、うめがりをして、うめジュースを作ったり、牛乳でわってのむとおいしかったという話。

どれもきょうなエコ活動ですね。これからも指導してくださる大人の方といっしょにたくさんエコ活動をやり、かべ新聞にまとめてください。次号を楽しみに待っていますよ。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

どの体験も、写真のほかに体験したあとの皆さんの感想が書いてあるので、読む人にとってもよく記事の内容が伝わってきます。皆さんがこうした体験をしているようすが目に見えるようです。

こういうかべ新聞の作り方は、これからかべ新聞を作ろうというお友だちの参考になりますね。

世界水フォーラムへ参加して、なにか発表をしたのですか。環境保全表彰は、生物多様性のポスター作品で入賞したのかな。

愛知県豊明市 豊明エコキッズ
壁新聞のタイトル:エコキッズ2012

豊明エコキッズ さんへ
師範から一言！

豊明エコキッズの皆さん、こんにちは。日ごろの活動のようすがとてもよく伝わってくる、すばらしいかべ新聞ですね。1年間にずいぶんいろいろなことができましたね。大豆をまいて、その成長の記録を追ったのですね。大豆の花は、ひと株(1本の大豆)にいくつくらい咲きましたか。図鑑によると、大豆はたくさん花が咲くけれど、そのうち実に育つのは20~30%くらいと書いてありました。マメ科の植物の花の形はおもしろかったでしょう。不思議な形をしていますよね。せっかく育てた大豆が虫に食べられてしまったのですか。きっと皆さんが育てた大豆は「おいしいにちがいない」と虫にもわかってしまったのだと思います。豆腐作りをやったのですね。皆さんが育てた大豆を使ったのですか。簡単に豆腐ができて、意外だったのですね。食べたらおいしかった、自分たちで作った豆腐を食べる体験ができてよかったです。廃油でせっけん作り、使ったあとは捨てられてしまう廃油、それをせっけんにして使うというエコ活動ですね。苛性(かせい)ソーダ(とても危険な薬品です！取り扱い注意です！指導の先生がいらっしゃるときだけ使うようにしてくださいね。お願いします！)を使って油を固める体験ができてよかったです。せっけん作りで「優秀賞」を受賞したのですか。おめでとう！



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

水質パトロールではA地点とB地点でCOD、透視度、水温などを測定し、記録をしたのですね。それぞれの地点に住んでいる生きものをスケッチし、貼ってあるのがすばらしいです。皆さんが書いてくれたかべ新聞は、写真やイラストがたくさんあって、とても楽しく読むことができました。どんなかべ新聞を作ろうかなと考えているほかのクラブのお友だちの参考になると思います。これからもいろいろなエコ活動に挑戦してください。皆さんからのかべ新聞、待っていますよ！

三重県四日市市 四日市尾平イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル:リサイクル工場見学

イオンチアーズクラブ四日市尾平 さんへ
師範から一言！

リサイクル工場見学の様子がわかりやすく書いてありますね。私自身、新しく知ったことがたくさんあり、読み応えがありました。
自分がよく理解していないことは、他の人にうまく説明できませんよね。でも、皆さんはかべ新聞を作る前、見学をしている時から、意識を高く持って活動して、よく理解しているから、とてもわかりやすいかべ新聞になっているんだなと感心しました。
活動のねらいを書いてあるのはとても良いと思います。また、項目ごとにタイトルの背景の色を変えるのは、メリハリがついて良い工夫だと思います。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
年間に生産されているトレイの量と、回収されているトレイの量を比べると、かなり差があるのですね。その差はおそらくごみとして捨てられている分ということでしょうから、もっと回収が進むと良いですね。同時に、かべ新聞を読んで、リサイクルには時間や手間が結構かかることもよくわかりました。その辺りも含めて、かべ新聞を読んだ人にどんなことに取り組んでほしいか、提案してみるとよいと思います。リサイクルに出すときの注意など、詳しく書いてみてはと思います。

三重県四日市市 海蔵しぜんクラブ
壁新聞のタイトル:海蔵川調査

海蔵しぜんクラブ さんへ
師範から一言！

みんなで仲良く楽しく活動している様子が伝わりますね。色々な生き物が発見できて、楽しかったと思いますが、ごみもたくさん見つかって残念ですね。
「わかったこと」に書いてありますが、ごみを川に捨てたりしないことを、多くの人にも守ってほしいなと思いました。
みんなの感想を、きちんと一人ひとり自分の言葉で書いているのは、よいですね。かべ新聞もみんなで協力して楽しく作っている感じが伝わります。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
この調査は毎年行っているのであれば、去年の結果と比べてみると、面白いと思います。
また、海蔵川がどんな川か、簡単に紹介があるとよいと思います。川の大きさや、周りの様子(住宅地・田んぼなど)がわかると、読む人がイメージをつかみやすいと思いますよ。

三重県鈴鹿市 鈴鹿イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル:ペットボトル再生新聞

イオン鈴鹿チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

どちらのかべ新聞も同じ「再生」がテーマになっていますが、対象がペットボトルと森林と2つあるのは面白い考え方(取り組み方)だと思いました。また、一つのテーマでも多様な活動の仕方があることがよくわかりますね。色々な活動をして、色々な視点から学ぶことができた一年だったのではないかと思います。どの活動にも皆さんの感想がしっかり書かれていて、活動が有意義だったことがよくわかります。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....
★.....★...

＜ペットボトルの再生＞

ツリーや浄化キット作りといった「リユース」と、工場見学の「リサイクル」の2つについて体験学習できましたね。ツリーはとても大きいですね。これだけの量のペットボトルを集めるのは手間がかかったと思います。

終了後はリサイクルしたそうですが、そのようにペットボトルを使ったあとに気を付けたいこと、またリデュースなど使う前に取り組めることについても情報として書かれているとよいと思います。

＜森林の再生＞

間伐作業は大変だったと思いますが、普段できない体験ができましたね。

紙すきは、2種類ありますが、自然のままの素材に近い三又と、加工された素材である紙パックの違いがあれば知りたいなと思いました。イメージでは、紙パックを使った方がきれいだったり、手間がかからなかったりするのかなと思うのですが、どうでしょうか。

自然の素材を使ういいところ、課題になるところなども考えてみてはと思います。



三重県鈴鹿市 キラキラレインボー
壁新聞のタイトル:子どもエコクラブニュース2012

清和小学校 キラキラレインボー さんへ
師範から一言！

10周年のまとめということで、歴代の力作がずらりと並んでいますね。作ったメンバーは毎年変わっているのだと思いますが、ずっと続いていることは素晴らしいことだと思います。先輩たちの活動を見て、後輩の皆さんが頑張って、また活動が引き継がれていくのでしょうか。10年間の紙しばいを見ると、色々なテーマで作っていて、年々バリエーションが増えているのですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....
かべ新聞を読むと、毎週読み聞かせの活動をしているようですが、読んでみた感想や、聞いてくれた人の感想も書いてみてはどうでしょうか。次の紙しばいを作るときの参考にもなると思いますよ。



三重県明和町 明和イオンチアーズクラブ 壁新聞のタイトル: 今年の活動(2012)

イオン明和チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

一年の活動計画をしっかりと立てて活動していますね。ほぼ月一回の活動のようなので、なかなか大変だと思いますが、皆さんどの月も熱心に、楽しく活動しているんだろうな、と思えるかべ新聞だと思いました。また、ひとつ一つの活動について、内容や感想がしっかりとした文章で書かれていて、読みやすかったです。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
リサイクル工作の新聞紙を使った湿気取りというのは、初めて聞きました。簡単に作れるのなら、紹介してもらえると、かべ新聞を読んだ人も作ってみようと思うかもしれませんよ。色々な活動をしているのですが、一年間を振り返って、全体で感じたことや次に取り組みたいことを書いてみるのもよいと思います。またメンバーそれぞれで、一番印象に残った活動を一つ上げてランキングにしてみてもはどうでしょうか。他のメンバーがどんなことを感じているのか、新しい発見があって面白いかなと思います。



滋賀県大津市 TANAKAMI こども環境クラブ 壁新聞のタイトル: 水辺の生きものたち

TANAKAMI こども環境クラブのみなさん、こんにちは！みなさんは大戸川と田上の水田や池で生き物みつけを、すみからすみまでいっしょうけんめいに行いましたね。そして、たくさんの行き物を見つけて、写真や絵を書いて、生き物の名前までちゃんと調べて、かめ、さかな、カニの絵の中にまとめました。すばらしい壁新聞になっています。

大戸川での生き物みつけでは、大戸川の歴史も調べてくれました。昔からはらんしたりして、危険な川だったけれど、せきを作ってから、洪水などの危険は少なくなったのですか？川での生き物みつけをする時は、写真にもあるように、雨が降ると水位があがり、とても危険な状態になります。ですから、川に行くときは、かならず大人のひとといっしょに行くようにしてください。川や海でおぼれるときは、急に深くなった所に行ってしまうと、おぼれることや、すべってころんだ所が浅くて、立てる所でもあっても、あわててしまって、おぼれることも多いです。川遊び、川での生き物みつけは楽しいですけど、じゅうぶんに気をつけてください。

ごみ拾いもやって、いろいろなごみを発見しました。ごみの絵を書いて、ポリエチレンのごみふくろに分別しました。自転車や水そうも見つけたのですか？大型ごみふくろの中に自転車や水そうの絵がなかったよ。忘れたのかな？ごみが大きすぎてふくろの中に入らなかったのでしょうか。

サツマイモの苗を植えたり、収穫する時、草取りをする時も、生き物探しをしているようですね。てっぺきに生き物みつけをやっている、みなさんのやり方に“すばらしい！！”拍手を送りたいです。

みなさんの活動を続けて、生き物がたくさんいる大戸川、田上地域にしてください。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

メダカを今年は見つけたよ！良かったですね。みんなで、どうしてメダカが少なくなったのか考えてみましたね。3つの理由が書いてあります。その通りですね。水路が少なくなったのは、どういう理由なのだろうか？メダカが少なくなったり、いなくなるとどうして困ることになるのだろうか？メダカは人に迷惑をかけるのに…。メダカがいなくなると、メダカをえさにしている魚や生き物が、いずれいなくなってしまう。するとその魚や生き物をえさにしている生き物も困ってしまい、いずれほろんでしまうだろう。ということで食べる、食べられるの関係で、いずれは人間にも困ったえいきょうが出てきます。長い年月がかかって、メダカのえいきょうが、人間にまでおよんでくることになります。これも一つの理由です。あとどんな理由があるのかな？

昔、琵琶湖の水がたいへんきたなくなり、大阪や京都などの水道水がカビくさくさになったりしたことがありました。原因は壁新聞に書いてある通りです。琵琶湖周辺の人たちがリンが入っていない洗剤を使うようになってきれいな水が回復しました。ということでプラントンの絵を書いてくれました。よく名前がわかりましたね。サポーターさんにも教えてもらったのですか？ここに書いてあるプラントンを実際にけんびきょうで見たのですか？琵琶湖にいるプラントンなのですか？トンボ池とブルーコロンの生き物も調べました。ブルーコロンの、外来種のブラックバスが多くいて、そのせいでしょか、生き物が少なかったのかな？トンボ池はたくさんの種類の生き物を見つけましたね！トンボ池は生き物にとっては、住みよい環境になっていて、種類も数も多かったのでしょうか。ブルーコロンをトンボ池のようにするためには、みなさんは何ができるだろうか？何か実行できることはないだろうか？

また、壁新聞でみなさんのかつやくのようすを報告してくれるとうれしいです。



滋賀県大津市 ホタルの学校

壁新聞のタイトル:ホタルの学校千丈川日記

ホタルの学校のみなさんが作ってくれた壁新聞は、写真が大きくて、活動内容、観察内容が良くわかります。すばらしい新聞です。

大雨で千丈川が大変だー！8月14日に大雨が降って、ふだんの千丈川とはちがって、水があふれ出るくらい流れています。生き物が流されていないかな？ホタルさんたちも流されていないかな？どうだったでしょうか？結論はホタルの学校の壁新聞を見てくださいーい。

南郷小学校4年生から6年生のみなさんが生き物調べをしたり、ごみひろいをしたりして、千丈川を愛して、ホタルが大好きなようすが壁新聞にあふれています。12月に10人ほどのお友だちが集まって、ごみ拾いをしました。10ふくろくらい、たくさんのごみを拾いました。寒かったけれど、よくがんばりましたね。

千丈川では、6月頃にホタルが飛ぶのですか？たくさんホタルが飛ぶといいですね。みなさんの気持ちと活動で、今年もホタルがたくさん飛ぶでしょう。

ホタルの光って、意外と明るいですね。「ホタルの光、まどの雪・・・」とうたわれているように、昔は、ホタルの光で本を読んだのかな？



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

大雨がふると水のいきおいが大きくなり、石もころがってきます。石はころころがって流されるので、上流でごつごつした石も、下流にいくほど、丸くなります。今回、集めた石もけっこう、丸いですね！生き物調べのあいまに石を拾って、絵を書きました。ホタル、カニ、トンボ、魚・・・の絵を書きました。じょうずに書けていますね！

石がたくさん見つかりましたが、意外にも魚が大漁だったようですね。どうして魚がたくさんいたのだろうか？いちばん心配だったホタルの幼虫は、どうしました？えさになるカワニナはかべにひっついて流されないようにしていました。ホタルはだいじょうぶかな？

また、ホタルの新聞を送ってください。待ってまーす。

滋賀県草津市 エコ・キッズくさつ

壁新聞のタイトル:育てよう！食べよう！エコなYA・SA・I

エコ・きッズくさつのみなさん、すばらしい野菜作りと野菜の料理の仕方の壁新聞、ありがとう。とってもカラフルでみんなで書いたり、切り抜いた絵と4コマまんがをじっくりと読みましたよ。野菜作りだけでなく、エコなこともちゃんと書いてありました。

野菜作りのコツ、各野菜ごとに気をつけること、工夫がみつようですよ、そうですね！

自分が食べたい野菜を決めて、全部の野菜を作らなくてもよいです。そうなると注意する点も決まりますから、みなさんにも手軽に作れると思います。

野菜を育てるときにいちばん、大切なことは土作りかもしれません。野菜が育つきそ作りです。畑で野菜を作る時には、特に土作りがかんじんです。冬の間に何回も土を掘り起こして、土の中にいる害虫などをやっつけてしまうことがだいじです。くすりは使いません。冬の寒さでやっつけるのです。種をまいた後のまびきも忘れてはいけません。密集してはえていると、私たち人間もこんざつの中にいるとストレスがたまるように、植物だっていやになるでしょう。

料理のやり方も書いてくれました。みなさんも時々はおうちのおてつだいをして、料理をしますか？お友だちが書いているように、自分が育てた野菜、自分が料理したものは、どういうわけかおいしいですね。たぶん、料理をしているときに、自分の思いが乗り移るのかな？

エコのこともちゃんと書いてくれました。お米のとぎ汁はひりょうにする、すぐそばで作るので、車などは使わない、ふくろなどもいらない、などなど。その通りです。大根は葉っぱも使う、切りはしはスープにします、などもあるようです。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

虫が食べた野菜は、みなさんもきらいですか？食べませんか？商品かちは下がるかも知れませんが、自分たちでそだてた野菜なら、商品として考えなくて良いのですから、別の考え方があると思います。虫も食べない、いやがる野菜を食べるのは、どうかなと思いませんか？虫もたべるのだから、私たち人間も食べても安全だと思いませんか？ということで、見た目は良くないが、よく洗って(気持ちの問題ですが)食べることもエコになりますよ。虫の食べた野菜をすてるとごみがふえるよね。プランターで野菜作りをする時の良さをみなさんが書いてくれました。取って来てすぐ食べるからしんせんです。毎日、少しずつ食べるから、いっぺんにたくさん買わなくてよい。あまることもない＝ごみが出ない。虫がつくのがいやだったら、プランターは大きくないので、あみなどをかぶせておけば、虫がつく心配がない、などプランターをいくつも使えば、いろいろな野菜が作れます。

野菜作りも、料理も、エコも、楽しくやりましょう。完全、かんぺきにやるひつようはありません。ちょっとくらい手をぬいても、野菜も生きているのですから、ちゃんと育つはずですよ。

エコ・キッズくさつのみなさんは、来年は、どんなことにちょうせんするのだろうか？楽しみです。ちょうせんしたことを壁新聞でほうこくしてください。待っていますよ。

滋賀県草津市 アイキッズ～ エコアイデアキッズびわ湖 ～
壁新聞のタイトル:エコアイデアキッズびわ湖

アイキッズのみなさん、とっても素晴らしい、力作の壁新聞を作り、送ってくれてありがとう。とてもたくさんの活動をやったようですね。内容も見た目もビックリするほど、すてきな新聞です。みなさんの中でとっても字の上手な人がいて、全部、一人で書いたようですね。アイキッズのみなさんの活動も大変だったと思いますが、壁新聞にまとめて、一人が全部書くのも大変だったと思います。

滋賀の食文化財を5つ、経験してきたのですね。魚のさばき方、上手くできましたか？包丁の使い方もうまくなりましたか？伝統的な食べ物ということもあり、ふだんの料理では、あまりお目にかかれない料理に触れることができ、良い体験ができたと思います。味の方は、現代のこどものみなさん方の口に合いましたか？なれずしはとくちょうてきなにおいと味ですので、みなさんにはビックリ体験だったと思います。しかし、なれずしのような食べ物は、日本全国にあるようです。昔は、冷蔵庫などなくて、どうやって食べ物を長持ちさせるか、日持ちの良い食材にするかで、工夫をしたようで、その一つがなれずしのようなはっこう食品ですね。日本でははっこう食品の代表は、みそ、しょうゆ、納豆などがあります。外国ではチーズやヨーグルトがありますね。お茶わんを前にみなさんがなれずしを食べている写真を見ると、笑顔でうれしそうに食べているので、おいしい経験をしたようで、良かったですね。

アメノイオご飯、湖魚のつくだ煮、日野菜漬け、でっちゃんかん、みんなめずらしい食べ物ですね。名前の由来もおもしろいですね。

こだわりの食材を求めて、職人・産地を訪ねる体験もたくさん行ったのですね。多くの人にお世話になったのですね。実際にその場に行って、その人に会って、話を聞き、実際の物を見る・さわる体験など、なかなかできないですよ。とっても良い体験をしたと思います。酒作りの工場では、お酒の匂いで酔っぱらいませんか？シジミ漁では、あみを持ち上げるのは、とても重かったと思います。ちゃんとできたかな？アイキッズのメンバーだけでなく、外国の方ともいっしょになり、あるいは、別のエコクラブのメンバーともいっしょに活動して、良かったですね。

★☆☆サポーターの方へ☆☆★

こども達の素直な感想なり、気がついたこと、どうしたいか？などが見えません。壁新聞はこども達の新聞です。こども達なりの声をもっと聞きたかったです。たくさんの経験をさせて、新聞として全国に発信したいことは分かります。でも、こども達なりの意見、未熟な行動も欲しかったです。

アイキッズ～ エコアイデアキッズびわ湖 ～
壁新聞のタイトル:エコアイデアキッズびわ湖

とっておきのゴシンドウ★……★……★……★……
しじみ汁を食べましたか？飲みましたか？しじみのおいしい成分、からだに良い成分が汁に溶けだします。したがって、汁の中のしじみ貝には栄養分が残っていないので、しじみ貝を除いても、たいへんおいしい、健康に良い食べ物になっています。でも、貝が入っていないとしじみ汁とはならない。貝の役割は、しじみ汁と名付ける役割です。このようにしじみ汁の中の貝は、うまさ、健康には役に立っていないが、無用の用と言って役に立つんですよ、と中学時代の先生が教えてくださいました。だいじなことは、誰も役に立たない人はいない、必ず世の中では役に立ちますと言うことで、しっかり勉強して、規則正しい生活をして、行動しなさいと言うことを教えてくださいました。
来年は、またいろいろな所に行って、貴重な体験をして、壁新聞で報告してくれますか？首を長くして待っていますよ。



滋賀県草津市 常盤こども園
壁新聞のタイトル:常盤幼稚園エコ探検隊

ときわようちえんのみなさん、こんにちは。えこたんけんたいのかべしんぶんをおく
つてくれて、ありがとう。みなさんがいっしょうけんめい、そしてしんけんにあこをやつ
たり、たのしそうにしゃぼんだまをとばしたり、びわこのよしをけんがくしたり、いろい
ろなことをやりましたね。
びわこへいって、よしをみましたね。このよしをつかって、しゃぼんだまあそびもでき
ます。ふえもできるんだって。よしずをつくるのをおてつだいしましたか？なつにま
どのそとによしずをおくと、かげができてすずしくなります。えあこんをつかうのをす
こしにできます。よしずをつかって、なつをすずしくするのもえこです。みんながかい
たり、つくったりした、とりやさかな、はなやはっぱをかざると、きれいなよしずになり
ましたね。
とうろうもみんながつくったのかな？ひるもいいけれど、よるになってろうそくをつけ
ると、ずーとすてきになりますね。
これからえこをすることをかんがえて、ちょっとしたことでよいですから、じぶんで
できることをすこしずつ、やるようにするとよいとおもいます。
また、かべしんぶんをおくってください。こんどは、みなさんはどんなえこをしている
か、たのしみです。まっていますよ。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ようちえんのまわりでごみをみつけて、ひろってきましたね。どんなごみがありましたか？あきかんいがいいに、たばこのすいが
ら、びにーるふくろもありましたか？おかしのふくろもあったかな？ようちえんにかえてから、ごみをわけたのだね。いちばん、か
ずがおおかったのは、なんでしたか？たばこのすいがらだったかな？いつもはあるいているときも、あんまりきにならなかったか
もしれないね。えこたんけんたいになると、いろいろなごみにきがつかうとおもいます。どうろにごみをすててはいけません。ご
みがすててないと、まちがきれいになるよね。

滋賀県守山市 湖南エコクラブ
壁新聞のタイトル:

淡海チェリーキッズのみなさん、こんにちは。いもほりをして、ほったいもでさつまいもごはんを作
り、カップケーキやクッキーも作って、その後クリスマスパーティで楽しむという大変上手な活動をし
ました。大根の葉っぱと根っここのひみつ、ハンカチ染め、いちごを育てることもやりました。みなさ
ん、とっても楽しそうな壁新聞を送ってくれて、ありがとう。
さつまいもほりは、たいへん楽しそうですね。大きなおいもがたくさんとれましたね。2 回もやったと
は、2 回も楽しめたと言うことになりますね。そのおいもを使って料理をしました。みなさんは、小学
3 年生か、4 年生ですよね。でも、料理をしているすがたは、お母さんみたい。とっても楽しそうに料
理をしていますね。できあがった料理は、みんな、おいしい！おいしい！と言って食べてくれたよう
ですね。わたしのところにも、なんとなくおいしそうなおいがしてきました。
大根の葉っぱと根っこの栄養はどのくらいあるのか？きれいに表にしてまとめてくれましたね。根っ
こって、意外に栄養がないんだね。でも、おでんに使うととっても味がしみこんでおいしいよね。スー
パーなどで大根を買うと葉っぱを切り落としてあるから、なかなか葉っぱを食べるチャンスがないで
すね。根っこも葉っぱも食べるとごみが出なくて、とってもエコですよ。葉っぱはちょっとからい味
がするの、いいですね。私がこどものころ、にわとりを飼っていて、ときどきえさの葉っぱとして大
根の葉っぱをあげました。一口、二口ついばむと、ケツ！ケツ！と鳴き声をあげて首をあげました。
その時は、なんでそうするのか、わかりませんでした。ずーと後になって、大根の葉っぱがからく
て、ビックリしてにわとりが鳴いたらいいことがわかりました。あのからい成分は、この表には出てい
ませんね。
料理すきのみなさんは、来年は、なんの料理にちょうせんするのかな？壁新聞でほうこくしてください。待っています。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

サトウキビでハンカチを染めることもやったのですね。なかなかコツがありそうですね。ハンカチは木綿ですか？絹ですか？今回は、大豆のに汁に
つけておくのが良いので、木綿かな？木綿に草木染めをする時には、なかなか染まりにくいので、牛乳や大豆などのたんぱくしつで木綿を処理する
ときれいに染まるようです。最後の染まった布がどのようになったか？結果が出ていないのは、残念だったな。たぶん、輪ゴムでとめた所は、染ま
らないで、白くなったのでしょう。自分のハンカチで世界に一つしかない、きれいなハンカチができたのだと思います。
コンパニオンプランツって、むずかしいことを教えてもらったのですね。受粉の手助けをしてもらう、虫や害虫が寄ってこないなど、ふしぎなことがあ
るのですね。去年と今年のちがいがどうしてあったのか？自分なりの考えを出しました。来年は、ペチュニアをいっしょに植えた所とペチュニアとたま
ねぎをいっしょに植えた所を作って、みなさんの考えが合っているか？ちがっているか？を調べてみるのもおもしろいと思います。

滋賀県甲賀市 油日小こどもエコクラブ

壁新聞のタイトル: 自分を大切に 人を大切に ものを大切に 自然を大切に

油日小学校エコ委員会のみなさんが、作ってくれた壁新聞をはしからはしまで見ました。ビックリしました。こんなにたくさんのエコ活動をやっているんだ！1年間で過ぎて見ると、これもやった、あれもやった、で新聞が記事でいっぱいになってしまいましたね。すばらしいの一言です。

みなさんの活動のすばらしさ、その1は、おうちの人や水口子どもの森の先生、森林組合長さん、オパール会社の人など、外部の方とうまくけんけいして、自分たちの活動を知ってもらい、活動のはばを広くしていること、その2は、秋の自然と遊ぶ会のように、クイズやゲームで楽しみながら、自然のことを知り、自然の大切さを実感していること、その3は、ビオトープ「エコパーク」の生き物を水そうに入れて、毎日、生き物にふれるようにしていることで、生き物の大切さを感じるようにしています。その4は、壁新聞の記事をみなさんが書いて、感想や感じたこと、考えていることなどを書いていることです。壁新聞は、みなさんの新聞ですね。

アメリカザリガニは、つめが大きくてかっこいいが、外来種であって、希少種の浮草などを食べてしまう生き物ですね。最初に調べた時は、ずいぶんたくさんいたようですが、しかけを作って、毎日、とるようにしたら、へってきたようです。最近では、しかけにザリガニだけでなく、いろいろな生き物もつかまってきて、エコパークの生き物の種類と数がふえてきたようです。自然の中では、いろいろな生き物の種類がたくさんいることと、バランス良く生き物がいることが一番大切なことです。いろいろな生き物がいて、食う・食われるの関係でバランスが取れていると、私たち人間も良い環境で過ごすことができますよ。

ゴーヤのカーテンがみごとに成長しましたね。日の光をさえぎるので、カーテンの後ろ側は、2℃くらい温度が低くなります。みどりのカーテンは日の光をさえぎるばかりではなく、葉っぱから水分がじょうはつしますので、温度が低くなります。夏の朝や夕方にうち水といって、水をまくとすずしくなるのと同じです。

油日小こどもエコクラブ

壁新聞のタイトル: 自分を大切に 人を大切に ものを大切に 自然を大切に

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....

おなもみの実は、ひつつきむしとも言って、服にくっつきますね。どうしてくっつくか？

おなもみの実を虫めがねで見ると、その理由がわかります。引力のない宇宙では、物が浮いてしましますが、このおなもみの実のやり方を使って物を固定することができました。その後、私たちの身近にあるマジックテープが開発されて、日常的に使うようになりました。自然界の生き物は、それぞれとくちょうてきな工夫、仕組みをもっていて、これまで長い間生きぬいてきました。最近、生き物の工夫をまねして、私たちの暮らしに使っていかうとしています。たとえば、かわせみのくちばしの形をまねして、新幹線の形を作りました。あるいは、もるほちょうと言うちょうちの羽の色が、どういう仕組みでできているかを研究して、その工夫をまねして色がいろいろに見える布を開発しました。みつばちの巣は、六角形をしていて、たいへん丈夫な巣になっています。建築物には、この六角形がたくさん使われていて、がんじょうな建物になっています。

自分を、人を、ものを、自然を大切に、と言う油日小学校エコ委員会のスローガンは、小学校のみなさんが、実物を見て、さわって、体験して、広がっているようです。

来年は、どんな体験を、実験を、見学をみなさんが行うのでしょうか？また、壁新聞でしかうかいしてください。楽しみに待っていますよ。



滋賀県多賀町 多賀町アストロクラブ
壁新聞のタイトル: 星空は教えてくれる

多賀アストロクラブのみなさん、壁新聞のアstro新聞を送
ってくれてありがとう。新聞の記事の構成は、すごくわかり
やすくなっています。

木星はしましまがあって、土星はリングがあり、火星は赤っぽい色をしていて、月にはクレーターのあとがいくつも見られる、地球は青い色をしているなど、太陽系の星は、それぞれ夢をあたえてくれますね。

直径 60cmの反射型望遠鏡で土星をみたら、リングがはっきり見えて、感動しました、とお友だちが言っています。そうだろうなと思います。滋賀県で一番大きい望遠鏡が近くにあって、うらやましいですね。

太陽を見ると元気が出ます。すばらしいことですね。太陽の表面温度は、6000℃、じゅ命は100億年です。今まで46億年ですから、じゅ命の半分くらいになったのですね。

昼間は太陽を見て(直接、目で見てはいけませんよ)元気をもらい、夜は星を見て夢をもらってください。北斗七星と北極星、夏の天の川、冬の大三角形など、そして動いている宇宙ステーションを見ているといろいろな夢が浮かんでくるのではないのでしょうか？

星の一つである地球を守りましょう。地球が良い環境になれば、私たち人類にも住みやすい星になります。来年は、どのようなエコ活動をしますか？太陽の日ざしをあびながら、エコを進めてください。そして壁新聞にまとめて、送ってください。待っていますよ。



多賀町アストロクラブ
壁新聞のタイトル: 星空は教えてくれる

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

太陽系の星は、地球を直径 3cm の球とすると、太陽は 330cm、木星はわく星の中で一番大きくて直径は 30cm 位になります。太陽がめっちゃめっちゃ大きいんですね。

太陽と地球のきよりは地球上に水が存在できるちょうどいいきよりにあります。それで地球には、水があるので青く見え、平均気温が 15℃と生き物が生きられる環境になっていますね。

その地球が今、ピンチになっています。ここ1万年の間、気温がほとんど一定だったのが、この100年の間に0.7℃高くなりました。この調子で行くと100年後には気温が5℃くらい上昇すると言われています。地球温暖化です。地球温暖化の原因は、人間が行った活動によるとのことです。これにより、気候のバランスがくずれてきました。生き物のバランスも悪くなりかけています。どうやって地球を守りましょうか？自然を守りましょうか？

地球環境を守る、自然環境を守る、その一つとして、ごみをなくしましょうという活動があります。多賀町アストロクラブのみなさんも、道路の清そうを、多賀町ふるさと楽市で会場のごみを集め、川の清そうもやりました。みなさんは身近なところからやれるエコの活動をしています。良いですねー。空きかん、たばこのすいがら、お菓子のふくろなどのごみがあったようですが、一番多かったごみは、何ですか？たぶん、たばこのすいがらだったと思います。こどものみなさんがポイ捨てしたわけではありません。どうやったら、大人の人に気づいてもらえるでしょうか？それと道路のごみ拾いをやる時は、決して車の通る道路に出てはいけません。危ないです。道路の真ん中にごみを発見すると、つい道路に出てしまいます。左右から車が来る可能性があります。

星を観察する時に、空気がきたないと星がキレイに見えません。空気をきれいにたもつには、どうしたら良いかも考えてください。ごみがふえると、ごみを燃やして空気がきたなくなります。ですから、ごみ拾いをやりながら、街の人には、ごみをふやさないように呼びかけるのもだいじなことですね。星仲間との交流を通して、ごみをへらす活動を広めることも一案ですね。

京都府京都市 西京極児童館自然探検隊 2004
壁新聞のタイトル:2012年、遊んで学ぶ京の自然

西京極児童館自然探検隊 2004 さんへ
師範から一言！

西京極児童館自然探検隊 2004 のみなさんは、ゴミ調査、水生生物調査、セミの調査など、たくさんの調査に取り組まれています(特にセミの数の調査は、10 年もの調査結果がまとめられており、すごい！)。きっと、みなさんは観察したり発見したりする力が、バッチリきたえられているのでしょう。かべ新聞全体の記事から、観察力や発見力が感じられます。

他にも、見学会・学習会・環境イベントへの参加など、幅広い活動をされています。その中で、他の団体の方とお話をする、つまり交流の機会があるのがすてきだと思います。自然探検隊のみなさんの活動を知ってもらうこともできるし、年齢などが違う他の人たちの活動を知ることもでき、お互いの活動の輪が広がっていきますね。

かべ新聞として、「これからやりたいこと」がまとめてあるのはとても良いと思いました。また、「はしおき」の作り方の説明は、とてもわかりやすかったです。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

調査や観察会の結果をまとめる時に、次のような情報もあると、さらにわかりやすくなると思います。参考にしてみてください。
・どんな「場所」なのかを具体的に書く(例:御所ってどんなところなのか。水生生物調査をした二つの川は似たような川なのか、似ていないならどこが違うのか)。・「調査の方法」と「結果」をわかりやすく区別して書く。もし結果について「感想」や「考察」がある場合は、それも区別して書くと、読む人が見やすいかべ新聞になります。・「いつ」調査をしたのかも重要です。何月何日にしたのかや、その時の天気、時間帯によって見つかったり見つからなかったりする生き物もあります。一日で調査が終わらないときもあるかもしれません。(「いつ」を、どれぐらい詳しく書いたらいいかは、調査の内容によります。)

セミの調査は、ぜひ今後も続けてほしいと思います。そして「今年は多かった(もしくは少なかった)」ということがあれば、それはなぜなのか(暑い夏だったのか、雨が多かったのか、冷夏だったのか、それとも他に原因があるのか、など)をみなさんで考えてみてください。もし水生生物調査なども、また同じ場所でする機会があるのなら、結果の違いがあれば、なぜなのかを考えてみてくださいね。

それから、これからやりたいこと「大人に知ってほしい」「生き物を知ってほしい」「多くの人に知らせたい」「友達を増やしたい」どれもとても良いですね。これからも楽しく活動してください！

京都府京都市 かつらがわエコキッズ
壁新聞のタイトル:かつらがわエコ新聞2012

かつらがわエコキッズ さんへ
師範から一言！

かつらがわエコキッズには、中学生、小学生、そして1才の5人で活動をされています。

全体のデザインがとてもすてきなかべ新聞ですね。山や川や虹もあり、あちこちに鳥が飛んでいて、桂川が緑豊かな様子が伝わってきます。また、京都市の環境のキャラクター(エコちゃんやこごみちゃんなど)がいたり、観光名所のイラストもあちこちにちりばめられていて、楽しく見ることができるように工夫されています。

「DO YOU KYOTO」「2030 年の低炭素社会に向かって」など、京都市(行政)が取り組んでいることについて、とても分かりやすく書いてあります。それぞれの取り組みについて、実際にエコキッズのみなさんがどんなことをしているのかが書いてあるので、小さな取り組みが大きな目標に繋がっていることが良く分かります。

エコクッキングやエコカルタの様子が、とても楽しそうです。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

記事の内容にもよりますが、新聞としては「いつ」「どこで」「誰が」「何を」したのかを意識して書いてみましょう(例:〇月〇日にエコクッキングをした。マイボトル持参はいつもしている。など)。それに加えて、結果はどうだったのかや、メンバーのみなさんはどんなことを感じたり考えたのかが書いてあると、もう完璧です！

それから、みなさんは加茂川や桂川でバードウォッチングを楽しんでいるとのことですので、ぜひ今度、その様子も記事にしてみてください。いつ、どこに、どんな鳥がいたのか、たくさんいたのか一羽だけだったのか、どんな場所にいたのか、どんな行動をしていたのか、それを見てみなさんはどんなことを感じたのか、などなど。具体的に書いてあると、野鳥観察の楽しさがたくさんの人に伝わります。

メンバーに年齢差があるのに、仲良く活動されている様子が伝わってきます。年齢が違くと、感じ方や考え方が違うこともあると思いますが、その違いも興味深く面白いと思います。そんな違いを発見したときは、ぜひかべ新聞の記事にしてみてくださいね。

京都府木津川市 木津川市こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:いのちをすくうエコしんぶん

木津川市こどもエコクラブ合同チーム さんへ
師範から一言！

木津川こどもエコクラブのみなさんは、3つのグループ(鹿背山の自然観察・いらないものをへんしん・自分たちで食べ物作りにちょうせん)で活動されています。体験して・見て・聞いて・感じてと、どれもとても楽しそうです。

どの活動についても、日にちがきちんと書かれています。いつの活動なのかがすぐに分かりますね。鹿背山も地図が書かれていて場所がわかりやすいですね。色々な情報を伝える「新聞」として、とてもすてきだと思います。



そばの、種まき・刈り取り・だっこく・そば打ちをして、そばを食べたという体験はすてきですね。だっこくはリズムをとってまわすのが大変だったんですね。でも楽しそうで、おいしそうで、私もしたいと思いました。うらやましい！

それから、来年やりたいことがきちんと書かれていて、そのどれもがとても楽しそうです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

かべ新聞を見て、こんなことも知りたいなあと思ったことがあるので、次にかべ新聞を作る時の参考にしてください。

・鹿背山の自然観察…もう少し詳しい内容も知りたいなあと思いました。気づいたこと、どんな小さなことでも書いてみてください。例えば、どんな生き物がいたのか、名前や形、観察の季節が違ったら何ちがうのか、山の場所によって違うことはあるのか、など。

・いらないものをへんしん…たまねぎの皮で染めたバッグなどの作ったものは、使っていますか？ いらないものをへんしんさせた後についても、ぜひ報告してみてください。

・食べ物作りにちょうせん…同じお茶の木から、番茶と紅茶という別のお茶ができましたが、味はどうちがいましたか？ お茶葉の色や形は？ 比べてみて、それをまとめてみるのもいいかもしれません。

子どもたちの力でがんばってかべ新聞を作っている様子が目に浮かぶようです。これからも、みなさんで工夫して、どういう風に書いたら見やすいかべ新聞になるのか、相談しながら楽しく作ってくださいね。

大阪府大阪市 せいわエコクラブ
壁新聞のタイトル:私たちの出来る事、楽しく活動しよう！

せいわエコクラブ さんへ
師範から一言！

とても楽しい壁新聞です。みんなで力を合わせてつくった「力作」という感じが伝わってきます。1年間にずいぶんいろいろな活動ができましたね。それを1枚の壁新聞としてまとめる作業は大変だったでしょうね。ひとつひとつの記事をみんなで分担して書いたのですね。それぞれに個性がでていて、読んでいておもしろいです。

大阪市の水源、北小松の森を守る活動をとおして、豊かな水は森がつくっていることを学びましたね。とてもよい経験だったと思います。

淀川のワンドにわずかに生息する天然記念物イタセンパラ、絶滅が心配なイタセンパラ、イタセンパラを守るためにはイタセンパラが産卵する貝も守らなければいけませんね。廃油からローソクづくり、アロマオイルで香りをつけ、クレヨンで色をつけたすばらしいオリジナルローソクがたくさんできましたね。タケノコ掘りのお話では、有機農法の方からお話を聞き、掘りたてのタケノコを食べておいしかったということが伝わってきます。牛乳パックを溶かして紙すきをやりオリジナルのハガキづくり、そして味噌づくり、クリスマスリースづくりなど、いろいろなことを体験できましたね。ご指導くださる先生に感謝ですね。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ソラダス 2012 で大気中の窒素酸化物の測定をしたことも壁新聞で報告してくれています。大阪市の大気は、年ごとによくなっているのですか。年ごとの変化を追ってみると、いろいろなことがわかると思います。

長いあいだ活動を続けたお友だちには金バッチや銀バッチが贈られる、1年間頑張ったお友だちにはエコレンジャー賞が贈られる、いいですね。活動を続けることの励みになりますね。来年もまた頑張ろうという気持ちにしてくれます。

たくさんの活動をみんなで手分けをして壁新聞にまとめた力作です。こういう壁新聞の作り方、全国のお友だちの参考になりますね。次号を楽しみに待っていますよ。

大阪府高槻市 柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー

壁新聞のタイトル:はしらもとほいくえん え〜こ・レンジャー新聞 つきぐみレンジャー

はしらもとほいくえん え〜こ・レンジャーのみなさんへ

師範から一言！※保育園の先生へ:子どもたちがわかる言葉に置き換えて、読んであげてください、お願いします)

はしもとほいくえんえ〜こ・レンジャーの皆さん、こんにちは。壁新聞、楽しく読みました。つきぐみ、ほしぐみ、ゆきぐみのお友だち、みんなで競走しながらいろいろな活動をし、頑張って壁新聞にまとめてくれたんですね。写真がたくさんあり、とても読みやすいです。説明もわかりやすく、皆さんの活動の様子が手に取るように伝わってきます。

保育園の先生と1年間楽しく過ごしたことを壁新聞にまとめてくれました。次の1年はどんな活動があるのかな。みなさんから壁新聞が送られてくるのが待ちきれない気持ちです。ワクワク気分で待っていますよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

1年間でずいぶんたくさんのができましたね。保育園の先生に感謝の気持ちを伝えましたか。大人の方々のご指導でたくさんの活動ができ、いろいろなことを学んだり体験できたと思います。

保育園での活動のこと、お家の方々にもお話をしましたか。こんどお家の方々と、保育園で体験した活動をまねしてやってみると楽しいかもしれませんね。



柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー

壁新聞のタイトル:はしらもとほいくえん え〜こ・レンジャー新聞 つきぐみレンジャー

つきぐみレンジャーのみなさんへ

梅干づくり挑戦したんですね。壁新聞を読んでいるだけで口のなか酸っぱくなってきました。きつとおいしい梅干ができたことでしょう。

落ち葉でお絵描き、セミの抜け殻で肥料づくりなど、いろいろな体験ができましたね。みなさんが住んでいる高槻市はクマゼミが多いんですね。クマゼミの抜け殻は大きいから、たくさん肥料ができますね。

みなさんの保育園にはいろいろな生きものが遊びにくるんですね。

これからも保育園へ遊びにきた生きものとなかよく楽しく遊んで、壁新聞で全国のお友だちへ報告してくださいね。楽しみに待っていますよ。

ほしぐみレンジャーのみなさんへ

「もったいない活動」の話を壁新聞で報告してくれました。私たちが生活しているなかで、ずいぶん無駄をしていることがわかりますね。ほんの少し気をつけるだけで、ずいぶん「もったいない活動」ができますね。これからも新しい「もったいない活動」にチャレンジしてください。散歩でひろった小枝や葉っぱで「自然遊び」をしたんですね。楽しそうですね。みなさんが描いてくれた絵が楽しかったおもいでを伝えてくれています。エコこうさくではダンボール箱でお家をつくったんですね。みなさんが入れるくらい大きなお家をつくったんですね。次もみんなで力を合わせて楽しい壁新聞をつくってください。待っていますよ。

ゆきぐみレンジャーのみなさんへ

環境にやさしい体験がたくさんできましたね。どの活動も素晴らしいです。

セミの抜け殻調査では、クマゼミをたくさんみつけましたね。高槻市ではクマゼミがいちばん多いんですね。クマゼミは午前中に鳴くのでしょうか。保育園でセミの鳴き声は聞こえますか。

保育園には雨水タンクがあるんですね。雨水タンクをのぞいてみると、雨でずいぶんたくさん降っているのだと思います。今、東京は水源地(水道のもとになる水)の雨が少なくて、取水制限10%(いつもよりも水を使う量を減らす)です。みんなで節水を心がけるようにしています。そんなとき、雨水タンクが活躍しますね。

落ち葉でたい肥づくり、捨てられてしまうものを菜園活動などで再利用する、とてもエコな活動ですね。これからも続けてほしいです。そして壁新聞で全国のお友だちへ報告してください。待っていますよ。

兵庫県神戸市 細田児童館エコキッズ
壁新聞のタイトル:細田児童館エコ新聞

- ・細田児童館エコ新聞には、「エコこうさく」「減装(へらそう)学校」「再生野菜をつくろう」という3つの活動が紹介されています。
- ・減装(へらそう)学校って、とってもおもしろい名前ですね。ごみをへらすことについてかんがえたり、分別クイズをしたりと、さんかした人はごみのスペシャリストになれそうです。
- ・再生野菜は、たくさんの野菜をそだてたのですね。「ネギはうえて1週間ぐらいたったらニョキニョキのびてきて今は30cmぐらい」というように、くわしくかいてあるとせいちょうのようすがよくわかり、とても良いですね。これを見たら、「こんなにのびるのだったらやってみようかな」とおもってしまいますね！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

- ・エコこうさくでつかった牛乳パックについて。そのまますてたらゴミになりますが、こうさくすることで、やくに立つものに生まれかわって、またつかえますね。ほかにも、牛乳パックは、じぶんたちでこうさくするだけでなく、リサイクルかいしゅうに出して、こうじょうであたらしい紙せいひんをつくることもできます。どんなふうにつくりなおすのかや、どんなせいひんができるのか、ぜひしらべてみてください。そして、びっくりばこでお友だちやおうちの人をびっくりさせたあとに、しらべたことをおしえてあげて、すてたらもったいないよってつたえてあげてください。
- ・「これからやってみたいエコ」にエコクッキングとかいてありますが、ぜひ、再生野菜でそだてた野菜もクッキングにつかってみてください！ きっとおいしいですよ！
- ・ほかにも、いろんなことにちょうせんして、おもしろかったことやびっくりしたことを、また新聞にかいておしえてくださいね。



兵庫県神戸市 魚崎児童館エコクラブ
壁新聞のタイトル:魚崎エコ新聞

- ・魚崎アースレスキュー隊のみなさんが、リサイクルランドをととても楽しんだ様子が、新聞全体から伝わってきます。文字やイラスト、写真のあちこちから、楽しかったことがよくわかります。特に、ほんとうのパッカー車のボタンをさわってすごかった！という感動が伝わってきました。
- ・リサイクル工作は、くふうしてすばらしい作品がたくさんできたとのこと。きつと、アースレスキュー隊のみなさんは、くふうすることが上手なメンバーがたくさんいるのでしょうね。エコ活動に取り組むときに、くふうするってとっても大切ですよ！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

- ・パッカー車にごみを入れる体験はどうでしたか？ 少しの量をやってみるのは、楽しくおもしろく感じますよね。でも、もしこの作業を一日中やらないといけないとしたら？ 100個200個とごみを入れ続けるのは、きつと、大変しんどい作業でしょう。ぜひ、実際にやってみてどうだったのか(例えば、重かったとか、においがするとか、音が大きいとか)について、詳しく書いてみてください。どうしてごみをへらすのか、しわけしないといけないのかが、新聞を見る人にも伝わると思います。
- ・リサイクルランドで知ったことの中で、みなさんがやろうと思ったことはありましたか？ みどりのカーテンも、ぜひやってみてください。それから、ごみのしわけが分からない人がいたら、教えてあげてくださいね。リサイクルランドに行ったことのない人に、こんなに楽しいところだよ、こんなことが分かったよ、と教えてあげることも、ステキなことですね。
- ・みなさんは、楽しかったことを伝えるのがとても上手ですね！ 楽しそうなことってまねしたくなるので、また楽しいエコ活動を新聞に書いてくださいね！



兵庫県神戸市 ウルトラマン
壁新聞のタイトル:ウルトラエコ新聞

- ・ウルトラエコ新聞では、「農都ふれあい隊で農業体験」「ゴミひろい」の2つの活動が紹介されています。
- ・農都ふれあい隊では、田植えや苗の植え付けから、草抜きや生き物発見、収穫まで、たくさんの作業を体験したのですね。たくさん写真から、いきいきと活動されている様子が伝わってきます。
- ・ゴミの日の朝、登校する時にゴミひろいをするとのこと。道がきれいになると気持ち良いですね。とてもステキです。大人も見習わなければ、と思います。
- ・ところで、ウルトラマンという名前、とってもカッコイイですね。どうしてこの名前にしたのか、とっても気になります…。

とっておきのゴシンドウ★……★……★……★……★……★……★

- ・楽しい様子がとっても伝わってくる写真がたくさんですね。写真の選び方が良いのか、撮る人が上手なのか、とにかくステキです！これに、体験をした時の感想が少し書いてあるだけで、さらに楽しさが伝わってくると思います。何が楽しかったのか、どんなことがしんどかったのか、何が特においしかったのか、他の人とどんな話をしたのかなど、心に残ったことがあったら、写真の横に書いてみましょう。もっともっと、ステキになりますよ！
- ・ゴミひろいの様子を、ぜひ詳しく知りたいと思いました。ゴミは多い日や少ない日があるのか、どんなゴミが落ちているのかなど、観察しながらゴミひろいをするのも面白いですよ。



兵庫県神戸市 はらじエコクラブ げんきっ子
壁新聞のタイトル:はらじえくらぶげんきっ子 活動報告

- ・はらじエコクラブげんきっ子のみなさんは、「原田の森の樹木を調べて、樹木博士になろう」というテーマで活動されました。木の形、葉のにおい、さわったかんじ、どんな虫がいるかなど、いろいろな角度から観察をされています。ふりかえりシートを見ると、みなさんがどんなことを思ったのかが、とってもよくわかりました。
- ・グループごとに「わたしたちの木」を決めて、観察して、まとめてあります。グループのメンバーで気付いたことを話し合ったりできるのは、とってもステキなことですね！どのグループのまとめも、文章、イラスト、写真、実物など、工夫してわかりやすいです。項目もきちんと分かりやすく、調べたことも書いてあり、すばらしいです！

◎目・口つぶつぶ…名前がおもしろいですね。「木の音」を、耳で聞くとときと手でたたいたときの両方が書いてあり、おもしろいです。葉っぱのイラストがわかりやすいですね。

◎さるすべりだいくん…「ジェスチャーであらわすと」がいいですね。木に、ありの巣があるのはびっくりですね！

◎リープ・カツラ…葉っぱについての説明が、くわしくて、とってもわかりやすいです。形、色、大きさ、肌ざわり、どんな風にかわってきたのかなど。観察力がすごいですね。

◎ざくろもちゃん…かわいいなまえですね。すてきな実がなってきたいて、このあともたのしみですね。ありも実が好きなのでしょうか。紙コップでは、音は聞こえなかったのですね、ざんねん！

とっておきのゴシンドウ★……★……★……★……★……★……★……★……★……★

- ・季節をかえて見ると、同じ木なのに、新しい発見がいっぱいあったとのこと。一年通して観察したら、みなさんはすっかり樹木博士ですね。木の他にも、季節をかえて見ると楽しい発見があることが多いので、やってみてください。
- ・みなさんのまとめをみて、木の名前を決めた理由が知りたいなあと思いました。そして、私もみなさんの木に会いに行きたくなりました。これからもいろんな活動をごんぱってくださいね！





師範から一言！

・この4枚の写真はとってもおもしろいですね。昔から今まで、桜ヶ丘のまちがどう変わってきたのか良くわかります。同じ場所の写真だけど、時期が違う写真を並べてくらべてみることに
よって、いつごろ家が増えたかなど、色々なことが分かります。この写真はとてもよい「ひか
(=くらべること)になっていますね！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

・この写真を見て、みなさんはどんなことを考えましたか？ 昭和 52 年から 62 年の間にたくさん家が増えたなあとか、道路の形はあまり変わってないなあとか、他にもいろいろな発見があると思います。みなさんが発見したことが書いてあると、きっともっとおもしろくなりますよ。

あさひクラブ③の新聞を書してくれたみんなへ

師範から一言！

- ・ソーラーパネルや緑や公園がいっぱい、鳥や魚もいっぱい、無農薬の地産地消にわらぶきのエコの家！ 子ども達がまちを元気にかけめぐる、すてきな桜ヶ丘ですね。私もこんなまちに住みたいです！
- ・色々な紙を貼ったり、イラストを描いたり、写真を貼ったりと、作り方も工夫しており、とてもステキです。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

・こうやって、未来のまちがこんな風になったらいいなあと考えることって、とってもステキですね。みなさんは 50 年後は、何歳になっているのでしょうか。こんなまちになったらいいなあと考えたことを、いろんな人に話をしてみてくださいね！

あさひクラブ④の新聞を書してくれたみんなへ

師範から一言！

・あさひクラブのみなさんが、たまねぎ・だいこん・じゃがいも・さつまいもを農園で作ったことについて紹介されています。たくさん写真とコメントから、どんな作業があるのかや、みなさんが仲良く楽しそうにしているようすが伝わってきますね。

・すべて無農薬とは、すごいですね。しゅうかくするまで、とてもたくさん作業をされたのでしょうか。食べている写真の、みなさんの笑顔を見ると、とってもおいしかったことがわかります。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

・たくさんのお作業をしたと思いますが、どんな作業がたのしかったですか？ 大変だったことはありますか？ 何がおもしろかったですか？ みなさんのかんそうを、もっと知りたいなあと思いました。

・とっても広い畑ですね。どれぐらいの広さなのかな？ 児童館の近くにあるのかな？ 写真を見ると豊作のようですが、しゅうかくはどれぐらいあったのでしょうか？ そんなことについても少し書いてあるといいかもしれませんね。

あさひクラブ⑤の新聞を書してくれたみんなへ

師範から一言！

・その2では「そば道場」の様子がくわしく紹介されています。たねまき、まびき、しゅうかく、だっこく、かげぼし、そばうち、食べるところまで！ 口に入るまでのことを全部するなんて、とてもすごいですね！

・みをおとさないように、ゆっくりとしゅうかくすることや、いしうすでゴリゴリ「こな」にするなど、写真とコメントで作業のながれがよくわかります。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

- ・そばは、きっと、とってもおいしかったでしょうね。たねまきからつくったそばを食べて、みなさんはどんなことをかんじましたか？ みなさんのかんそうが、もっと知りたいです。
- ・たねまきやしゅうかくをした日にちが、その1の新聞みたいに書いてあると、作業のながれがもっとわかりやすくなりますね。
- ・たねまきからそばうちまでするなんて、本当にすごいたいけんだと思います！ そして、本当においしいそう！ また作ったらおしえてくださいね。

兵庫県姫路市 ひめじアースエンジェル 壁新聞のタイトル:夢前川の水生物調査

・ひめじアースエンジェルのみなさんが、ごみひろいをしたことを報告してくれています。カラフルで、絵もたくさんかいてあり、とてもかわいいかべしんぶんですね。

・いつ、どこで、ごみひろいをしたのかや、ごみのしゅるいや、どんなところにおちていたのかなどが、とてもわかりやすくてあります。どちらもタバコが多かったのは、さんねんですね。おまつりのあったゆめさき川では、食べもののごみが多かったのですね。。

・かんそうにかいてくれている、「一人一人の心がけが大切」というのは、本当にそのとおりですね！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

・「どうしたらごみはへらせる？」に、へらす方法をたくさんかいてくれています。大人も子どももできそうなことが、たくさんありますね。さて、この中で、みなさんがじっさいにやってみたことはどれでしょうか？ やってみて、おもったことや、こうやったらやりやすかったなど、くふうできそうなことがあれば、いっしょにかいてみてはどうでしょうか。たとえば、買いものでエコバッグをわすれないようにげんかんにおいているなど、きっとステキなアイデアがたくさん見つかりますよ！



ひめじアースエンジェル②の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

・ひめじアースエンジェルのみなさんが、夢前川での水生生物調査をしたことについて、紹介してくれています。とても上手にまとめてありますね！ どこにどんな生き物がいたのか、どれぐらいの数だったのかなどが、とてもよくわかります。・いつ調査をしたのか、誰が教えてくれたのか、調査結果はどうだったのかなど、大切な情報がしっかりと書いてあり、大変わかりやすいかべ新聞ですね。すばらしい！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

・調査をして、夢前川は水質階級2の少しきたくない水だということがわかりましたね。雑草や石や岩にたくさんの生き物がかくれていることを知ったみなさんは、きっと、川にごみをすてたりはしないでしょう。

・さて、「めざせ！！きれいな川」のために、もっとできることはないか、探してみませんか？ たとえば、まわりの人にも夢前川の生き物について知ってもらいたいかもしれません。家や学校で水を使うときに、何に気を付けたいのでしょうか。夢前川の調査をこれからも続けるというのも、とても良いことだと思います。良いアイデアがあったら、また教えてくださいね。



兵庫県神戸市 高倉台児童館エコクラブ

高倉台児童館エコクラブ さんへ

師範から一言！

・高倉台児童館エコクラブのみなさんが、土にふれ、一年中みどりをかんじながら、たくさんの野菜をつくっているようすがていねいに書かれています。かわいいイラスト、すてきなコメント、たのしくてわかりやすいしゃしんがたくさんある、すてきなかべしんぶんです。

・当番を決めて水やりをしたり、大きくそだてるために間引きをしたこと、にがてな野菜も食べられるようになったことなど、こまかいところまで書いてあります。どういうふうにしてそだてていったのか、とてもわかりやすいですね。かん全むのうやくのやさいは、とてもおいしいでしょうね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

・いつたね植えやなえ植えをして、いつしゅうかくしたのか、などが書いてあると、もっとわかりやすくなるとおもいます。野菜のしゅるいによってじきがちがうととって、おもしろいですね。

・たくさんしゅうかくできたときは、いくつぐらいか数えてみてください。大きくそだったときは、何センチぐらいか、はかってみてください。すうじをつかってあらわすと、かべしんぶんを見ている人にもすごさがつたわりやすいとおもいます。

・かたかったメロン、らいねんはどうなるのか、たのしみですね。ほかにも、まへの年とくらべて何かちがいをみつけたら書いてみましょう。おもしろいはっけんがあるかもしれません。



兵庫県姫路市 スーパーふくながブラザーズ
壁新聞のタイトル:スーパーふくながブラザーズ新聞

スーパーふくながブラザーズ さんへ
師範から一言！

- ・記事の見出しが大きく書かれていたり、記事ごとに色の違う紙が貼ってあったりと、工夫されているので、とっても読みやすいです。まん中の、みなさんのエコに対する気持ちが書いてあるデザインもステキですね(ケナフの生長に負けないぐらいの気持ちが伝わってきました！)。
- ・家の中でも学校でも地域でも、たくさんの活動をしているんですね。ごみを拾っている人にインタビューをしたり、鳥取県のあちこちに行ったり、田植えを手伝ったり、病院の廃棄物を見せてもらったり、大学を見学したり。行動力バツグンですね！ 新聞に投稿して掲載されるなど、自分の意見を表現できる場所を見つけて、しっかり行動しているところも、ステキだと思います！
- ・「比べる視点」を持っているというのは、とてもすばらしいです。鳥取でごみ拾い活動に参加するだけでなく、「姫路は…」と比べてあるのを見ると、ドキッとします。比べることで色んなことに気付いたり、参考になったりしますね。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

- このままでもステキなかべ新聞ですが、もしさらに工夫するとしたら、こんなこともあります。参考にしてください。
- ・「いつ」「どこで」「誰と」した事なのかを意識して書いてみてはどうでしょうか。普段からしていることもあれば、一回限りのこともあるでしょう。「〇月〇日に、どんな場所でしたのか」が書いてあると、よりわかりやすくなります。
 - ・これを作った「あなた」はどんな人だろう？もっと知りたいなあと思いました。色々な人がかべ新聞を見るので、自分のこと(何年生なのかや、どんなことが好きなのかなどなど)や、弟さんのことや、エコ友のことの紹介があっても、ステキだと思います。こんな人たちが活動したんだなあって伝わりやすくなると思いますよ。
 - ・エコ友と一緒に活動するのって、楽しくてステキですね！ これからも楽しいエコ活動をたくさんしてくださいね。またかべ新聞を作ってください！ 楽しみにしています。

兵庫県神戸市 あきばだいじどうかん
壁新聞名:エコの森キノコ隊しんぶん

あきばだいじどうかん エコキッズ さんへ
師範から一言！

- ・あきばだいじどうかんエコキッズのみなさんは、かつどうをするなかで、たくさんのものをつくったんですね。マイうちわやロケット、よもぎのおはぎ、サツマイモにとうもろこし、あそぶときのでんきまで！ たのしいエコかつどうがたくさんですね。
- ・しゃしんと文だけでなく、日にちまでかいてあり、わかりやすく良いと思います。トウモロコシづくりの「5/17 たねまき → 8/3 しゅうかく」など、3か月ちかくかかったことがわかりますね！
- ・かべしんぶんは、色とりどりのはっぱや、かおのかわいいドングリなど、デザインもステキです。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

- ・「ほおんじゅくせいちょうり」でつくったよもぎのおはぎは、どんなあじでしたか？ トウモロコシやさつまいもは、おいしかったでしょうか？ トウモロコシをそだてるのに、どんなくろうがありましたか？ みなさんのかんそうを、もっとしりたいなあとおもいました。
- ・エコかつどうでしったことや、たのしかったことについて、ぜひ、おうちの人やお友だちにもはなしをしてみてください。でんきをたいせつにつかったり、たべものをのこさないようにしたり、いっしょにしてくれるかもしれません。マイうちわだけでなく、プレゼントうちわをつくってあげるのもいいかもしれませんね。まわりのひとたちにも、いろいろとすすめてみて、たのしいかつどうをひろげていってください！

兵庫県芦屋市 グリーンキッズ

壁新聞のタイトル:グリーンキッズ NO13

・グリーンキッズは、ようちえんから中学2年までのみなさんでかつどうされています。今年で13枚目のかべしんぶんですね。とても長かつどうを続けているのですね。すごいですね！

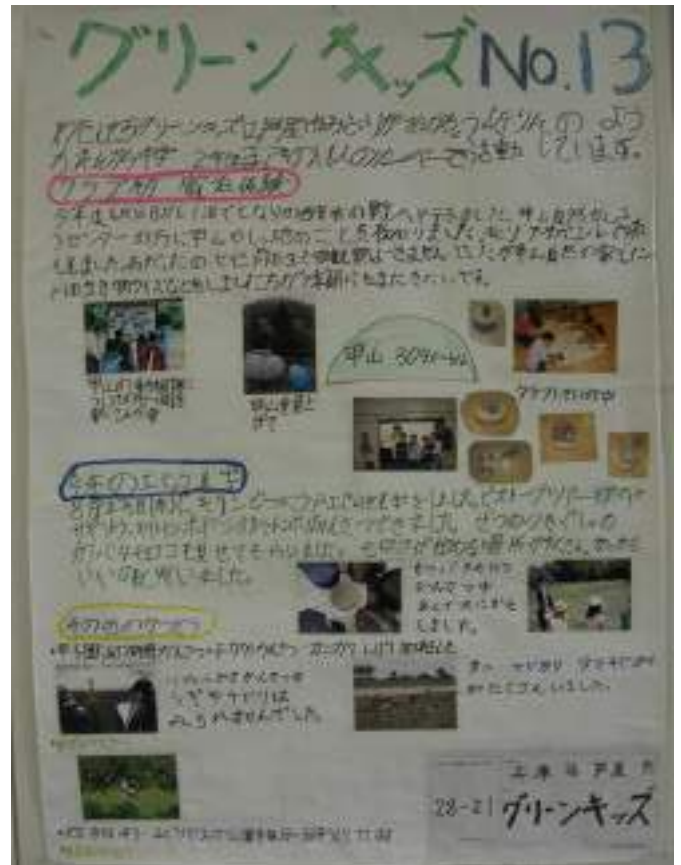
・「クラブ初の宿泊体験」「エジよう見学」「その他のかつどう」と、記事にメリハリがあつていいですね。初めての宿泊は、またちがう季節にもいきたいとおもうぐらい、本当にたのしかったのですね。甲山やしっ地の自然と、みなさんがいつもいるところの自然や生き物に、何かちがいはありましたか？

・ビオトープツアーでは、カワバタモロコをかんさつしたあとに、また池にかえたのですね。生き物を大切にしながらかんさつしているようすがよくわかる、すてきな記事ですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

・写真にわかりやすいコメントがあり、どんなようすだったのかが良くわかるかべしんぶんですね。他に、みなさんのかんそうが書いてあつても、とてもステキだとおもいます。ようちえんのメンバーと中学生のメンバーのかんそうは、きっとちがうとおもいます。どんなふうになちがうのかを見るのも、とてもおもしろいことだとおもいますよ。

・長かつどうを続けているからこそ、気が付くこともあるとおもいます。たとえば、毎月一回のみどりがおか公園のそうじでは、いつもこうだなあとか、めずらしいことがあつたとか、みなさんではなしをしてみてもうでしょうか。何か発見があるかもしれません。おもしろい発見があつたら、ぜひまたかべしんぶんになしてくださいね！



兵庫県伊丹市 エコスマイル

壁新聞のタイトル:エコスマイルしんぶん～たくさんエコの花を咲かせてみんなで笑って(スマイル)暮らせる未来にしよう～

・エコスマイルのみなさんは、たのしいかつどうを、とてもたくさんしているんですね。あやとりでは、なにがとくいですか？ おやつのごろくつてめずらしいですね！ りんごがりでとったりんごは、とってもおいしいですよ！ バスボムをつくるのはおもしろそうですね！ しんぶんをつくると、たのしかったことをいっぱいおもいだしますよね！ これからも、たのしいかつどうをたくさんしてくださいね。

・にっこりエコの花が咲いている、とってもステキなデザインの壁新聞です。花びらや葉っぱにたくさんの活動報告が書いてあり、それぞれ写真もついでいて、わかりやすいですね。

・親子で一緒に楽しく活動されているご様子、とても良いですね！ 子どもどうして楽しんだり、お母さんと楽しんだり、親同士でも楽しく交流されているのでしょうか。家に帰っても、色々と会話が弾みそうです。

・自然に触れること、物を大切にすること、食について、交流など、活動の内容ももりだくさんで面白いですね。カンフーは予想外でした！ ユニークな活動、いいですね～！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

・とってもステキなかべ新聞なので、ゴシドウということは特になのですが…(あえて言うとなると、それぞれの活動に日付があると、もっといいですね)。活動も、日常と繋がった等身大の内容で、多岐にわたっていて、とってもステキだと思います。これからも、楽しい活動をたくさんしてってください！ またかべ新聞を楽しみにしています！

兵庫県豊岡市 豊岡市立小野小学校 5年生

壁新聞のタイトル:黒米新聞2012 ～米作りから学んだ自然・環境・ECO～

- ・小野小学校5年生のみなさんが、黒米作りに取り組んだことや、調べたことについて、わかりやすくまとめたかべ新聞です。中学生が作ったのかな～と思うぐらい、ステキな新聞ですね！
- ・米作りについて、たねまきからしゅうかくまで、どんな作業をしたのか良くわかります。農作業のどんなところが大変だったのかも書かれています。腰が痛くなるような作業が多いのですね。しゅうかく祭で食べたおもち、本当においしかったですよね。
- ・特に、「ミミズ研究」がとっても面白いです！ 実験の結果も、写真があるのでとってもわかりやすいですね。
- ・それから、みなさんの作った「かかし」がずらっと並んでいるようすも、とってもステキだと思います。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....

- ・調べたことについても、わかりやすく書いてありますね。黒米についても、記事を見るとよくわかります。みなさんは、どんな方法で調べたのでしょうか？ 誰かに聞いたとか、本で調べたとか、そんなことがちょっと書いてあってもいいかもしれませんね。
- ・みなさんが「おわりに」に書いていることは、とってもステキですね。生き物の命はつながっている。そして、自分達の周りの物を大切にしたい暮らしをしていきたい。私も、そう思います。周りの物を大切にするには、どうしたらいいのでしょうか？ 毎日の生活の中でできることについて、みなさんと話をしてみてくださいね。
- ・みなさんが学んだこと、感動したことについて、ぜひ、色々な人に伝えてください。私はコウノトリはテレビでしか見たことがないので、みなさんがとてもうらやましいです。色々な場所でコウノトリが見られるようになるといいですね。一緒にがんばりましょう！

奈良県奈良市 平城子どもエコクラブ 5年2組

壁新聞のタイトル:ニッパラがやってきた！！

～平城小学校子どもエコクラブのみなさんへ～

ニッポンバラタナゴという名前を初めて知りました。「ニッパラ」という名前からは、水の中に住む生き物で、タナゴの仲間だとなかなか想像できませんでした。絶滅が心配されている魚の仲間だったのですね。何も知らなかったもので、奈良県のホームページを見させていただきました。近畿大学農学部の皆さんの活動のこと、里親プロジェクトのこと、みなさんの学校がそのプロジェクトに参加したことなど少しわかってきました。皆さんは、この里親プロジェクトの里親認定を受け、絶滅が心配されている生き物を守り育てる活動に取り組んだということですよ。本当にすばらしい体験をすることができましたね。どの新聞も大きな字でしっかりと書かれていてとても読みやすく良くできていましたよ。



平城子どもエコクラブ 5年2組①の新聞を書いたみんなへ

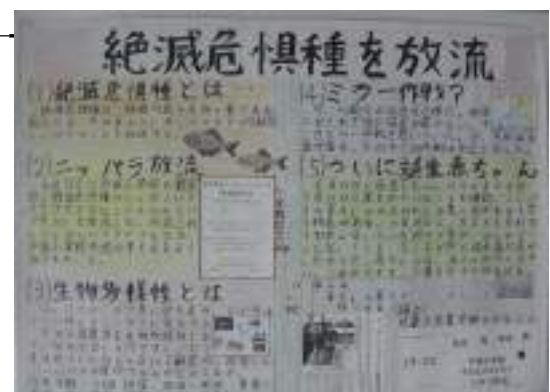
師範から一言！

ニッパラの川柳を作ったのですね。どの川柳もニッパラへの思いであふれていてすてきです。生き物のつながりや生態に関わることも読み取ることができて、ニッパラのことをしっかり学んだり観察していることがわかりました。みなさんのニッパラへの思いが伝わってきてとてもいいと思いました。

平城子どもエコクラブ 5年2組②の新聞を書いたみんなへ

師範から一言！

池に光が届かなくてちゃんと育たないかもしれない、そんな不安から鏡を使って池に光を届ける作戦を計画しました。なかなかのアイデアですね。こういうアイデアは、日ごろさまざまなことに関心を持ちながら生活していて、日々のなにげない場面にも思いをめぐらすことができることで思いついたり生まれたりするんですよ。これからもいろんなことに関心を持ちながら生活してくださいね。またいざというときすてきなひらめきにであえると思います。



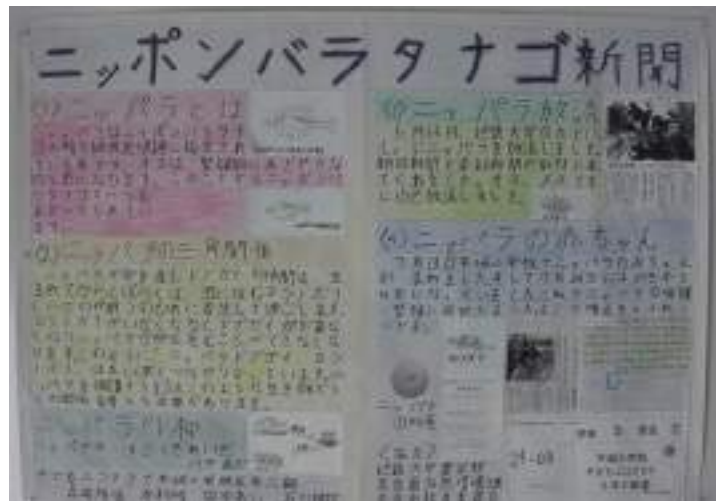
平城子どもエコクラブ 5年2組
壁新聞のタイトル:ニッパラがやってきた!!

平城子どもエコクラブ 5年2組③の新聞を書いたみんなへ
師範から一言!

ニッパラの放流については新聞社の取材もあったそうですね。その記事の切り抜きが壁新聞に使われています。壁新聞にこういうことがあったという事実を載せることで、壁新聞を読んでもくれるたくさんの人たちにニッパラについて関心を持ってもらうことができ、また、みなさんがニッパラのことを大切に思っていることも伝わってとてもいいと思います。
イラストや図も使われていてわかりやすくていいですね。
平城子どもエコクラブ 5年2組④の新聞を書いたみんなへ

師範から一言!

ミシシippアカミガメがニッパラを食べてしまう!という心配からカメを水族館に連れて行ったのですね。これは、なかなか良いアイデアだったと思います。
外来種でじゃまもの扱いされてしまったミシシippアカミガメですが、カメも生きています。みんながバランスのとれた関係で生かされる方法を考え続けていってください。



平城子どもエコクラブ 5年2組
壁新聞のタイトル:ニッパラがやってきた!!

平城子どもエコクラブ 5年2組⑤の新聞を書いたみんなへ
師範から一言!

「ニッパラの赤ちゃん誕生」は本当にうれしい出来事でしたね。里親に認定されてから一番うれしい瞬間だったと思います。新聞からその喜びが伝わってきました。どんなオスがメスに好かれ、どんなメスがオスに好かれるのかとても興味があります。互いがなぜその部分に注目するのか、そのスタイルが好きなのか考えてみるのもおもしろいと思います。



平城子どもエコクラブ 5年2組⑥の新聞を書いたみんなへ
師範から一言!

ニッパラが命をつないでいくためのつながり、ドブガイやヨシノボリとの関係が図を使って紹介されていてとてもわかりやすくて良かったです。大切だと思う言葉は四角で囲ったり下線を引いたりしてわかりやすく書かれています。自然を守ろう!という思いもしっかり伝わってきました。
みんなへのおきゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
今回の活動は、クラスとして取り組んでくれたのですね。この取り組みには、県の施策や市の教育委員会の方々、近畿大学の方々とさまざまに関わっていただいたのだと思います。



誰にどんなことを教えていただき、どう感じたのか、そして自分たちは何をしたのか、もう少し具体的に書かれているととってもいい壁新聞になったと思います。この活動の全体がわかるような紹介部分がとってもよかったと思います。
この里親プロジェクトの活動の目的の一つは、ニッパラを増やすことだったのでしょうか。その活動の中でミシシippアカミガメを動物園に移す必要があったり、ニッパラと一緒にドブガイやヨシノボリも池に放しました。生物多様性ってなんでしょう。このニッパラの活動をきっかけに、生物多様性についてもっともっと考えていってもらえたらうれしいです。ニッパラが普通に生きていける環境が整った街をめざし、いつか皆さんの地域が「ニッパラの里」になったら素晴らしいですね。楽しみにしています。

和歌山県有田市 かがやき
壁新聞のタイトル:新川環境新聞

新川の今と昔の状況をうまくまとめることができました。昔のことについては地域の人から聞き取り調査をしていることもとても貴重な経験です。現在の新川の状況はあまりきれいな河川とは言えないようですね。昔の新川は顔を洗ったり、水泳をしたり、シジミが採れたり、ときれいだったこと、そして現在の状況との違いが報告されていて分かりやすいです。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

和歌山の地理が分からない人にとって、皆さんが住んでいる有田市の新川がどこを流れているのか、どんな大きさなのか（一級河川なのかなど）が分かりません。地域を知らない人の視点にたって記事を書くことができれば、もっと状況が読者に理解してもらえることと思います。また、水質の悪化についても、泥が多いとかごみの量が多い、ということは分かりますが、化学的なデータなど自分たちで調べて書き込むことで、読者にも新川の現在の水質について具体的な状況が伝わります。

中学生でもできる水質調査（バックテストや生き物調査）がありますので、ぜひ挑戦して報告して下さい。



師範から一言！――

「かがやき2」の港新聞も、「かがやき1」と同様に新川の今と昔の比較の記事にした新聞です。昔の状況について地域の人から聞いた話をしっかり聞き書きとめ記事に出来ています。

現在の汚染原因についても、生活廃水が大きな原因であること、そしてきれいな川に戻すために私たちがしなければならないことを、新聞の真ん中にみんなでまとめているところもいいですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

かがやき1の新聞と同じで、この新聞も有田市のことを全然知らない人が読んだときに、新川がどこにあるのか、もう少し地域の情報も書いてくれればと思います。

生き物についての記事がありますので、今回調べたところは、新川の上流、中流、下流のどのあたりなのでしょう？ 川のどの場所で調べたかによって、生息する生き物も違ってきます。その辺りの情報も書き込めるといいのですが。また、みんなが出来ることのように、それぞれ個人が聞き取りの概要をまとめるのではなく、新聞で伝えたいテーマ毎に、記事を書く人を決めて新聞を作ると、さらに読みやすいものになるのでは、と感じます。



和歌山県紀の川市 エコジャンプ
壁新聞のタイトル:生物を守る！地球を守る！

新聞タイトル下の4つの吹き出しにこの新聞の伝えたいことの内容がまとめられ、それぞれのテーマに沿って伝えたいことも分かりやすく書いています。カメがやって来る場所、回数などイラストや写真でうまくまとめました。千里の浜が一番上陸の多い浜なのですね。また、その浜はいろいろな人によって守られていること、また卵を守るための工夫として鉄製の枠が作られていることなど勉強になる情報もあちらこちらに書いてあります。私たちがカメの産卵を守るためにできることも分かりやすく書いてあります。一度現地を見に行きたいなあ、と思わせてくれる新聞です。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

カメの保護について毎年でなくてもいいので、ぜひ別の機会にまた同じように調査をしてみましょう。また、千里の浜での活動について、どんな人が関わっているのか、いつ、どのような活動が行われているのか、ぜひ詳しい報告を書いて教えて下さい。



鳥取県鳥取市 エコ隊わかばーズ
壁新聞のタイトル:わくわくわかば ECO 新聞

わかば保育園さんへ
師範から一言！

子どもたちが楽しく活動している様子がよくわかります。クリスマス会など、年間の行事の中に、エコ活動を組み込んだりして、自然と環境学習できているのも素晴らしいと思います。エコクッキングの大学いもは、すごい量ですね。とてもおいしそうですし、映っている子どもたちの笑顔を見ると、本当に楽しんでいる様子が伝わってきます。かべ新聞のまとめとして、来年度への意気込みを書いているのもとても良いと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
みんなの力を合わせて資源を集めて、プレゼントをする。どんなものになるのか、また来年度の活動やかべ新聞が楽しみにになりますね。



鳥取県米子市 メダカみ～つけ探検
壁新聞のタイトル:水の生きもの

メダカみ～つけ探検さんへ
師範から一言！

メダカだけでなく、いろいろな生き物とふれあうことができますね。皆さんが住んでいる地域は、多様な生き物が住める豊かな環境ということがよくわかります。メンバーがそれぞれ、自分の言葉で活動を振り返って文章を書いているのはとてもよいですね。他のメンバーの文を見て、また新しい発見もあったのではないかと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
全国的に減っているメダカが米子では増えているのですね。確認できたメダカの数を書いておくと、来年の活動にも、もっとつながると思います。また、まとめに書いてある「川のごれをへらす」には、どんなことをしたらいいか、みんなで考えて実行してみるといいなと思います。



鳥取県米子市 YONAGO ジャングルエコ探検
壁新聞のタイトル: 守ろう みんなの自然

YONAGO ジャングルエコ探検 さんへ
師範から一言！

山、川、海と色々なフィールドで楽しく活動している様子が伝わります。魚、虫、鳥と色々な生き物を見たり、つかまえたりすることもできましたね。「※白鳥語」というのは初めて知りました。今度、白鳥を見る機会があれば、注意してみようと思います。こういった小さな情報で、読む人に生き物への関心を高めてもらうこともできますね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
それぞれの活動を、皆さんで分担して協力して書いていて、とてもよいと思いますが、活動のタイトルのデザインを統一したりすると、もっと読みやすくなるかなと思います。かべ新聞のタイトルである「守ろう みんなの自然」にあるように、多様な生き物のいる自然をいつまでも、みんなで守ってほしいと思います。
※白鳥は首をふる合図をしてから飛び立つそうです。新聞の左側に書いてあるよ！



鳥取県米子市 それ行け中海探検
壁新聞のタイトル: 思い出そう昔の中海 2012

それ行け中海探検 さんへ
師範から一言！

地域の貴重な自然である中海で、色々な活動ができていますね。かべ新聞を読むと、今でもたくさんの生き物がいるようですが、昔の方がもっと色々な生き物がいたのでしょうか。その頃の中海の生き物の様子を、地域の人に聞いてみると新しい発見があるかもしれませんね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
もう一度泳げる中海にする、中海をきれいにするために、普段皆さんが取り組んでいることを、具体的に書いてみてはどうでしょう。かべ新聞から、中海は色々な生き物がいる、貴重な自然であることがわかりますので、家や学校で水を使うときに気を付けていることなどを書くと、中海を守ることにつながっていくと思います。



鳥取県米子市 イオン チアーズクラブ 日吉津
壁新聞のタイトル: 今私たちにできる事

イオン日吉津チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

カラフルでイラストがかわいいかべ新聞ですね。目をひくデザインだと思います。4つの活動について書かれていますね。どれもしっかり文章が書かれていますね。活動したこと、新しく学んだこと、これから取り組もうと思ったこと、が丁寧に書かれていると思います。文字の色を変えて書いているのも、面白い工夫だなと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
これから取り組もうと思ったこと、について少し掘り下げて書いてみると、もっといいなと思います。何か一つでいいので家で取り組もうと思ったこと、取り組んだこと、をぜひ書いてほしいと思います。例えば、「電気を大事に使う」には、「テレビのつけっぱなしをしない」など、具体例を挙げて書くと、読む人にメッセージがより伝わると思います。



鳥取県米子市 イオン米子駅前店チアーズクラブ
壁新聞のタイトル: 地元の野菜収穫体験

イオン米子駅前チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

普段なかなかできない貴重な体験ができましたね。野菜はスーパーマーケットに行けば売っていますが、収穫を体験することで、いつも以上においしく感じたのではないのでしょうか。かべ新聞にもそう書いてありますね。普段から野菜を食べるときに、収穫体験のときのことを思い出しているのではと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
地元の食材を地元の人たちで食べる、消費することを「地産地消」と呼びます。食べ物を運ぶエネルギーが少なく済むので、エコにもつながります。皆さんの活動はまさに「地産地消」ですね。そのような情報もかべ新聞に書くと、皆さんの活動にもっと広がりがでると思いますよ。



島根県出雲市 上津探検隊
壁新聞のタイトル:ケロケロカエル調査新聞

上津探検隊 さんへ

師範から一言！

みなさんの活動はほんとうにおもしろそうです。壁新聞を読むとなんとも楽しそうで、ほかには？ほかには？と次々と読みたくなってしまいます。最初にカエルランドについて書かれています。これはとてもいいですね。ここにかかれていることでみなさんの活動がどんなものなのか、どうしてどのように進められているのが、活動の全体がわかります。だからほかの部分を読むのに内容にすぐに入っていくことができとても読みやすいです。カエルつりについて書かれています。今年もとてもおもしろいですね。やっぱりケラケラと笑ってしまいました。去年よりつりのうでまえはじょうつしたのでしょうか。

今回の新聞には図表が書かれていました。こういった図や表を使うことで、カエルランドのようすが読む人に具体的に伝わってとてもわかりやすいですね。とてもいいと思います。

みなさんの活動を上津文化祭で発表しているのですね。地域に発信していくということはとても素晴らしいことです。どんどん発信していったほしいと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

モリアオガエルの初産卵日の毎年のようすが表になっていますが、たまご(のかたまり)はどのくらいあったのでしょうか。新聞には、『去年よりも今年はふえたので安心した』と書かれています。どのくらいふえたのでしょうか。たとえば、毎年同じ日に卵の数を数えてみるなど、全体の数がわかる調査をしてみてもはどうでしょう。カエルランドの自然の変化がわかっていいと思います。たまごがふえたらうれしいですね。もしへってしまっていたら、そのわけは？

これからの活動のヒントが見つかるかもしれません。

新聞にも書かれています、天気や気温との関係も少しずつ調べられたらいいですね。



岡山県津山市 わくわくエコクラブ
壁新聞のタイトル:わくエコ新聞

まずは4年間続けての調査、お疲れ様です。このような調査は何年も続けることで、川のいろいろな変化がわかります。そんな中で困ったことがありますね。まずはゴミの問題。せっかく皆さんが拾っても、また次の時には...となってしまうのは残念ですね。ただ、皆さんが一生懸命拾っている姿を見たら、川にゴミを捨てる人も減っていくことでしょう。

空気もきれいで、オオサンショウウオの棲む川が近くにあるとは、とてもうらやましい環境です。これからも活動を通して、皆さんにとっても、生きものにとっても、よい環境を守っていってくれることを期待しています。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

外来種のカメの問題。ペットとして飼われていたものが捨てられた可能性もありますね。外国からペットとして連れてこられた外来種も、最後まで飼ってもらえれば何も問題はなかったのです。川に捨てられて、そこで他の生きものを食べてしまったり、競争になったり、するから問題になるのですね。この問題は重要な問題ですので、これからも考えてみてくださいね。

広島県広島市 リトル・キャッツ・アイ
壁新聞のタイトル:遊遊新聞

リトル・キャッツ・アイ さんへ
師範から一言！

2012 年 5 月に金環日食がありました。リトル・キャッツアイのみなさんはその時の様子を報告してくれています。私も近くの公園で観察しましたよ。なんとも不思議で神秘的だな、と思いました。さすがエコクラブメンバーのみなさんはただながめているだけでなく、時間を追って観察しながらその様子を記録してくれています。写真を使った説明で、形が変わっていく様子や、気温の変化もわかります。太陽が欠ける数分の間に気温が下がっています。太陽の力は偉大だなんて感じたのではないのでしょうか。

その太陽の力を使った太陽光発電についても施設見学をして学んでいますね。一つのことから発展していくことはとても大切です。いい思い付きたと思います。身近にこのような施設があることは素晴らしい財産です。未来にむけてモデル的に作られた施設とのことですから、これからも何度も足を運んでしっかり学んでいってくださいね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....
エコクラブ全国フェスに参加したとのこと。他県のクラブの活動や、企業の取り組みなどたくさんの新しい発見や収穫があったと思います。そんな体験も今後の活動に生かしていくことができるといいですね。



広島県広島市 フジこどもエコクラブ広島
壁新聞のタイトル:エコ葉新聞

フジこどもエコクラブ広島 2012 さんへ
師範から一言！

シーカヤックに乗ったこと、宮島の海岸を観察したことや二葉山に行ったことなど、たくさんの野外活動ができていいなあと思いました。特に、海をきれいにする生き物についての実験にはとても感心しました。ムシロガイがイワシを食べつくしてしまうことや、ムラサキガイが米のとぎ汁をきれいにしてしまうことなど、生き物って本当にすごいなあ、その働きにおどろかされます。こうした体験したことをメンバーひとりひとりがきちんとまとめられていていいと思いました。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
みなさん、ひとりひとりのまとめがとてもよくできているとお伝えしました。そこに一步進めて、もう少し具体的な様子のわかるまとめがあるといいと思います。例えば、フジの見学に行って気付いたことでも、「リサイクルボックスが5つあって」であれば、その5つはどんなものなのか、それぞれのボックスにはどのくらい入っていたのかなど、新聞を読む人たちがどんなものなのかわかるような説明があるといいと思います。がんばって！



広島県広島市 環境構想エコクラブ

壁新聞のタイトル:らっかせいとあそぼう～どんなふうにできるの?～

環境構想エコクラブ さんへ

師範から一言!

らっかせいを育てたんだね。らっかせいが土の中で育つことを知らない人ってけっこういると思います。そういう意味では新しい知識を得るのによい、とてもおもしろい取り組みをしたと思います。楽しかったでしょ?中央にドンと貼られた写真のメンバーの顔をみれば楽しかったことはちゃんとわかります。育てた様子をていねいに調べていますね。「らっかせいのそだつようす」のところはとてもいいと思います。

らっかせいでつくった赤いくつ、なかなかいいですね。かざっておいてもすてきでしょうね。とても楽しい活動ができたと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....

1年間の間にはいくつもの活動をしてきたと思います。その中で一つにしぼってまとめるというのは、まとめ方のひとつとしてとてもいいと思います。次はどの活動をまとめてくれるかな?楽しみです。



広島県福山市 めだかの学校

壁新聞のタイトル:自然の博物館 芦田川 ～今年も嬉しい発見がたくさんあったよ～

めだかの学校 さんへ

師範から一言!

まずは、芦田川が中国地方ワースト1でなくなったこと、よかったですね。芦田川の一斉清掃などみなさんの活動の成果だと思います。すばらしい!

壁新聞には、芦田川を中心において、活動の内容を芦田川の上流から下流へ流れにそってまとめています。調査の結果は〇シールを使って見た目にもきれいでわかりやすいです。よくまとめられていて、とてもいいと思いました。

バードウォッチングで、決定的な瞬間を観察することができたり、イカの赤ちゃんに会えたりと本当に貴重な体験ができました。ワースト1返上の喜びを胸にこれからも自然の博物館で楽しい活動を続けていってください。つぎの報告も楽しみにしています。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

去年のとっておきのアドバイス「長く続けたことを生かした新聞」を参考にしてくれたのかな?ありがとう。とってもいいですよ。

みなさんも作ってみて気付いたと思いますが、例えば水生生物では、この表を見ればきれいな水に生息する生物が増えていることがわかるし、本当にたくさんの生物が住んでいることが一目でわかります。こうしてまとめることで、芦田川がどんなふうに変化してきたのか目で見てわかります。次はみなさんの活動のことや、芦田川の変化などについて回りの人たちに伝えていく活動にも取り組んでみましょう。家族だけでなく、地域の方々に伝える活動ができるといいですね。



広島県福山市 緑丘こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:エコにさんせい？(エコに賛成と酸性雨)

緑丘こどもエコクラブ さんへ
師範から一言！

わあ！たくさんのおさがお、すてきですね。壁新聞の中のはってある場所もなかなかセンスがいいですよ。タイトルもいいですね。酸性雨について調べていることを前面にだしつつエコすることいいってことを伝えている。いいですねえ。アース軍団があちこちで活躍しているところも私は気に入っています。活動は、酸性雨のことからリサイクルやごみにことまで幅広く取り組んでいます。そして、「私たちにできること」できちんとまとめができています。まずは自分たちでできることから少しずつ取り組んでいく、はじめの一歩だね。そして、まわりのみんなにも取り組んでもらうための働きかけとして「つたえたいこと」としてきちんと書き込まれている。いい新聞ができました。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
みんなが元気に楽しく活動している様子が伝わってくるいい新聞です。これからも身近なことから取り組んでいきましょう。そんな中から疑問を見つけて活動を広げていってください。



広島県福山市 広島大学附属福山中・高等学校エコクラブ
壁新聞のタイトル:Go to the エコな Future

広島大学付属福山中学校エコクラブ①を書いてくれたみなさんへ
師範から一言！

小学生に理科を好きになってもらえるように行っているという出前授業、おもしろそうですね。ムラサキキャベツのゆで汁を指示薬に試してみるというのは考えましたね。それに、食べ物で試してみるというところは、小学生のみなさんもきっと興味を持ってくれたと思います。すてきな思いつきです。ディベートでは、環境保護が経済発展かという本当に大切な、難しい問題に取り組みました。ここではどのような資料が用意され、どのような意見が出たのか、具体的な内容にとっても興味を持ちました。今回のディベートでの話が話だけに終わらないよう、未来に向けてできることから行動していってくださいね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
毎年中学2年生が継続してくれているエコクラブ。広島大学付属福山中学校に入学されたみなさんはだれもがエコクラブを経験することになります。すばらしい！！
その先輩たちが残してくれたデータからわかったことがあると書かれていました。古いデータを引用しながら、今行っている活動と結び付けてまとめをしてみるのもいいと思います。きっと、取り組むべき課題も見えてくると思います。次のステップへGO！



広島大学付属福山中学校エコクラブ②を書いてくれたみなさんへ
師範から一言！

ゼーベック効果で電流を取り出す実験、難しい実験に取り組みました。廃熱利用などきっとこれからの社会で大切になってくる分野なのだろうと感じています。そういった意味では、その最初の一步を学校で体験できてとってもいいなと思います。ところで、この実験はどうしてやってみようと思ったのでしょうか。ちょっと気になりました。小学校への出前講座は、実際に変化が目でわかる実験で小学生たちも楽しかったと思います。タバスコが透明になったり、カレーが赤くなったり、私もやってみたくりました。新しい科学の世界への挑戦と、後輩育成、これからも楽しく続けていってください。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
壁新聞であることを意識して、もう少し大きな文字であらわされているといいと思います。また、小学校への出前講座での小学生の反応はどんなだったでしょう。そんな様子や、やってみてどうだったのかという振り返りについても記載されているととってもいい新聞になると思います。がんばって！



広島県江田島市 永田川カエル倶楽部(えいだがわかえるくらぶ)
壁新聞のタイトル:2012永田川カエル倶楽部活動新聞

永田川カエル倶楽部 さんへ
師範から一言！

永田川カエル倶楽部は、小学校低学年のメンバー中心のクラブなんですね。壁新聞にたくさんはってくれてある写真からわかりました。クラブのカエルのロゴ、エコじいさんのロゴ、いいですね。思わず見つめてしまいました。ゴミ拾いに水質調べなど、サポーターのみなさんといっしょに取り組んでいる様子がわかりました。そして、発見もたくさんありました。メダカがいっぱいいることや、ウナギもいましたね。永田川ってウナギの上がってくる川だったんですね。
活動の始まりはまずやってみること。実際に動いてみる、さわってみるそんなことが大事だと思います。いろんな体験をして、いろんな発見をしてください。そしてどんな体験や発見をしたのか、1年間のまとめとして、壁新聞づくりにこれからも挑戦してってください。報告待っています。



～サポーターのみなさんへ～
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....

小さなお子さんにとって、サポーターの皆さんと一緒に活動ができることはとってもうれしいことです。こどもたちの興味関心を引き出しながら、加えて安全を確保しながら楽しく活動が続けられるといいですね。こどもたちの「やりたい！」を育ててあげて下さい。

山口県宇部市 ワイルド・キッズ・クラブ
壁新聞のタイトル:ワイルドキッズクラブ NO. 1

ワイルド キッズ クラブ さんへ
師範から一言！

ワイルドキッズクラブのみなさん、とってもおもしろい、ユニークな竹とうろうの作り方と昼の顔と夜の顔のへんしんの写真をかべ新聞でほうこくしてくれてありがとう。
竹のふしのところでななめに切って、ドリルであなをあけた所が目になるのですね。うまい工夫ですね。昼の顔と夜の顔のへんしん写真がとってもいいですね。わらっている顔がじつに良いですよ。
この竹とうろうの灯りとして、お家でてんぷらやフライを作った時のはい油を利用するので、環境にも良いですね。油をすてると下水道などがつまりたりして、みんなのめいわくになります。
油をすてる時は、紙や布でよくふきとって、もえるごみとして出してくださいと県や市からお知らせがありますよね。もやすのだから、みなさんがチャレンジした竹とうろうにしてもやした方が、楽しいですね。
木のえだなどでペンダントを作ったのですね。2つ、写真がありました。とてもゆかいな顔をしています。みなさんのお気に入りのペンダントができたようですね。竹とうろうの顔もペンダントの顔もすばらしい。ワイルドキッズクラブは、ゆかいな顔を作るのが得意なのかな？
はがまでごはんをたきました。少しかたかったのは、水の量が少なかったのかな？私は、こどものころ、よくごはんたきをしました。かまどにかまを置いて、下からまきで火をつけてごはんを作りました。その時に、入れる水の量はどやうやってはかったか？を思い出しました。お米に水を入れて、手のひらでお米をおさえて、手の甲の高さに水を入れました。今は電気すいはんきでたき、中にめもりがあって、そのめもりに合わせて水をいれます。便利になっていますね。こげたごはんは、おこげと言って、ちょっとおしょうゆをたらして食べると、とってもおいしいですね。料理やさんでも、おこげと言って、特別の料金をとって料理の一つになっているくらいですから。
ワイルドキッズクラブのみなさんは、とても良い体験、経験をしましたね。うらやましいです。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
一つ質問があります。たこ糸にはりがねをまきつけたのが、火がつくしんになるのでしょうか。はりがねをアルミはくカップの上のにのせて、カップにあたためたはい油を入れると書いてあります。(④と⑤)たこ糸のついたはりがねを、火がつくしんのようにはい油にさして入れるのではありませんか？カップの上のにのせて、糸が油の中に入れるようにするのですか？いつか教えてください。こんなゆかいな竹とうろうを全国のおともだちにも広めたいので、作り方を知りたいと思いました。次回、チャレンジしたいことも書いてあって、楽しい活動になっているようですね。ただ、ちょっと意味がわからなかったのは、畑、田んぼを育てて食べたい？？？なんのことだろうか？野菜やいねやいちごなどのくだものかな？
来年のかべ新聞が楽しみです。楽しい活動をほうこくしてください。待っていますよ。

山口県山口市 キラキラみらいクラブ 壁新聞のタイトル: 山口の空の下新聞

キラキラみらいクラブ さんへ

師範から一言！

キラキラみらいクラブのみなさん、冬野菜編から春のたんぽぽ、夏の川遊びと盆おどり、登山マラソン、そして秋のさつまいも掘り、また冬が来て雪の形(結晶、けっしょう)を見て感動しました。1年間、季節ごとに楽しい活動をていねいにまとめて新聞を作ってくれました。

一つ一つの活動でおもしろかったことや楽しかったこと、うれしかったことを良く観察して、感じたままを書いてくれました。とっても良い新聞になっています。

プロの包丁() (ほうちょう) 使いを目の前で見られて良かったですね。力を入れないで、すいすいと切っていくプロはすばらしいですね。みんなで作った料理を食べたらおいしかったですね。私も1週間に一度、料理を作ります。どういうわけか自分が作った料理はおいしく感じます。

ヘチマのグリーンカーテンをつくり、育ったヘチマでたわしを作ったのですね。昔は今のようなプラスチックがなかったので、多くの家庭でヘチマのたわしを使っていました。私も昔はヘチマのたわしを使いました。

それとグリーンカーテンをゴーヤで作ることがさかんですね。最後はゴーヤを食べているようです。栄養もたくさんあるようですが、苦いですね。沖縄では良く食べるようです。

登山マラソンとはおどろきました。とてもつらいでしょう、苦しいでしょう。でも終わった後のそうめんをつめたいトマトはさぞうまかったと思います。あせをいっぱいかいたので、水分の多い食べ物は最高ですね！

秋のおちばひろい。モミジやカエデをはりつけて作ってくれました。黄色、赤色など秋の葉っぱはきれいですね。でもどうして秋になると色が変わるのだろうか？そして落ちるのはどうしてだろうか？サポーターの人に教えてもらおうと良いと思います。

秋のもう一つのすばらしさは、実りの秋ですね！さつまいも掘りをしたのですね。大きいさつまいもがとれたようです。私は、さつまいもはやきいもにして食べるのが一番好きです。生でも食べられます。私が小さい時は、戦争が終わったばかりで、食べ物がありませんでした。お米もありません。その時にいつも食べたのがさつまいもでした。さつまいもを食べるとこどもの時を思い出します。

つるかご作りもやったのですね。みんながいろいろな形のかごを作って楽しんだのですね。ネコのかごを作ったようですが、しろちゃんのかごになったのですか？

キラキラみらいクラブ

壁新聞のタイトル: 山口の空の下新聞

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....
たんぽぽが食べられるのは知りませんでした。おいしかったですか？天ぷらにしたようですが、黄色の色は残っているのですか？

蛍を見に行ったようです。私が住んでいる川崎では、6月に見られますが、山口県でも6月ですか？鹿児島や沖縄では8月ごろに見られるようです。蛍を見に行く時は、かいちゅう電灯などで蛍を照らさないようにするのが、蛍のためには良いようです。ちゃんと気をつけましたか？

夏休みはいろいろなことを経験しましたね。合宿にも参加し、川遊びにも行きました。川遊びは大人の人といっしょに行くようにしてください。こわくないよ！安全だよ！と思うと、すべる、とつぜん深くなる、水のりょうがとつぜんふえるなど、意外にあぶないこともあるので気をつけて下さい。

阿東の盆おどり「けだし」ってどんなおどりののだろうか？私も小さいことは炭坑節の盆おどりを良くおどりました。掘って掘ってまた掘って、かついでかついで...と言うように手足を動かして石炭を掘るおどりでした。

雪の形(結晶() (けっしょう))を紙で作ってくれました。雪の形は空の上の温度やしめりけで形がちがいます。どの雪の形も一つとして同じ形はありません。温度がひくくて、しめりけが少なくと六角形の板の形になります。温度がそれほどひくなく、しめりけが多いと枝分かれた六角形の形になります。雪の結晶の研究をした中谷宇吉郎博士は、「雪は天から送られた手紙である」と言っています。空高く天のようすで雪の形が変わり、地上で天のようすが分かるので、そのように言われるようです。

来年も春、夏、秋、冬と季節ごとに楽しい活動にチャレンジして新聞にまとめて送ってください。待っています。



山口県山口市 一の坂川エコキッズ 壁新聞のタイトル:一の坂エコ新聞

一の坂川エコキッズ さんへ

師範から一言！

一の坂川エコキッズのみなさん、私がみなさんのかべ新聞を見て、一番うれしかったのは、京都でのエコクラブで学んだことを活かして、引っ越してきた山口県でエコクラブを作ってエコ活動が続けようとしたみなさんの気持ちであり、考えです。それと新しい街のいいところをたくさん発見したり、自分たちの街がすきになりました、と言う前向きな考え、気持ちがいっぱいでした。

もう一つ、このかべ新聞の素晴らしさは、楽しもう、調べてみよう、やってみよう、作ってみようエコ工作、という4つのテーマにまとめて書いてあることです。分かりやすいですよ！かべ新聞を作りなれているなと思いました。

それにしても、こんなにたくさんの活動をやったのはおどろきです。こんなにたくさんのことをていねいにやったとしたら、勉強する時間がないのではちょっと心配しましたよ。(これはちょっとじょうだんですが……)

5月にさつまいもの苗を植えて、11月にしゅうかくし、そして食べました。自分たちで作った野菜やおいもはどういうわけか、特別においしいですね。私は、3月にじゃがいもを植えました。6月にはしゅうかくできます。とれたての新じゃがいもはやわらかくて、ほくほくしてとてもおいしいです。みなさんと同じでしゅうかくが楽しみです。

やってみよう！ゴーヤでグリーンカーテン作りをやりました。最近ゴーヤのカーテンは人気ですね。苗を売っているお店に、夏前の早めに行かないと売り切れてしまうようです。ゴーヤの苗を大きくするために、せっせ、せっせとお水をやらないとだめですね。

40日後にりっぱなゴーヤができて、エコクッキングで食べたのですね。苦くなかったですか？苦いのが好きな人もたくさんいるようですね。グリーンカーテンの表とうらで温度もはかりました。2℃低くなっていたようですね。グリーンカーテンで温度が下がるのは、陽が当たらないで日陰になるだけでなく、葉っぱがこきゅうをして水分を出すから低くなるようですね。打ち水とおなじ原理ですね。

作ってみようエコ工作でも、ジーパンで花びんを、牛乳パックで飛行機を、はい材でえんぴつ立てを、そしてさき織り体験もおこないました。ジーパンの柄をうまく使ってきれいな花びんができましたね。水が入るところはあきかんとか、あきびんを使ったのですか？

はい材でのこぎりやかなづちを使ってえんぴつ立てを作ったのですね。はじめはだれでものこぎりやかなづちはうまく使えません。でも何回か使っているとじょうずになります。

そのうち自分のいすなども作れるようになると思います。

新しい土地ではじめてエコ活動をこれからもつづけてやると良いと思います。

来年もたくさんさんのエコ活動の報告を期待しています。

一の坂川エコキッズ

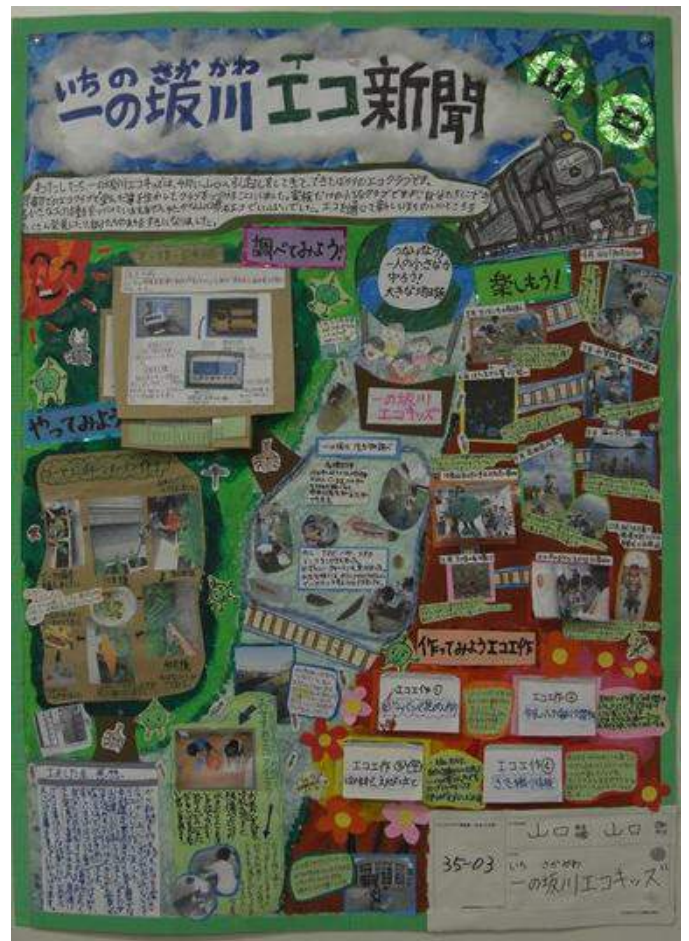
壁新聞のタイトル:一の坂エコ新聞

とっておきのゴシンドウ★……★……★……★……

4月、6月そして8月にごみ拾いをしたのですね。ほかの人がよごしたのを、みなさんはいっしょうけんめいきれいにしたのですね。えらい！えらい！みなさんが拾っているのを見て、ほかの人たちがごみをすてるのをやめようと思ってくれるといいですね。海のごみは川から流れてくると、遠く海の波に乗って外国から来るごみもあるようですね。山口県の海岸には外国のごみはありませんでしたか？

調べてみよう！電力消費と節電対策は、夏休みの1ヶ月間、省エネナビで使用電力と二酸化炭素換算値、それに最高気温も測って、わかりやすくグラフにまとめてくれたのですね。

途中で家をるすにしたり、友だちが来たりで、使用電力の変化がよく分かります。考察と感想を書িয়েくれました。内容はその通りです。これ以上、言うことがありません。暮らしを良く見て、その結果が使用電力量に良く反映されていることが、再確認できたと思います。このようなデータを取ることで省エネ、節電の意識が高まりますね。ところでこの結果は、壁新聞にまとめただけでなく、学校の自由研究としても提出したのでしょね。ぜひ、ほかの家の人にも分かってもらうように、この結果をたくさん利用することをお勧めします。



山口県山口市 平川小学校 エコ委員会
壁新聞のタイトル:平川小 ECO 新聞

平川小学校 エコ委員会 さんへ
師範から一言！

平川小エコ委員会の今年度のテーマは、2つ、「大好き九田川」と「目指せ平小エコ名人」がありましたが、今回の新聞では、目指せ平小エコ名人に関係する活動を紹介してくれたのですね。

エコ委員会の素晴らしいところは、わたしたちができるエコ活動、エコ委員会ができる活動と言うところです。何が素晴らしいかって言うと、せのびをしないで、自分たちができる、身近な活動をしていることです。大きな目標、高い目標を作ってやろうとすると、とちゅうでいやになったりして、長続きしません。

今回、5つのエコ活動を報告してくれました。みなさんたちがふだん、気になっていることをやったようですね。

緑のカーテンが立派にできましたね。1階部分は完全に緑でおおわれていますね。さぞ、すずしかったのではないのでしょうか？これだけ立派に成長させるには、水やりをさぼらないでちゃんとやったのだと思います。えらい！！

来年のかべ新聞には、どんなことが書いてあるのかな？楽しみに待っています。



平川小学校 エコ委員会
壁新聞のタイトル:平川小 ECO 新聞

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

食べ残しをしない、これはむずかしいのでは、と思いましたが、6年2組は10月に食べ残しがゼロにできたようで、ビックリです。食べ残しをゼロ、少なくするには、食べる前に自分が食べられる量をしっかりと分かって、その量だけをもらうようにすることがポイントのようですね。

日本では、自分の国でとれるしょくりょうが少なく、外国からたくさんの食料を輸入しています。それなのに、食べ残しがたいへん多いようです。食料がなくてこまっている国もあります。そのようなことから、みなさんの残食0運動は大変かちのある運動だと思います。ぜひ、続けると良いと思います。

もう一つ、私からの提案です。このおかずは食べたくないと言って、量をへらすのはよいことかな？好ききらいをなくすのもいいですよ！何でも食べて、そして食べ残しがゼロをめざして、みんなでがんばろう！

「つくし新聞」とは、新聞を回収して、花や植物にかんげんする活動ですね。校庭が花や植物でいっぱいになるように、みんなで新聞を回収するのは、やりがいもありますね。ところで“つくし”と言う名前をつけた理由、わけはなんですか？

エコパトロール、ごみゼロ運動も学校の中でやっているようで、良いやり方だと思います。まずは自分たちの足元からエコ活動をやることが大切だと思います。ごみ拾いをやったら、忘れ物も見つけました。良かったですね。持ち主はわかったのですか？

活動をふり返って、大変なこともあったようですが、楽しいこともあったようで良かったと思います。みなさんの活動で学校がきれいになったり、ほかの児童がよろこんでくれたりすることが、みなさんの活動のエネルギーになります。

むりをしないで、自分たちがやれることを地道に続けることが大切です。委員会のみなさんの活動は、たいへんすばらしいことです。自信をもって続けると良いと思います。

山口県下松市 ほしふるまちのこどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:「つくる」からはじめる エコクッキング

ほしふるまちのこどもエコクラブ さんへ

師範から一言！

ほしふるまちのこどもエコクラブのみなさん、こんにちは！みなさんが作ってくれた「つくる」からはじめるエコクッキングのかべ新聞は、とってもビックリし、とってもすばらしいかったです。

みなさんがサツマイモのなえをうえている写真や、水やりをしている写真、草とりをしている写真、くわをふるって土をおこしているすがた、おいもが山となってとれた写真など、みなさんのかっこういいすがたがいっぱいうつっていました。とってもあつかったのでは、ありませんか？おいしそうにスイカを食べていますね。あせをいっぱいかいた後のスイカはかくべつのおいしさがありますね。それにアイスクリームも食べることができました。おイモもおいしいけれど、アイスクリームはもっとおいしかったかな？

おいもをほりだす時は、とても力がひつようだったようで、先生に手伝ってもらったようですね。おいももほり出されてはたいへん！と、土の中にがんばっているの、かんたんにはほり出すことはできないようですね。

ずきんをして料理をしているみなさんのすがたもかっこういいですね。いもの天ぷらを作ったのですね。私も料理をしますが、油をつかう料理は、私の奥さんから、まだゆるされていません。あぶなくて見ていられないようです。でも、みなさんは、ころもをつけて、3つにかためて、フライパンにいれました。おいしいスティック形のいも天ができたようですね。やけどしないように、火と油には気をつけてね。さつま汁も作りました。コロッケも作ったのですね。いも天もさつま汁もコロッケも私は好きです。いっしょに食べたかったな。さつまいもやにんじんを切るのでほうちょうも使ったようですね。ニンジンのかたくて切るのがたいへんだったと思います。3年ほど前に、くだもんでんちをつくる実験をした時に、ニンジン切る時にけがをしたお友だちがいました。かたくてなかなか切れずに、手がすべってしまったようです。みなさんは、けがをしなかったですか？

食べ終わって、かたづけもしました。しょつきをあらう時は、水を出しっぱなしにしない。ふく時はふきんをよくしぼってふく。とってもよく考えてやりましたね。すばらしい！！

じっさいに料理をする、かたづけをするという経験をしたので、みなさんはお家でもお手伝いができそうだと考えましたね。お家の人もよろこんで「お手伝いをしなね」、というでしょう。

エコポイントをまとめてくれました。春、夏、秋、冬、きせつごとのやさいやくだものをつかう。むだな所を出さないように全部、料理につかう。熱をにがさないようにフタをする。あらうときなど水をながしっぱなしにしない。ガスの火も強くすればよいことではなくて、中火、弱火など調節して料理をする。そのとおりです。みなさんは、じっさいに料理やかたづけをして、このようなことをマスターしたようで、すばらしいです。

ほしふるまちのこどもエコクラブ

壁新聞のタイトル:「つくる」からはじめる エコクッキング

とっておきのゴシンドウ★……★……★

何にビックリし、何が素晴らしかったかというと、いものうえつけから、草とり、しゅうかくをして、しゅうかくしたさつまいもで料理をして、食べて、そしてかたづけまで、全部をみんなでしたことです。

種をうえて、育てることだけ、あるいは、エコクッキングで料理をして食べるまでとかは、よくやりますが、みなさんのように、サツマイモを育てることから、エコクッキングをして、最後にかたづけまでやって、エコってなんだろうと考えた活動は、全国でも少ないのではないかと思います。

みなさんの1年間の「つくる」からはじめるエコクッキングの活動は、たいへんすばらしく、これからの生活にもいろいろなことに利用できることがわかりました。いっぺんに全部やることは、必要ありません。自分でできることから、すこしずつやるようにすると良いと思います。

みなさんのすばらしいかべ新聞を見せてもらいました。来年のかべ新聞は、どんな新聞を送ってくれるのか、とても楽しみです。待っていますよ。



山口県岩国市 グリーン・ジュニア・エコ・クラブ
壁新聞のタイトル未来へとどけ杭名の緑

グリーン・ジュニア・エコ・クラブ さんへ
師範から一言！――

グリーン・ジュニア・エコ・クラブのみなさん、未来へとどけ杭名の緑のかべ新聞には、みなさん一人ひとりが考えたこと、かんじたこと、こうしたいことなどを書いてまとめてくれました。すばらしいかべ新聞になっています。

マツダ体験で自動車工場に行ったのですね。そこでは、車の性能を高くするやり方や環境をよごさない車について、勉強しました。

よごれた排ガスを出さない、あるいはよごれた排ガスが少ない車は、電気自動車だけでなく、ハイブリッド自動車、メタノール自動車、天然ガス自動車なども見学したのですか？空気をよごさないために、このような自動車がふえると良いですね。杭名のまちの中で見られる低排出ガスの車は、何ですか？ハイブリッド自動車と天然ガス自動車は見られると思います。電気自動車は走っているかな？メタノール自動車はどうだろうか？そんな目で自動車を見ても良いですよ。

ちょっとおもしろい感想も書いてありました。工場見学に行って、車のことをいろいろと学んだ結果として、空気をよごさないためでしょう、車に乗る時をへらしめず。とお友だちが書いてくれました。自動車会社の人は、こまったな一と思っているかも知れません。

でも、お友だちは、ひとつようなない時は乗らないようにしようと考えているのだと思います。その考えで OK です。

田植えをやって、米作りのたいへんさ、苦労さを知ったのですね。お米をたいせつにします、農家の人に感謝してお米を食べます、とっても良いことが書いてありました。お米を大切に、食べるとは、どのようにすることかな？私は、ごはんがかわった時にお茶わんの中にお米がひとつぶでも残らないようにしています。農家の人が苦労してそだてたイネ、お米ですからそまつにはいけませんね！

未来へとどけ杭名の緑、来年はどんな活動ほうこくがあるのでしょうか？楽しみに待っています。



はばたけ★グリーンジャパン
壁新聞のタイトル: 未来へとどけ杭名の緑

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

自然観察で岩国で見られるどうぶつと鳥もまとめてくれましたね。みなさんは、これらのどうぶつや鳥を見ましたか？どこで見ましたか？私はヒーヨ、ヒーヨと鳴くからヒヨドリだと見分けています。ホオジロ、モズの鳴き声もわかりましたね、ツグミやシジュウカラはどういう声で鳴くんだろう？私の家のまわりでは、今、春にはウグイスをはじめ、ヒヨドリ、シジュウカラ(ツーピー、ツーピーと聞こえます)、カワセミ、ガビチョウ、ホトギス(トッキョ キョカキョクと聞こえます)、ツバメ(土くって、虫くって、シブーイと聞こえます)などたくさんの鳥が鳴いています。朝早くから鳥の声で起こされます。鳥がたくさん鳴いている、みなさんが住んでいる杭名の自然をこわしたくないですね。

夏は、グリーンカーテンで少しでもすずくしようという活動はすばらしいです。実際に温度をはかってみると2℃温度が低かったようですね。グリーンカーテンで日ざしがさえぎられることと、葉っぱから水分がじょうはつするので温度が下がるようです。森の中ですずしいのも、同じことですね。ビルの屋上に芝生をうえて、屋上緑化をすると20℃くらい下がるとのほうこくもありますよ。

自然観察会に行って、葉っぱなどで、本物そっくりなごはんを作ったとのこと、めずらしい体験ですね。写真に写っているのが、そうですか？もっと大きく写して、みなさんのけっさくを見たかったな――。

山口県岩国市 杭名エコクラブ6年
壁新聞のタイトル:杭名の緑は∞

ひろげよう グリーンジャパン さんへ
師範から一言！

ひろげようグリーンジャパンのみなさん、！杭名の緑は∞！
のかべ新聞でみんながやった川の水質しらべ、ごみのかつ
どう、そして水をきれいにするじっけんを報告してくれまし
た。ちょっとむずかしいかつどうだったとおもいますが、みな
さんのしんけんな、そして何でだろう？という、こうきしんあ
ふれるかつどうの結果がしっかりと書いていましたよ。
門前川と錦川の水しつ調べは、マーブリングとパックテスト
とコーヒーフィルターでの3しゅるいでやったのですね。どの結
果も門前川の水がきたない、錦川の水はきれいとなりましたね。
3しゅるいの調べに使った水は、同じ水ですよと写真
で見せてくれました。調べをやる時の一番、だいじなこと「同
じ水をつかう」をちゃんとやっている、すばらしいですよ。
ごみひろいをするだけでなく、みなさんはポスターを作って、
いろいろなところにはったのですね。すばらしいかつどうだ
と思います。ごみをすてないように、ずーとみはっているわけ
には、いけないので、ポスターは役に立ちますね。



杭名エコクラブ6年
壁新聞のタイトル:杭名の緑は∞

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

パックテストはじょうずにやれましたか？2回チューブをつぶすことをやりますが、2回目に水の中でつぶしてしまう失敗がよくあります。みなさんは、失敗しませんでしたか？それとチューブを水の中に入れる時に指が水の中にはいると、指のよごれがはいってしまい、結果がまちがってしまうこともよくあります。

錦川での水生生物の調べもじょうずにできたようですね。生きている生き物のしゅるいで、水のきれいさ、きたなさがわかりますね。ヒラタカゲロウやカワゲラはきれいな水にすんでいます。ヒラタドロムシやコオニヤンマ、ゲンジボタルなどは、ややきたない水にすんでいます。みなさんも大好きだろうと思いますが、アメリカザリガニは、とてもきたない水でも生きられる生き物です。調べた結果、去年より水がきれいになっているようで、よかったですね。このようなきれいな水のままだにするのは、どうすればよいでしょうか？

木炭で水をきれいにするじっけんはうまくいったようですね。木炭には、小さなあながたくさんあいていて、そのあなによごれがはいって、水がきれいになります。今回のじっけんでは、木炭に水をいれて、ずっと置いておくと長い時間で水がきれいになりました。この次は、ガラス管やビニールチューブに木炭をつめて、上からよごれた水を流し、下から出て来た水を集めるほうほうでやると、やはり水がきれいになります。ただし、このほうほうでやる場合は、水を流す速さをゆっくりとさせることが必要です。じっさいに水道水などを作っているじょうすい場では、活性炭(かつせいたん、木炭と同じせいぶん)でそのように水を流しながらきれいにしていますよ。活性炭は木炭にくらべて小さなあながとってもたくさんあるので、よごれを短い時間で取ることができます。

水をきれいにするやり方をみんなで考えてみるのもおもしろいでしょう。すなや土でもきれいにできます。コーヒーフィルターでもきれいにできますよね。このようなやり方は「ろか」といいます。それ以外にどろをしずめる薬品もあります。みんなでくふうしてみましょう。

来年はこんなことにちょう戦するよと、みなさんが書いてくれました。今回のやり方や場所で続けて調べて、年ごとにどう変わるか？あるいは、場所をかえて調べてみる。門前川がなぜ、よごれているのかを調べるのもよいでしょう。

ぜひ、みなさんでちょう戦して、わかったことを来年のかべ新聞で教えてくれるとよいと思います。待っていますよ。

山口県岩国市 杭名エコクラブ5年
壁新聞のタイトル:キレイにしよう にしき川

みんなで錦川をきれいにし隊 さんへ

師範から一言！――

みんなで錦川をきれいにし隊のみなさん、みなさんがひろったごみをえにしてたくさんかいたすばらしいかべしんぶんをおくってくれて、ありがとう。

5月10日と6月14日、10月4日の3回、にしきかわにごみひろいに行ったのですね。バケツをもったおともだち、ごみをとるはさみをもったおともだち、どっかにごみがおちていかなーとさがすおともだち、みんなかつこういいですねー！

ひろったごみのしゃしんがありました。みんながかいてくれたごみもたくさんありました。いちばん、大きかったごみは、とうゆのいれものだったみたいですね。ビニールふくろのごみもたいへん多かったようですね。カップめんのカップやけしょうひんなどがはいっていたぶらすちっくのいれもの、のみものあきカン、おかしのかき、たばこのすいがらもあったようですね。マッチ、ライターもありました。ちょっとわからないぶひんやひももありました。みなさんがひろったごみはたくさんあったようですね。

このごみは、川のじょうりゅう、上のほうからながれてきたのしょう。みなさんがさがした所でみつかったごみのほかに、かりゅうへながれて行ったごみもあるとおもいます。こんなにごみが多いと、にしきがわもないているかもしれないね！にしきがわの中にいるさかなや虫も“いやだなー”っていっているとおもいます。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ビニールのふくろが海までながれて行くと、かめさんはビニールのふくろをくらげだとおもって、ビニールふくろをたべようとするそうです。ビニールふくろのどにつまんで、しんでしまうこともあるようです。つりいとはなかったですか？つりいと足などがからまって、こまっているとりもたくさん、いるようですよ。たくさんの方々が、いっているようにごみのない錦川にしたい、ごみひろいをしなくてもよい錦川にしたい。そのとおりですね。みなさんはごみひろいをして、よくわかったので、ごみをすてないようにしたいきもちがつよくなりました。おとなやほかの人もごみをすてないでほしいですね。おとなのひとや町の人々が、ごみをすてないようにするには、どうしたらいいだろうか？これからは、錦川だけでなく、まちの中のどうろのごみもなくしたいですね。みなさんがさいしよにできることは、おうちの人にごみをすてないようにおはなしをすることです。

つぎのかべしんぶんは、どんなことがきじになっているのだろうか？まちどおしいですよ！

徳島県三好市 ホタルと共に暮らし隊

壁新聞のタイトル:ホタル隊新聞～豊かな自然とくらす知恵～

ホタルと共に暮らし隊 さんへ

師範から一言！――

・ホタルと共に暮らし隊の皆さんは、中学校を主なフィールドに様々な活動をされています。さすが中学生！細かい字でたくさんの方々の活動について、丁寧に書かれていますね。見ごたえたっぷりです。さらに、この中にホタルが何匹いるかというクイズもあり、遊び心もあります。長時間見ていて飽きないかべ新聞です。それに、池田中学校の写真をみて、どんなところなのかがパッとわかりました。・学校農園での野菜作りは、流れが細かく丁寧に書いてあり、写真も添えてありとてもわかりやすいです。野菜作りの難しさも伝わってきました。きっと収穫できた野菜は、とてもおいしかったことでしょう。

・省エネ省資源の活動では、全校集会で呼びかけをしたり、多くの方が通る場所に環境掲示板が設置してあって、情報発信ができるというのは、活動全体の強みですね。掲示内容も、電力等の使用量や削減目標が分かりやすく掲示されていてすばらしいです。

・ふりかえりで、みなさんがそれぞれ「自分にとってホタル隊の活動はどうだったのか」をしっかりと考えられていますね。次の活動に繋がっていている様子が良く分かります



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

・スイッチに節電のステッカー、ゴミ箱にごみ減量のステッカーを設置するアイデアはとてもすてきだと思いました。もしもう工夫するなら、ステッカーの内容を、より面白くなるように考えてみるのも良いと思います。例えば、節電ステッカーなら「この教室を3時間付けっぱなしにすると、OKwhの使用電力(電気料金〇円)がかかります」なんて書いてあったら、こまめに電気を消すと具体的にどうなるかがわかって、より協力してもらえるのでは？学校全体の量についても重要ですが、個別具体的にこうしたらどうなるということも、伝えることで人の行動が変わることがありますよ。みんなが「おっ！」と思えるような内容を考えてみてくださいね。

・サギソウプロジェクトに、朝日新聞の記事を貼り付けてあります。こういう風に、自分達の活動が周りの人たち(学校の生徒や先生、地域の人、報道関係)からどう受け止められているのかという視点があるのは、とてもいいですね。自分達の視点だけでなく、周りの人たちに聞いてみたことも、活動の参考にしてみてください。

これからもすてきな活動がんばってくださいね！

★盛りだくさんの活動で、字が小さくなるようなら、かべ新聞を2枚に分けて書いてもいいと思いますよ！

香川県高松市 シオンエコサイエンスクラブ
壁新聞のタイトル:環境を守る

毎年活動を続けて、皆さんががんばっている様子が伝わります。メダカやザリガニの調査といった自然の中で学ぶことだけでなく、リサイクル工作など室内でできる活動もあって、色々な視点を持って活動することができてよかったですね。
スライム時計は私もあまり聞いたことがないのですが、面白そうですね。カラフルなスライムを作って、皆さんのお気に入りの時計ができたのかな。



とっておきのゴンドウ★.....★.....★...
どちらのかべ新聞も、内容が詳しく書かれていて良いと思いますが、写真にもタイトルやキャプションがあるともっとわかりやすくなると思います。
メダカやザリガニの調査については、なぜこの活動をしようと思いましたか？昔はどこにでもいたメダカが、環境の変化で最近ではなかなか見かけなくなったことからこの活動は始まっていると思いますが、社会全体ではそのような話を知らない人も多いと思います。メダカが今、注目されている理由(背景)を書くと、皆さんの活動の魅力、特に毎年続けていることの価値がよく伝わると思いますよ。

香川県善通寺市 善通寺こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:善通寺五岳の里市民集いの丘公園
に生息する昆虫たち

カラフルで人目をひくかべ新聞ですね。文字もはっきり書いてあってとても読みやすいです。その昆虫の特徴がわかるようにイラストが丁寧に描かれていて、良いですね。
夏秋合わせて 50 種類以上の昆虫を見つけたというのは、なかなか大変でしたね。でも、いろんな昆虫が発見できて、楽しかったのではないのでしょうか。

とっておきのゴンドウ★.....★.....★.....★.....
考察の中に、草食性の昆虫と肉食性の昆虫のことが書いてあるので、そのくくりで昆虫のイラストを配置してみてもいいかなと思います。また、近くの田んぼなど、農薬を使っているところでも同じような調査をしてみてもどうでしょうか。見つけた昆虫の種類や数に違いがあれば、この公園の多様な生態系が価値あるものだということが、もっとよくわかると思います。



愛媛県松山市 フジこどもエコクラブ愛媛
壁新聞のタイトル:伝えよう!ここからみんなへ

フジこどもエコクラブ愛媛 さんへ
師範から一言！

かべ新聞の中央を横断(おうだん)する足型は初めての作品ですね。一つで1年の活動をあらわしているの、一歩一歩が大変貴重(きちょう)な足跡(あしあと)だと言うことがわかります。わたしはこれだけでも充分(じゅうぶん)感動しています。
この体験活動を見ているとやはり五感を使って、手や足を、道具を使って自然の中で活動することの大切さを思いますね。みなさんの10年間はきっと小さい子どもたちにも引き継(つ)がれると思いますよ。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
取り上げた話題は4つですが、どれもとても大切なことを伝えようとしています。アライグマを責任(せきにん)をもって飼(か)う、海ゴミを流さないようにしよう、自然とずっと関心をもった生活をする、自然の中であそぶこと、の4つです。もう一つ、残飯をださないBBQをみんなで作ってみる食育体験も載(の)っていますよ。

愛媛県伊予市 伊予市グリーン eco クラブ
壁新聞のタイトル:伊予市グリーン ECO クラブ2012

伊予市グリーン eco クラブ さんへ
師範から一言！

大きく4つのテーマを取り上げてくれました。見学会ではメガソーラー、エコハウス、原子力保安研修(けんしゅう)所、東シを見学しています。おひさまカフェでは、地元栽培(さいばい)のポップコーンと防災ご飯作りの食育体験をしています。
最も注目したのは一番下(した)に書いてある「エコ俳句(はいく)(はいく)」です。かべ新聞では珍(めづ)らしい試みですね。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
「エコ俳句」のように環境(かんきょう)とは異(こと)なる芸術(げいじゆつ)で環境を表現(ひょうげん)して伝えようとすることは複合(ふくごう)した事柄(ことがら)を伝えるにはとても良い方法です。俳句には季語があり、一つのことばで季節を的確(てきかく)に表現することが出来ます。
さすがに俳句の盛(さか)んな土地柄(がら)と感心をしたところです。みなさんの俳句も上手ですね、これならすぐに記憶(きおく)に残ります。とても良いものをみせてもらい、とてもハッピーです。

高知県高知市 フジこどもエコクラブ高知
壁新聞のタイトル:1年間の活動まとめ

フジこどもエコクラブ高知 さんへ

師範から一言！

えがおがいっぱいうった、たくさんの写真で、みなさんが元気に活動しているようすがよくわかります。
活動は、1年かけてお米や、野さい作りにとりこんでいますね。収穫された野さいをつかって料理をしてみんなでいただいたんですね。作業のようすが写真からわかります。
自分たちでつくった野さいの味はどうだったかな？汗をかいていっしょうけんめい育てた野さいはとってもおいしかったと思います。
工石山での合宿ではうどんを自分たちでうったのですか？こねるのも切るのもたいへんだったことでしょう。けっこう力がいらいます。でも食べた時の味は最高だったんだらうな。
農作物をつくり、加工してたべること、むかしから人の手で行われてきたことだね。
たくさんの自然体験ができてすばらしい1年になりましたね。これからも元気に活動をしていってください。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

フジこどもエコクラブは、毎年新しいメンバーで活動しているのでしょうか。いろんな活動は楽しいです。ここで一步進めて、「つづける」活動も考えてみてはどうでしょう。毎年同じことをやってみる。そしてその変化やちがいを見つけてみる。そんな活動もできるといいなあと思います。ぜひちょうせんしてみてください。

高知県香南市 Happiness
壁新聞のタイトル:よみがえれ！物部の森新聞

Happiness さんへ

師範から一言！

黒地に白い文字でしっかりと書かれた新聞。圧倒されるようなすばらしい壁新聞です。見た目にもインパクトのある新聞ですが書かれている活動内容はもっとすごいです。シカから森を守るために大人の方々から指導を受けています。ただ教えてもらうだけでなく、それを生かして大人と一緒に、再生基地の取り組みや、シカから木を守るためのシカ柵やラス巻き作業などの力のいる作業にも積極的に取り組んでいます。すばらしいですね。こんな悪者ともいえるシカの命も最後まで大切にちゃんと生かすことも考えてくれ、そのための学習もしています。
もう一つすばらしいな、と思ったことは、自分たちがいいな、と思ったことをチラシにしてまわりのみんなにも知ってもらえる取り組みをしていること。そして、これらの活動の仲間を「家族」と考えて、小さなメンバーを育てていること。ほんとうにすごいなあと思います。
この活動がこれからもずっと続いていくことを期待しています。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

植生調査は今後も継続して調査していくんですね。ぜひ続けてください。うまくいってもいなくても、何年後には大きな成果となるでしょう。たのしみです。



高知県香美市 香美市こどもエコクラブ ハッピーコロリン
壁新聞のタイトル:ハッピーコロリン活動すごろく

ハッピーコロリン さんへ

師範から一言！

紙面いっぱいのおおろく、すごいなあ。とてもいい表現方法だと思いました。
このすごろくをたどることでみなさんがこの1年間、いつ、どんなことにとりくんできたのか

とてもよくわかりました。

やったことはもちろんだけど、うまくいかなかったことや、それにたいして、つぎはどんなふうにやろうかということもわかりました。

メンバーが増えたことなどのうれしいじょうほうも書かれていて、みんながうれしいのはもちろんだけど、読んでいるほうもとてもうれしくなりましたよ。それぞれの活動の紹介では、その活動をすることになったきっかけや、エコクラブの活動が

たのしくてたのしくてしょうがないってことが書かれていました。みなさんのエコクラブにたいするあつい思いが伝わってきました。うれしかったな～。物部川の川まつりは中止になってしまってざんねんだったけど、みんながたまごやきを作れるようになったことは大しゅうかくだったね。「やってみる」ってとっても大事なことだと思います。

これからも元気にいろいろなことを「やってみて」ください。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

おにいさん、おねえさんが活動しているようすを近くで見ることができていいですね。これからどうやっていこうかな、って不安になったときにおしえてくれるひとが近くにいるというのはほんとうにうれしいことです。見よう見まねから、ハッピーコロリン独自の活動が持てるようになっていけるといいですね。



高知県香美市 香美市こどもエコクラブ ミドレンジャー
壁新聞のタイトル:しぜんをまもる☆ミドレンジャー

みどれんじゃー さんへ

師範から一言！

今年から取り組みを始めたクラブさんだとか。一年目にしてたくさん活動にとりくみましたね。そしてどれも楽しそうです。

ハロウインのカボチャのちょうちんのろうそくのあかりはきれいですよね。食べられる草で作った料理もとってもおいしそう。たくさんのレシピも紹介してくれています。しぜんのもので作ったリースもすてきです。なによりすてきなものは、どれも笑顔がいっぱい！！

ゴミひろいをしていたらほめてくれたとのこと。うれしかったね。地域の大人の人もみどれんじゃーの活動をみまもってくれているんですね。

また、食べられる草やリースの材料、それにジャコウアゲハ。みどれんじゃーのみなさんの住んでいる地域はとっても自然がゆたかなんだなということもわかりました。

活動は楽しみながら取り組むのが長くつづけるコツです。これからもつづけていきたいこと、あたらしくやりたいことなど、やりたいことがいっぱいのみどれんじゃー。

これからもたのしくげんきにつづけていってください。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....

食べられる草は、どなたにおしえてもらったのでしょうか。野外には危険な植物もあります。よく知っている方に指導していただいて安全に楽しんでくださいね。

来年は二年目になります。一年目とくらべて今年はどうだったか、どんな変化があったか、感想も聞きたいな。楽しみにしています。



福岡県北九州市 たぶのきエコキッズ
壁新聞のタイトル:たびエコ新聞2012

師範から一言！――

たぶのきエコキッズのみなさんは、街で美化活動をしたり、環境ミュージアムへ行って学習したり、家の庭でトマトを作ったり、エコクッキングをしたりと、色々な場所で様々なテーマの活動に取り組んでおられる様子がよく分かります。「学ぶ」「実践する」「広める」と、とてもバランスよく活動されてますね！

かべ新聞はテーマごとにまとめられ、写真や文章のレイアウトがすっきりしていて、わかりやすいです。そして、活動の報告だけでなく、感じたことやこうなったらより良くなるのになという意見がそえられていて、そのコメントがとても感性豊かで、すてきだと思いました。
(私は何年か前に環境ミュージアムに行ったことがあるのですが、かさ袋が使い捨てではないことは今回初めて知りました！ それから、エコイベント後の美化活動ではあまりごみは落ちていなかったという記事には、はっとさせられました)

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

例えば、たぶのき公園清そう活動では、清そうだけでなく、ごみを分別して気づいたことを発表されているところが素晴らしいと思いました。そこでさらに、どんな発表があったのかなどについても書いてあると、壁新聞を読んだ人が、まるで一緒に活動したかのように感じられて、みなさんの気づいたことを共有することができると思います。
すてきな活動をたくさんされていますので、「これは特に、他の人にも広めていきたい！」と思った活動については、もう少し細かいところまで記事にすると、壁新聞を見た人に「なるほど」「私達もやってみようかな」という風に伝わり、広まっていくと思います。

それから、留学生の方との活動など、たぶのきエコキッズ以外の人との活動で気づいたことについても、ぜひ詳しく知りたいと思いました。みなさんの視点と同じところはどこか、違うところはどこかについて、一度、意識してまとめてみてください。きっと面白い内容になると思います。



福岡県筑紫野市 エコまめクラブ
壁新聞のタイトル:エコまめしんぶん

師範から一言！――

4さい、3さい、3さいのきょうだいでつくっているエコまめクラブでは、おうちでできるエコなことをたくさんしているのですね。
のうえんでトマトをそだてたり、うみべでいきものとふれあったり、のびのびかつどうされているようすがよくわかります。カメのうえにのって「うらしまたろう」など、とってもステキでうらやましいです。これからも、いろんなどうぶつ・しょくぶつをみたり、さわったりして、かんさつしてみてください。(わたしは、かべしんぶんにかかれています、ザトウクジラのえが とくにきにいりました。せんすいかんも、ノコギリザメも、とってもかっこいいですね！)

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

でかけるときは、すいとうやおはしをもっていったり、おえかきはこうこくのウラにかいたり、4さいや3さいでも、エコかつどうはたくさんできますね！ わたしのうちにも、5さいと0さいのこどもがいるので、エコまめクラブのみなさんのまねをしたいとおもっています。そこで、まねをするときのさんこうに、おしえてほしいとおもったことがあります。エコまめクラブのみなさんが、とくにすきなとりくみはなんですか？ かんたんにできることはどれですか？ むずかしいとおもうことはありますか？

つぎにかべしんぶんをつくるときに、ぜひかいてもらえるとうれしいです。

それから、のうえんでできたやさいを、とってすぐにたべたことはありますか？

はたけでトマトをたべると、たいようであたたまったあじがします。うちでひやしてたべたときのあじとちがって、おもしろいですよ。あじくらべをしたことがなかったら、いちどやってみてくださいね。



福岡県春日市 のぼりエコくらぶ
壁新聞のタイトル:エコと食育新聞

師範から一言！――
のぼりエコクラブのみなさんがやっている、げんきやさいづくりって、すごいですね！ つちづくり、たねまき、そだててしゅうかくと、ぜんぶするのは、おひやくしょうさんとおなじですね。やりかたがくわしくかいてあって、わかりやすかったです。かべしんぶんをみたひとが、まねをしてやってみることができますね。
ほかに、リサイクルかいしゅうやプルタブあつめなど、うちのひとときょうりよくして、いろんなエコかつどうをしているのですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....
★.....★...

やさいづくりをしていて、どんなことがたのしみですか？ くらうすることはありますか？ つくったやさいはたべましたか？ どんなあじでしたか？
やりかただけでなく、どんなふうにしたのしいのかがかいてあったら、「わたしもやってみよう」とおもうひとが、さらにふえるかもしれませんね。
それから、リサイクルおもちゃは、どんなおもちゃがおもしろくてにんきですか？ のぼりエコクラブがおすすめのおもちゃがあれば、ぜひおしえてください。

☆☆サポーターの方へ☆☆

土づくりからのこだわりが伝わってきました。生ごみ分解時の熱まで子どもが体感できるというのは、すごいですね。元気野菜づくりを通して、子どもたちは四季を感じ、驚いたり発見したり、苦労したり、収穫を喜んだり、食べる喜びがあったりと、素晴らしい体験をしているのでしょう。子どもたちの反応や感想も、土づくりの時と収穫の時では、ずいぶんと変化していくのではないのでしょうか。そんなところも少し紹介があると、この素晴らしい取り組みの魅力が、さらに伝わるような気がします。



福岡県春日市 くるりんぽん
壁新聞のタイトル:春日市立須玖保育所エコ活動

師範から一言！――
エコ・コンサートも、エコトンもったいないばあちゃんのおはなしも、とってもたのしそうです。くるりんポンのみなさんは、みんなでいっしょにたのしいきもちでエコのことをかんがえて、かつどうしているのですね。
ぎゅうにゅうパックからハガキをリサイクルでつくるようすは、ほんものがはってあって、とてもわかりやすいです。
こうくも、ビーズをつくってブレスレッドにしたり、かべしんぶんのかざりつけにつかったりと、くふうしだいでかつようすることができるんですね。
はいゆキャンドルのつくりかたも、とてもわかりやすいです。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....
ぎゅうにゅうパックからハガキをつくったり、はいゆキャンドルをつくる時に、どんなところがおもしろかったですか？ むずかしかったところがありますか？ みなさんのかんそうがかいてあったら、まねをしてつくってみようとおもうひとがふえるとおもいます。それから、エコ・コンサートでは、どんながつきができましたか？ どんなうたやおどりをしたのでしょうか？ くるりんポンのみなさんのおきにいりのうたやおどりはあるのでしょうか？ ぜひしりたいです。

☆☆サポーターの方へ☆☆

「子どもたちが楽しんで取り組める」ことを大切にされている様子が伝わってきます。リサイクル工作などは、できた！という子どもたちの満足感もあるのでしょうか。コンサートやイベントの時だけでなく、きっと普段の生活の中で、歌って踊って体を使ったり、物を大切にしたりされているのでしょうか。そんな普段の生活の様子の紹介などがあると、イベント時との繋がりも見えて、活動の深みが伝わると思います。



佐賀県佐賀市 イオン大和チアーズクラブ
壁新聞のタイトル:佐賀の「がばいよか ECO」新聞2012

イオン大和チアーズクラブ さんへ
師範から一言！

エコキャンドル作り、食品工場見学、24時間テレビチャリティ募金(ぼきん)、バルーンフェスタなどたくさんの活動を見ました。みなさんの熱心な表情(ひょうじょう)がとてもいいですね。
また、南島原では植林をしています。「去年と樹(き)の本数は同じなのにけっこう疲れ(つかれ)た」と書きながら「ものすごく楽しかった」と結んであります。体験することの大切さがこれでわかるとおもいます。この面白さを活動のまとめでちゃんと整理してくれました。長文ですが、次の世代につないでいくためにはとても大事な仕事です。ご苦労さまでした。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....
食品工場へ見学に行き、資源(しげん)別に8種類のリサイクルを勉強していますが、かなり綿密(めんみつ)に質問(しつもん)をしないとこの報告(ほうこく)はかけませんね。ていねいな取材がこの記事を支(ささ)えていることになりました。



長崎県佐世保市 信愛学童エコクラブ
壁新聞のタイトル:

1年間にずいぶんいろいろな活動ができましたね。それを1枚の壁新聞としてまとめる作業は大変だったでしょう。ひとつひとつの記事が、色がちがう線で囲んであるので、とても読みやすいです。
コスモス10号っていうことは、もう10年間も続いているっていいことですね。すごいです。
皆さんは学童クラブの先生方に見守られて、しっかりと1年間のスケジュールを立てていただき、いろいろな活動ができてうらやましいです。
壁新聞が絵日記(写真日記?)風になっていて、写真と説明があるのでとてもわかりやすいです。皆さんの活動の様子が手に取るように伝わってきます。
ひとつひとつの記事を読んでいると、皆さんたちがずいぶんいろいろな活動をしていることがわかります。屋内の活動と屋外の活動、昼間の活動と夜間の活動、学童クラブ内の活動と別の場所へ行っての活動、教えてもらう活動と自分で体験する活動、自分のための活動と人々のための活動、1日(短い時間)で終わる活動と泊りがけの活動、こうして書いてみるとずいぶん活動にも種類がありますね。皆さんたちはこれらのすべてを体験できたのです。素晴らしいことです。学童クラブの先生に感謝ですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

今回の壁新聞は学童クラブの先生がまとめてくださったのですか。学童クラブのお友だちは、先生にいろいろ注文をつけて、こうして、ああしてとそばで意見をいったのでしょうか。
次回は自分たちで記事をまとめて、新聞づくりの楽しさをさらに知るとよいと思います。
次回の壁新聞を楽しみに待っていますよ。

**長崎県佐世保市 マミー保育園マミー学童エコクラブ
壁新聞のタイトル:ささがわ・サイコー!!**

わあ! ほいくえんの おともだちみんなで ようふくをきたまま だいすきな ささがわへと びこんでしまったのですか。マミーほいくえんの みなさんが だいすきな ささがわ。せんせいといっしょに ささがわへ いって たのしい じかんをすごしたのですね。みなさんが ささがわで いろいろなことをして あそんだことが とてもよくわかります。そして みなさんだれもが ささがわを とてもすきだということが よくわかります。



かべしんぶんのえ すてきです。ほいくえんの おともだちが みんなでいっしょに ささがわへ「どんぶらこ」と はいってしまったのですね。とてもたのしそうです。おようふくをきたまま ささがわへ はいってしまっ て そのあと だいじょうぶでしたか(あはははは...)。ささがわは とてもきれいで みずがつめたくて なかにはいると きもちがいいことがわかりました。ささがわには いきものがたくさんすんでいて おさかなも げんきにおよいでいるのですね。ささがわで ウォータースライダーを やったのですか。ささがわのそこは すべすべした おおきないしで できているのかな。みずのながれにのって さかなのように ささがわをくぐるのは たのしかったですよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

かべしんぶんの えのように おともだちみんなで ならんすべったのかな。
だいすきなささがわ これからも ときどきあそびにいくといいですね。ささがわへ あそびにいくときは かならず おとなのひとといっしょに いってくださいよ! ささがわが これからも ずっとずっと きれいな いきものがたくさんすめるような かわであってほしいとおもいます。みなさんも だいすきな ささがわを まもってくださいね。
ほいくえんのみんなが たのしくすごした 1にちのできごとを 1まいのかべしんぶんに まとめてくれました。かべしんぶんのつくりかたの ひとつの ヒントとして これから かべしんぶんをつくろうとしている クラブのみなさんの さんこうになるとおもいます。これからも ささがわのことを かべしんぶんをとおして つたえてくださいね。まっています。
※佐々川(ささがわ)は、長崎県北部の北松浦半島南西部を西へ流れ、九十九島を二分する佐々浦に注ぐ二級河川です。流域は佐世保市・北松浦郡佐々町に属しますが、支流・福井川の一部は佐世保市江迎町にも属しています。

**長崎県平戸市 下里エコクラブ
壁新聞のタイトル:**

日頃の活動をすっきりとまとめてくれた、とても読みやすい壁新聞です。エコクラブの活動は年間を通していろいろあると思いますが、そのなかから「観察会」、「稲の栽培」、「地域行事への参加」の3つの大きなテーマにしぼって書いてあるので、読む人にとって分かりやすいです。

ホテルの観察やホウネンエビの観察を通して、地域の自然の豊かさを体験できたことは素晴らしいことですね。こういう自然豊かな地域をいつまでも大切にしてほしいと思います。今年は雨のために川の生き物調査は中止になってしまったのですか。それは残念。雨降る中でみつけたアゲハチョウ。羽を広げて何をやっているのかな。アゲハチョウは、葉っぱにとまるときは羽を閉じているはずですよ。でも、写真のアゲハチョウは羽を広げています。雨でぬれた羽を乾かしているのかな。
稲の栽培もやったのですね。お百姓さんが1年かけて育てる稲。その苦労を、一部だけでもかもしれないけれど、体験できたことはとてもよかったと思います。来年は、田んぼの草刈りなどを手伝いながら、稲が育つ様子をとときどき眺めるとよいと思います。稲の花が咲いて米が実っていく様子は感動すると思いますよ。
灯ろうに絵を描いて天神様へ奉納する、地域のお祭りに参加できてよかったですね。こうした地域の行事はいつまでも大切に保存していきたいです。真夏の夜のドラマ、セミの羽化を観たお友だちがいるのですね。セミがいっしょうけんめい羽化する姿は、観ていて感動します。私も蚊に刺されるのも忘れて最初から最後までずっと眺めていた経験があります。生涯忘れない思い出として記憶に残っています。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

スターウォッチングも雨で中止。お部屋の中でお話だけでしたか。お話を聞いたあと、晴れた夜空をながめて観ましたか。お話で説明を受けたことを復習できるととてもよい機会だったと思います。
自然が豊かな皆さんの地域、その自然を守り、育てることを通し、これからもいろいろな体験をしてください。そして体験したことを全国のお友だちへ壁新聞を通して発信してください。楽しみに待っていますよ。

鏡エコファイターズ さんへ
師範から一言！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

鏡小学校がきれいになり、世界中のみんなのお手本になる小学校になれるように、ぜひ皆さんの活動が続けてください。
応援しています。



日奈久環境エコキッズ さんへ
師範から一言！———

委員会活動を通して皆さんが思ったことを最後にまとめてくれました。かべ新聞のしめくりとして、皆さんの日奈久小学校をよりよくしようとする「思い」が全校児童の皆さんに伝わると思います。とてもよいまとめ方です。これからは、環境委員会の活動を通して皆さんが調べたこと、気がついたこと、考えたことそして感じたことをぜひお家の方をはじめ、まわりの大人の方々に伝えてほしいと思います。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

日奈久小学校環境委員会メンバーの日ごろの活動を写真と文章で示してくれました。記事がどうつながっているのか、矢印を使って示してくれましたね。関連する記事を枠で囲ってくれたのも、読む人のことを考えた親切なアイディアです。とても読みやすいです。こういうベ新聞の作り方や記事の示し方は、ほかのクラブのお友だちの参考になりますね。

日奈久小学校 5 年キッズエコクラブ さんへ

師範から一言！

日奈久小学校5年キッズエコクラブの皆さん、こんにちは。皆さんの日ごろの活動が写真やイラストを入れた記事で書いてあり、かべ新聞全体がとても美しく、にぎやかにみえます。

こういうかべ新聞の作り方は、これからかべ新聞を作ろうというお友だちの参考になりますね。

それぞれの記事が日記風に書かれていて、とても読みやすいし、わかりやすいです。記事から皆さんの気持ちが伝わってきます。

1 年の間にずいぶんたくさんのエコ活動ができましたね。それぞれの活動の成果は、皆さんの判定はどうでしたか。

学校全体での取り組みについても記事にまとめてくれました。5年生は6年生を送りだす大切な学年。5年生の努力で学校をよりエコにして、6年生に気持ちよく卒業してほしいですね。

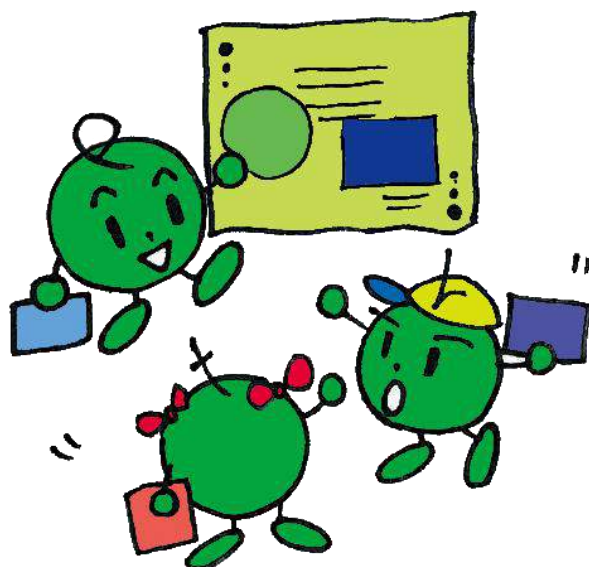
かべ新聞に記事としてまとめてくれたことは、どれもきちょうなエコ活動です。これからも指導してくださる大人の方といっしょに、たくさんのエコ活動をやり、かべ新聞にまとめてください。次号を楽しみに待っていますよ。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

封筒のリサイクルで新聞をつくるなんて斬新ですね。いろんな色の封筒をつかってくれたので、コーナーごとにとっても読みやすかったです。日奈久小学校 5 年生のみんなは世界へむけてどんなことができるのかな？

タイトルの「日奈久から世界へ」の部分がもっと出ているといいなと思いました。



熊本市水俣市 水俣市立水俣第二中学校
壁新聞のタイトル:環境二中

鏡水俣市立水俣第二中学校 環境 ISO 委員会 さんへ

師範から一言！

水俣市立水俣第二中学校環境 ISO 委員会の皆さん、こんにちは。皆さんの学校は学校再編により新生第二中学校として昨年新たなスタートをしたのですね。ISO 委員会のメンバーは再編されたのですか。そんな慌ただしいなかで、一昨年、昨年と続けてきた行動項目をさらに伸ばし、今年は新たな目標を立てて実践したのですね。よく頑張ったと思います。

結果はともあれ、続けることは大切だと思います。

「環境検定」の記事は興味を持って読ませてもらいました。「プチ環境検定」問題の出題を定期的に行い、生徒たちの環境知識を深める効果を狙ったところはいいいアイデアですね。大きな「環境検定」で高得点の生徒やクラスを表彰するのも、やる気を起こすきっかけになり、環境意識を深める効果にもつながると思います。

兄弟校との環境委員会を通じた交流もよい発想だと思います。他校の様子がわかり、他校から学ぶところは積極的に取り入れ、それに自分たちのよいところを加味し、よりよい環境二中に育ててほしいと思います。結果が楽しみです。

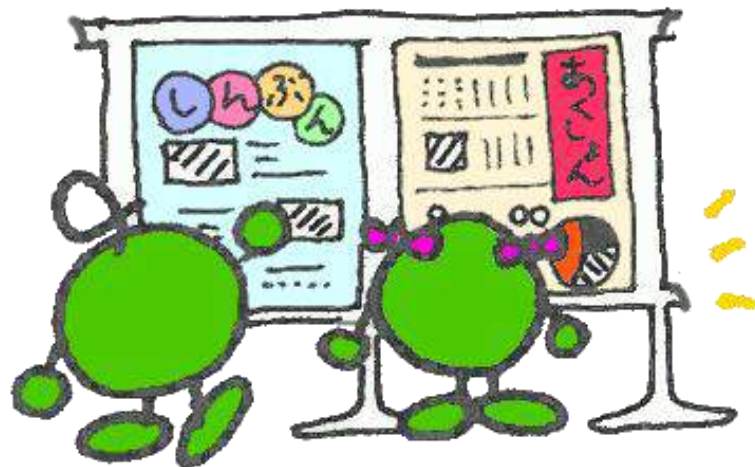
水俣環境塾で実験したのは、ホタルの蛍光成分ルシフェリンとルシフェラーゼの反応かな。ホタルの発光現象を汚れの尺度として使うアイデアはおもしろかったです。あっという間の反応だから、測定には緊張感がありますね。暗い部屋でやらなければならないし。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

最後に「編集後記」を書いてくれました。こうしてかべ新聞全体を眺めてみることは大切なことだと思います。1年の活動を振り返り、次につながる活動計画が策定できますね。

かべ新聞全体がとてもよくまとまっており、読みやすかったです。このようなかべ新聞のまとめ方は、これからかべ新聞を作ろうと思っているお友だちの参考になると思います。

二中の皆さんが水俣市のゴミの分別収集へ15年間も続けて参加していることは素晴らしいことです。24品目に分別する作業、大変だと思いますが、ぜひこの活動を続けてほしいです。「混ぜればゴミ、分ければ資源」ですね。頑張ってください。



熊本県水俣市 水俣第一小学校エコ・リーダーズ
壁新聞のタイトル:

水俣第一小学校エコ・リーダーズ さんへ
師範から一言！

水俣市立水俣第一小学校エコリーダーズの皆さん、こんにちは。立派なかべ新聞をありがとう。皆さんが応募してくれた3枚のかべ新聞を読み比べてみると、それぞれに個性と特徴があり、しかも、どののかべ新聞もいっしょうけんめい記事を書いていることが読む人に伝わってきます。皆さんからのかべ新聞、次の発行が待ち遠しいです。
では、かべ新聞を1つずつ読んでゴンドウを書きますね。

①の新聞を書いたみんなへ
ISO 宣言、すばらしいですね。この宣言文を実現するために、皆さんでどうしたらよいかを考えたのですね。そして実際に「カンキョーズ」というミニ・イベントを考え、そこへ参加することで皆さんの環境意識を高め、宣言文の実現へ向けた取り組みが達成できるように考えました。道筋がしっかりしているので、手順を踏んで行えば、必ず目的を達成できるという、とてもよい見本を示してくれたと思います。
ぜひこの取り組みをこれからも続けてください。そして、その成果をかべ新聞で発表してください。期待していますよ。



②の新聞を書いたみんなへ

毎週2回続いているカンキョーズ隊活動、たくさんの成果ができましたね。なかには44回もカンキョーズの活動へ参加してくれるお友だちがいるんですね。熊本県から生まれた「くまモン」も応援してくれるんですね。やりがいがありますね。カンキョーズの活動を誰でもが参加しやすいように工夫したのもグッド・アイデアです。いい結果ができましたね。活動の成果をグラフに表示すると、一目でその効果の様子がわかりますね。グラフ化したのもとてもいいアイデアだと思います。参加者を増やす努力は「大成功!」、皆さんの気持ちが全児童へ伝わったんですね。よかったです。

③の新聞を書いたみんなへ

皆さんは「かさスペシャル編」について記事を書いてくれました。こわれたかさの布やビニールから「エコバッグ作り」、すぐにでもまねしてやりたくなるように、詳しい作り方の図面もつけてくれて、とても親切ですね。丸い傘だけれど、布を縫い合わせると四角い布になるんですね。分かりやすい図面です。持ち手の部分はカットするけれど、カットした布は捨てずにポケットに利用するアイデア、「もったいない」の考えですね。くまモンも皆さんの活動をほめてくれていますね。ぜひ皆さんの周りの大人の方々へも活動の範囲を広げ、家庭や地域でエコ活動の輪が広がるといいと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

①の新聞を書いたみんなへ

ISO宣言とそれを実現するための計画についてかべ新聞をまとめてくれました。計画から書きはじめ、方法(実際にやっていること)、結果(成果)、まとめと続く記事のまとめ方がすごくいいです。皆さんの考え方が直接読む人たちへ伝わってきます。こうしたかべ新聞のまとめ方は、これからかべ新聞を作ろうと考えている他のクラブのお友だちの参考になると思います。

②の新聞を書いたみんなへ

皆さんがまとめてくれたかべ新聞、学校全体の一つの取り組みを追い掛けてまとめる記事の書き方は、これからかべ新聞を作ろうと考えている他のクラブのお友だちの参考になると思います。次号が楽しみです。期待していますよ。

③の新聞を書いたみんなへ

かべ新聞を読むことで、環境に優しい行動を学ぶことができる皆さんのかべ新聞、こういうかべ新聞の作り方はこれからかべ新聞を作ろうと考えている他のクラブのお友だちの参考になると思います。

次は「もったいない」で「〇〇スペシャル編」、〇〇にどんな文字が入るのかな、楽しみです。

熊本県益城町 広安西小学校環境委員会

壁新聞のタイトル:エコな生活について

広安西小学校環境委員会 ① の新聞を書いたみんなへ

環境委員会のメンバーでそれぞれのテーマに沿って、無駄ゼロ作戦、節電の方法、エコクッキングについて報告していますね。とりわけ、節電の方法については、実際自分がどれだけ電気を使っているのか、その調査も入っていていいですね。ごみを減らす、節電する、といっても、もともと自分がどの位ごみを出しているのか、電気を使っているのかを知らないと、どれだけ減らせるのかが分からないですものね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

それぞれの提案は、みなごみを減らしたら、電気を無駄に使わない知恵がたくさん入っています。次は、毎日の生活で実際にどのくらいのごみが減らせるのか、電気を使わなくて済むようになるのか、具体的な目標を立てて実践し、ぜひ壁新聞などで知らせて下さい。

広安西小学校環境委員会 ② の新聞を書いたみんなへ

地域の会社や名人と連携して学校の活動ができています。夏休みには自分たちで車の利用の時間や排気ガスについて調べる、など理科的な学習にもつながっているところもいいところ。さらに、学んだことを他の学年に伝えるため、地域の人から教わった技術でたこタワシづくり教室を開きたくさんの参加者がありよかったです。たこタワシを作った人は、みんなちゃんと家でたこタワシを使ってくれたかな。みんなが実践できているかどうか確認できればさらにいいですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

地域の会社の人とは具体的にはどんな活動を一緒にしたのか、もう少し詳しく知りたかったなあ。また、環境委員会の活動について、地域の大人の人たちはどんな風に思っているのだろう。そんなことも書いてあると、地域と連携して活動していることがもっとよく分かるだろう、と感じました。



大分県大分市 イオンチアーズクラブ パークプレイス大分 壁新聞のタイトル:リサイクル＝自然と触れ合う

イオンパークプレイス大分店チアーズクラブ さんへ

師範から一言！

イオンパークプレイス大分店チアーズクラブのみなさん、こんにちは！チアーズクラブのみなさんが、1年間にやったかつどうをかべしんぶんにまとめてくれました。

5月にさつまいもをうえました。7月には大在ひがたで生き物のかんさつをしました。10月には、高尾山でネイチャーゲームをしました。それと3つの工場けんがくをしました。11月にはさつまいもをほって、はんばいもしました。とつてもたのしかったようですね。

みなさんがつくってくれたリサイクル＝自然とふれあうのかべしんぶんのすばらしさは、かつどうのようすやかんじたことなどを、みなさんが一人ずつかいてくれたことです。たのしかったことやたいへんだったこと、むずかしかったことなど、一人ひとりの人がいてねいにいっしょうけんめいかいてくれました。

しゃしんがはってあるので、みんなのかつどうのようすもよくわかります。じょうずなえもかいてくれました。むずかしい5つのRとは？、ぎゅうにゆうをとる牛はどんな牛？もかいてくれましたね。よくわかりましたよ。

大在ひがたでは、みんなのすきなかにがいましたね。いろんな生き物のなまえもしりましたね。わたしもしらないなまえもいっぱいありました。でもみんなはいっぱいおしえてもらいましたね。よかったね。海がひいたときにできるひがたは、むかしとてもよごれてしまったけれど、今はまたきれいになって生きものをさがしたり、とつたりするのができてたのしいところになりました。いっぱいあながあいていて、そこをほると、かにや貝がみつかるのもたのしいですね。わたしが小さい時には、あなをほってさかなのえさをとり、それをえさにしてさかなつりをよくしました。ひがたで鳥もみたのですね。あおさぎですね。あおさぎの足のかたちやくちばしのかたちは、ひがたであるきまわり、えさをとるのにちょうどいいかたちをしていますね。あなの中のえさをとるので、くちばしがながいですね。

しぜんかんさつで鳥を見たときに、くちばしや足のかたちをよく見ると、どんなえさをたべるのか？どんなところにすんでいるのか？などがよくわかると思います。

イオンチアーズクラブ パークプレイス大分 壁新聞のタイトル:リサイクル＝自然と触れ合う

高尾山でのネイチャーゲームは、なまえあてゲームやビンゴゲーム、葉っぱじゃんけん、形さがし、それに葉っぱに字をかくなど、いろいろたのしいことをやりましたね。みんながたのしそうにかつどうしているようすがつたわってきます。こんなにたくさんたのしいことをかんがえてくれたサポーターのおとなの人がいて、よかったですね。葉っぱに字をかくと、じかんがたつとはっきりと見えるようになって、よめることもたいけんしましたね。はがきということばは、葉書とかいて、むかし葉っぱにかいてとおくの人にようすをしらせたことにゆらいしています。みんなは、このことをじっさいにたいけんしたのですね。葉っぱは、たらようという木の葉っぱだったのかな？

さつまいもは大きいものから小さいのまで、たくさんとれましたね。いもほりはとつてもたのしかったです。どのくらいの大きさのいもがとれるか、きたいしながらいもをほるのは、とつてもたのしいものですね。わたしは、じゃがいもをうえています。6月ころにいもほりをします。こしはほうさくになるかな？とたのしみにしています。とつたさつまいもを売ったのですね。100円というやすいねだんで売ったので、すぐ売れたおともだちと、なかなか売れなかったおともだちがいたのですか？じぶんたちでそだてたさつまいもを、たべることはしなかったのですか？ほかほかのやきいもにすると、とつてもおいしいですよ。

3つの工場をけんがくしましたね。みなさんがだいすきなぎゅうにゆうの工場では、どうやって、のめるぎゅうにゆうにするかを知りましたね。けんさを2回やってのめるぎゅうにゆうにしているのですね。牛もなんしゆるいもいるようですが、牛によってぎゅうにゆうの味がちがうのかな？ぎゅうにゆうびんは、何回もつかうようにしているのですね。1回だけですてないようにしているので、とてもエコですね。このようなつかいかたは、リユースというのですね。

みなさんがたのしくかつどうしてことを、また、かべしんぶんでほうこくしてください。

イオンチアーズクラブ パークプレイス大分
壁新聞のタイトル:リサイクル=自然と触れ合う

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....
★.....★.....★.....★.....

じどうしゃやいろいろなきんぞくをくだいて、きんぞくをとりだし、またつかうようにしている工場も見ました。リサイクル工場といいます。4しゅるいのきんぞくを見わけけるじっけんもやったのです。てつはじしゃくにくつつくことは知っていますね。そのほかのきんぞくは、見わけることができましたか？ゆうび会社はごみの中から、かんはつぶしてかたまりにし、はっぽうスチロールはねつでとかしてかたまりにし、紙はトレットペーパーにすることをしている会社ですね。はっぽうスチロールは、かるいですが、かさばるのではこぶ時にたいへんです。ねつでとかすと、もとの大きさの半分の半分のさらに半分くらいに小さくなります。

3つの工場をけんがくして、エコのことがわかりましたね。リユースをして何回もつかうとごみがふえません。きんぞくやはっぽうスチロール、紙はリサイクルして、別のものやあたらしいものにかわります。ごみがふえませんね。つかいおわったものは、ごみとしてすてないで、何回もつかえることがわかりましたね。さかなやにくがはいっているしょくひんトレイなどののはっぽうスチロールやきんぞく、あるいは紙は、スーパーや町会などでかいしゅうしていますので、みんなもかいしゅうにきょうりよくするとよいと思います。スーパーに行った時に、何をかいしゅうしているかをよく見てくるとよいとおもいます。



大分県大分市 吉野育成クラブ
壁新聞のタイトル:色々なゴミ拾ったよ！！

吉野育成クラブ①の新聞を書いたみんなへ
師範から一言！

吉野育成クラブ①の1年生のみなさん、こんにちは！みなさんは、どうろにおちているごみをひろって、町をきれいにしてくれたのですね。ありがとう。
ごみひろいをしてみると、いろいろなごみがおちていることに気がつきましたね。ごみがいっぱいおちていると、町がきたなくなります。生きものもすみにくくなります。みんなも気持ちがいいものではありませんよね。ごみひろいをして、みんなはどうしたらよいかをかんがえましたね。すてる人がいたら、「ごみはすててはいけないう」とこえをかける、ルールをまもる、二どとすてない！など、みなさんがすてないようにするだけでなく、ほかの人がすてないようにするため、かんがえてくれましたね。
このつぎにごみひろいをするときには、どのくらいごみがへっているだろうか、たのしみですね？
また、かべしんぶんをおくってください。まっていますよ。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....
どんなごみがおおかったですか？タバコのすいがらかな？おかしのふくろかな？あきかんやのみもののプラスチックボトルかな？

どんなところにごみがおおかったかな？どうろのはじっこかな？草むらかな？水たまりのようなところかな？

★☆☆サポーターの方へ★☆☆

1年間に何回くらい、ごみひろいをしたのですか？1回だけの活動報告では、不十分ではありませんか？毎月1回あるいは春夏秋冬に実施するなど、継続的に行うことが大切かと思ひます。何回も実施することでこども達は、その重要性に気づき、行動を起こすきっかけになるのではないのでしょうか？

また、ごみを拾うだけではなくて、ごみの種類を調べる、ごみの数を調べる、あるいはどんな所にごみを捨ててしまうかなども調べると、ごみの問題やごみを減らすことのポイントに気付くかも知れません。1年間の計画的な活動をスケジューリングしてみたらどうでしょうか？いろいろなことをたくさんやることでなくても良いと思います。最初は、ごみの種類や数、場所などを調べる発見ゲームから始めるのも良いかと思ひます。次にごみ拾いをするなどです。テーマは一つに絞って、最終目標を決めて、そこにこども達の関心が向くようにすると良いと思います。

ごみを拾っている写真を見ると、素手でごみひろいをやっているようですが、安全性を考えて、軍手やごみはさみを使うようにした方がよいと思ひます。場合によっては、マスクも。

こども達の提案を具体化するには、どうしたら良いかも考えてみてください。



吉野育成クラブ 壁新聞のタイトル:色々なゴミ拾ったよ！！

吉野育成クラブ②の新聞を書してくれたみんなへ
師範から一言！

吉野育成クラブ②の2年生、3年生のみなさん、こんにちは！みなさんは、大山しょうじというはいきぶつのリサイクル会社へけんがくに行ったのですね。エコのこと、リサイクルのことをいろいろとべんきょうしたので

すね。
2年生は大山しょうじに行き、3年生はペットボトルのリサイクルの勉強をしたのかな？
大山しょうじでは、はいきぶつのじどうしゃやいろいろなきかいが、ごみとなってつみ上がり、真ん中にショベルカーがあって、とってもいんしょうふかいけしきだったようですね。じどうしゃやいろいろなきかいも、ぶひんやざいりょうにリサイクルでき、また新品のきかいなどにうまれかわることを教えてもらいましたね。
じどうしゃは、中古車として長くつかえます。つかえなくなったじどうしゃでも、じどうしゃにつかわれているぶひんやざいりょうは、とてもかちのあるもので、ていねいに分けると何回もつかえるものです。じどうしゃの中で、ごみとしてもやすのは、ざせきのシートくらいだと聞いたことがあります。ほかはぜんぶ、ざいりょうにしたり、リサイクルできるようです。
ペットボトルのことを中心にして、ごみの問題やリサイクルのことも勉強したのですね。また、かべしんぶんをおくってください。まっていますよ。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ペットボトルは、フタとラベルと本体を分けるとざいりょうしやすくなります。本体は、服やエコバッグなどにリサイクルされます。服、ぐんて、エコバッグなどにペットボトルからさいせいしましたと書いてあるものもありますから、ぜひ、ちゅういしてさがして見るとよいと思います。
トイレトペーパーやけいこうペン、シャープペンなども注意してみると、何からさいせいしたのか？が書いてあります。みなさんのみのまわりの商品を、もう一度注意ふかく、どんなことが書いてあるか見るようにするとよいと思います。リサイクルされたものが、いがいとたくさんあることがわかります。使わなくなったものを、すぐごみとしてする前に、何かリサイクルできないかを考えてみるのもだいじなことです。

★☆サポーターの方へ★☆

吉野育成クラブでは、ごみ問題を集中的に考える活動を進めたのだと思います。2年生、3年生の活動の壁新聞では、大山商事の見学以外に何をやったのでしょうか？1年間の活動のストーリーと目標を作成して、流れを作って活動することが大事だと思います。それらをまとめて1年間の活動を壁新聞として報告して頂きたいと思います。
こども達に自由に壁新聞を作らせることは必ずしも良いことではありません。サポーターを始め、大人、高学年の生徒が壁新聞としてのストーリーを作って、起承転結になるように指導することも大事なことです。こどもに要求することではなく、導くことです。
来年の壁新聞を楽しみにしています。こども達のすばらしい活動を的確に表現できるように導いてください。

大分県別府市 大平山友遊エコクラブ 壁新聞のタイトル:みらいへつなぐ 大分の5大エネルギー

大平山友遊エコクラブさんへ
師範から一言！

大平山友遊エコクラブのみなさん、こんにちは！みらいへつなぐ 大分の5大エネルギーの大きなタイトルの壁新聞を送ってくれてありがとう。みなさんは、大分のエネルギーの場所を見学したり、勉強しただけでなく、ごみひろい、お花うえ、キャンドルナイト、キャップ集め、そして水質調査と大変たくさんの活動をして、新聞としてまとめてくれました。すばらしい新聞になっています。
大分・別府と言えば、温泉！ということで地熱発電がすぐに頭に浮かびますが、それ以外に太陽光発電、火力発電、風力発電、水力発電、そしてバイオマス発電、おや？6発電、あるよ。それぞれの発電所を見学したり、勉強したのですね。それぞれの発電の特徴を簡潔に、とてもわかりやすく書いてくれました。いいですねー！！

地球温暖化の防止のために暮らし方を見直すとともにエネルギー(電気)の作り方も見直すことが大切です。そのような視点から、身近な、足元の地域のエネルギーに興味を持ってまとめたことは大変素晴らしいと思います。お花うえ、きれいだったろうと思います。大事なことは、植えっぱなしにしないことです。定期的に面倒をみないと花も枯れてみじめになりますよ。

キャンドルナイトは、ほのかな光で、ゆらゆらと幻想的な夜だったでしょう。いいなー。
キャップ集め、100人達成とはすばらしいですね。ちょっとしたエコをすることで世界で困っているこども達を救えるのですね。継続して続けてください。

水質調査では、水のきれいさと生き物の関係を調べて、自分達の地域の川がどうなっているかを調べたのですね。カニ(サワガニ?)がたくさんいたので、きれいな川だったようですね。これからもきれいな川であるように、よごさないようにしたいですね。
この次の壁新聞として、一つのテーマが提案されていましたが、これにこだわらずに、みなさんの楽しい活動の結果を報告してください。楽しみに待っています。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

火力発電もなるべく控えて、地球温暖化防止を進めるには、どうしたら良いのでしょうか？太陽光や風力などだけでは、今の暮らしを続けることは難しいですね。だから、今の暮らし方を変える必要があるのではないのでしょうか？我慢することではありません。
ぜひ、来年のみなさんの活動に、どうしたら良いかをみんなで考え、意見交換して、提案して頂きたいなー！と思っています。
その他の活動も精力的に実施したようですね。ごみひろいを楽しくやれるようにするのは、どうしたら良いだろうか？義務感でやるのではなく、楽しくやるには？

大分県日田市 さかえエコキッズ
壁新聞のタイトル:さかえエコキッズ新聞

さかえエコキッズ さんへ
師範から一言！

さかえエコキッズのみなさん、こんにちは！さかえエコキッズ新聞をおくってくれてありがとう。みなさんが、いっしょうけんめいはさみをつかって、ウエスづくりをやっているところやたのしそうにエコがっきをつかっているところ、そしてじぶんたちでつくったやさいをとっているところなど、ほほえましいこうけいがいっぱいになっているしんぶんです。

エコほいくえんのちかいのことは、5つもあってたいへんではありませんでしたか？

へいきだよ、みんなできたよ いうえがきこえるみたいだね。きゅうしょくは のこしません！きらいなものも ちゃんとたべたかな？むむむっ！きらいなものはない！すごい、すごい！！

ウエスづくりをがんばったのですね。はさみをじょうずにつかえましたか？おうちでもおてつだいできるくらいに、じょうずになったかな？ウエスでおさらをふいたら、とってもきれいになったようですね。よかったね。みずをつかうりょうがすくなくなつて、よかったですね。

やさいづくりは、なえをうえて、おおきくなって、みができて、それをりょうりしてたべる、というながいかつどうですが、みんなはちゃんとせわができたかな？わたしにわでやさいをつくっていますが、せわはわたしがやって、さいごにみができて、とるのをたのしみにしているのですが、わたしのおくさんがわたしのいないうちに、みをとってしまいます。ざんねん！！

りょうりもたくさん、つくりましたね。じぶんたちでそだてたやさいは、どういうわけかおいしいですね。

やさいづくりのよいところは、たべものにかんしゃするところをそだてることですね。やさいをつくっているひとにかんしゃする、たべものにかんしゃする、りょうりをつくっているひとにかんしゃする、いっぱいかんしゃすることがありますね。

まとめにとてもよいことがかいてありました。じぶんたちにできること、ちいさなことから、でよいです。そこからはじめましょう。

このつぎのかべしんぶんは、どんなことをほうこくしてくれるのか、とてもたのしみです。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

エコがっきづくりは、うまいくふうをしましたね。ギロという、がっきはしりませんでしたが、おもしろいおとがでるようですね。ぜんいんがなにかの、がっきをつかったのですね。みんなでえんそうしたようですが、なんの きょくをえんそうしたのかな？ほいくえんのせんせいが、おるがん(?)をひいて、みんなでたのしんだのかな？ききたかったなー。

こどもたちがかいた、もじもかべしんぶんにあるとうれしいですね。



鹿児島県鹿児島市 こどもエコクラブみらい
壁新聞のタイトル:じぶんたちにできるエコ活動

自分たちの町を大切にしている様子が伝わってくる活動ですね。3つのグループがそれぞれ年間を通して活動をしているようで、中身のこい活動になっています。来年もツバメがもどってくるといいですね。アルミ缶を 1060 円分も集めるなんて大変なことです。今年の夏には去年より高い緑のカーテンができるといいですね。これから自分たちでできる範囲で、できる地域で、そしてできることをがんばって続けていってください。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....

3つのグループとも、それぞれが1枚の新聞になるくらい活動をしていますので、次は各グループで1枚の新聞に挑戦してみてください。そうすると、より詳しい内容がのせられるのではないかと思います。



鹿児島県鹿児島市 イオン鹿児島店チアーズクラブ
壁新聞のタイトル:くろぶ〜が解くりサイクルのなぞ

いや、これはまたきれいな新聞です。デザインセンスがすばらしい。こういうデザインの仕方もあるのですね。まずはパッと見て目に付きます。
さて、中身ですが、鹿児島市はゴミの出し方が細かく決められているようです。とはいえ、リユースやリサイクルについて実際に自分で試してみた人はそう多くはないかもしれません。自分たちでやってみることで初めてわかることもあります。このようにやってみることで、「混ぜればゴミ、分ければ資源」ということも実感できたのではないかと思います。

とっておきのゴンドウ★.....★.....★.....★.....
次回の新聞も期待しています。活動の内容ももちろんですが、今度はどんなデザインになるのだろうか？と楽しみです。



鹿児島県鹿児島市 西伊敷小学校 6 年生
壁新聞のタイトル:私たちの見てきた生き物たち

生きものは身近な観察材料としてとてもおもしろいものですね。それにしてもプールのヤゴが 1500 頭とは。自然の豊かなところだということがわかります。また、緑のカーテンにも取り組んで、そのおかげで、今まで気づかなかったことや自然に興味をもつようになったそうですね。活動の成果が感じられます。これからもこのような活動を続けて、より自然や生きものに興味をもってもらえたら嬉しいです。

とっておきのゴンドウ★.....★.....★.....★.....
せっかくの成果ですから、プールにいた生きものは毎年調べて、表にまとめるといいと思います。やがて、生きものを知るため、そして守っていくための、とても貴重なデータになります。



沖縄県本部町 もとぶ元気村エコクラブ 壁新聞のタイトル:「沖縄の海と仲良くなろう！」

もとぶ元気村子どもエコクラブの皆さん！とってもユニークな壁新聞を作り、送ってくれてありがとう。

最初、壁新聞を見た時にめずらしい紙を使っているな—ときょうみを持ちました。壁新聞の内容を読んでみたら、納得しました。馬のフンで作った紙だったのだ。全国の子どもエコクラブの皆さんは、思いもよらない、ふしぎな物を作ったり、発見したりしますが、馬のフンで紙を作り、そこにみんなの感想や観察結果を書くなどは、初めてじゃないかな。フンでたい肥を作って、お米を育てたり、と言うのがほかのエコクラブでありましたが、紙を作るのは、とってもユニークな活動ですね。馬のフンはくさかったのではないかな、と思っていたら、お友だちがずばり“くさかった”と感想を書いてくれました。正直でいいですね。紙になると、もうそんな心配はいらないようですね。みなさんの1年間のエコ活動は、馬のフンだけではないですよ。ヨットの運転の仕方を学んだり、シュノーケルの使い方を学び、実際の海で魚を見る体験もできました。海の上から、海の中を泳いでいる魚はなかなか見えにくいですが、シュノーケルや水中メガネを使って見ると、とってもはっきりときれいに見えて感動しますね。馬のフンで紙づくりの作り方も書いてあります。全国のお友だちもこの作り方を見て、紙を作ってくれるかな？わらを食べる牛などの動物のフンは紙になるでしょうが、人間やライオンなどのフンはだめでしょうね。ゾウのフンはどうかな？馬のフンはわらの成分が入っているので、燃料にもなりますね。大陸の寒い所では、フンを燃やして温かくしている所もありますよ。来年チャレンジしたいことは山ですね。もとぶ元気村子どもエコクラブの活動の素晴らしさは、このように目標をはっきりとしぼって、活動を進めていること、さらに、これまでの海の活動結果を活かして、海と山の関係も調べてみたいと考えていることです。一見、何の関係もないようですが、実際にはとても深い関係があるようですよ。

これからの活動結果が大変楽しみです。山の活動結果を壁新聞にして送ってください。待ってます。

とっておきのゴシドウ★……★……★……★……★……★……★……★……★……

お友だちが感想を書いてくれましたが、牛乳パックや新聞の中に入っているチラシなどでも紙ができますので、紙の原料はいろいろな所にあることがわかったと書いてくれました。ごみかな？と思って捨ててしまうとごみですが、何かに変身、再生できないか？と考えて試してみると意外なものに使えることが発見できます。ごみをへらすことができますね！みなさんも馬のフンで、ごみをへらすことのいい経験ができたと思います。ビーチでごみ拾いもしました。意外にごみが多くてビックリしたようです。外国から流れ着いたごみもあったのではないのでしょうか？ビンゴゲームでごみ拾いをやると、ごみ拾いも楽しくやれると思います。いつかは、ごみが無くなって、きれいな海岸になり、ごみのビンゴゲームはやらなくて、貝のビンゴゲームができるといいですね。



沖縄県恩納村 OMRC 子どもエコクラブ 壁新聞のタイトル:「ぼくらの発見！いきものマップ！」

OMRC 子どもエコクラブのみなさん、野生のいきものをたくさん、発見しましたね。一人ひとりが発見したいいきもののしゅるいとどんな鳴き声だったか？どんなかたちか？うごき方はどうか？などをこまかく観察してまとめてくれました。絵も書いてくれましたので、よくわかりました。さわったらきもちわるい！という感想もありましたね。どくのないいきものは一度はさわってみることもいい経験になります。本やテレビで見るだけでなく、じつぶつをみじかでよく観察し、さわってみることなどが、いきものをたいせつにするためには、大変だいじなことだと思います。

野生のいきもの発見隊のみなさん、こんどはどんないきものを発見してくるのでしょうか？また、絵や写真をいっぱいはって、みなさんの目で見えたかんさつのきろくをまとめた壁新聞を送ってください。楽しみにまっていますよ。

とっておきのゴシドウ★……★……★……★……★……★……★……★……★……

鳥のくちばしをよく見て、形とえさのかんけいに気がついたお友だちもいましたね。えさを取りやすい形をしています。足の形もえさや住む所に適した形をしています。

。こんど、鳥を見るチャンスがあつたら、くちばしや足の形などもよく観察してみると良いと思います。

かたつむりも発見しましたね。かたつむりのからは、意外ときれいだったでしょう。どろなどでよごれていないことがわかりましたか？かたつむりのからは、こまかいひだがあつて、そのひだのなかに水が入っているため、よごれがつきにくい、あるいはよごれがついてもすぐ取れるのだそうです。

かたつむりだけでなく、ハチのすは、がんじょうな六角形、あるいはちょうちょの羽のすばらしい色、トンボのはねのつかいかた、へびの歩き方、鳥のかわせみのとがつたくちばし、朝顔の花の開き方などをまねをして、私たち人間は、役に立つすばらしい製品をつくっています。たとえば、かわせみのくちばしのかたちをまねして新幹線の形ができています。空気のていこうがすごく少なくなります。ちょうちょの羽の色の出し方をまねして、色あざやかな布が製品になっています。そんな見方で生き物の形などを観察することもおもしろいと思います。今、地球上に生きている生き物は、とても長い時間をかけて環境にてきた形や働きをしています。人間が考える以上に野生のいきものは工夫をしているのです。



西表ヤマネコクラブのみなさん、結成 15 周年おめでとうございます。そして 15 年という長い間エコクラブ活動を続けてくれて、大変ありがとう。

15 周年パーティーには OB、元サポーターのみなさんも出席してくれて、楽しく、にぎやかに進んだようですね。そして先輩方とも交流ができて、良かったですね。

ビーチクリーンは想像していたように外国からのひょうちゃく物が多いですね。特に、となりの国の中国からの物が多いようです。海はみんなのものです。人類の財産です。一つの国だけのものではありません。ぜひ、このような現象を日本の国の議員や官僚の人は、再になんしきして頂き、世界の人とれんけいして、海を汚さないように働きかけてほしいですね！

サバイバルCAMPはさすが、昨年と違って、 TENT 作りやトイレ作りは上手になったようですね。食事のおかずも全部、自分たちでとってきた物かわかりませんが、楽しい体験ができたようですね。

ecoカルタは立派なものができましたね。取り札の絵がいいですねー！。立派なカルタができましたので、これを使ってカルタ大会などもこれからやるのでしょうか。西表ヤマネコクラブ謹製と書いてありますから、著作権も西表ヤマネコクラブにあるのでしょうか。他のエコクラブと交換するなどして広めることも大切ですね。

西表山猫新聞は、1 枚の新聞にまとめるために何枚も重ねてありました。重ねた記事はテープで貼って、こわれないう、無くなるようにしてありましたが、読むには大変苦労しました。テープをはがす時にやぶれないように、はがれないようにするのに気がつかしました。何か工夫が必要かも知れませんね。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

プログラムを見ると交流だけでなく、講演会も行い、せっけんの問題をみんなで共有できたようですね。合成洗剤としゃぼん玉石けんの実験はとってもショッキングな結果でしたね。見分け方の実験も紹介してくれて、全国のエコクラブのみなさんも役に立つと思います。今までは、せっけんにかぎらず、便利なもの、めんどくではないもの、安いものなどに価値があると思って、使い放題で暮らしてきました。そのつけが環境悪化につながりました。もう一度、考え直してみようという代表的なものがせっけんでしたね。みなさんもせっけんに限らず、こんな物を使っていいのだろうか？と身の回りを見直してみるといろいろと問題が見つかると思います。自分で考えて、どれを使うか？どうするかを自分で判断できるようにいろいろなことを勉強し、他の人と話し合うことをおすすめします。

水質調査、ホテルの調査、ビーチクリーンなどけいぞくして行っている活動ですね。したがって、前の年、その前の年など過去の結果との比較ができるようになり、結果をみんなで話し合い、考えてまとめてくれています。素晴らしい一語です。それまでの結果からみちびきだせる結論を書いてくれました。その結論が正しいかは、さらに調査を続けて、データを出すとわかるようになるでしょう。

水質調査の1、2、や7、8などは何の値か？がわかりません。ずーと続けてみている人にはわかるでしょうが、みんながみんな、わかっているわけではないので、説明を入れた方が良いでしょう。大雨の影響が出ているようですね。できれば大雨の影響が出ていない日に調査をすると、年ごとの比較が正確になるのではないのでしょうか？

ホテルの調査もおもしろいですね。12 月にホテルが見られるのは、沖縄だからですね。私が住んでいる川崎は 6 月の夏だけです。(昨年も書きましたが...) 6 年前のデータもあるようですから、グラフも 6 年前から書くと比較がしやすいと思います。このホテルの調査もこれまでの結果からみなさんの結論が出ていて、来年のことも予想していますが、結論がどうなるか楽しみです。今年の続きの調査結果が書かれているだろう来年の壁新聞が楽しみです。みんなが出した結論もどうなっているか？わくわくします。壁新聞を楽しみに待っていますよ！